

本庄市都市計画審議会

第1章 基礎調査.....	1
1. 上位・関連計画.....	1
2. 本庄市の概況.....	2
(1) 都市の広域的な位置.....	2
(2) 都市の沿革.....	4
(3) 都市の人口等.....	6
(4) 都市の産業.....	14
(5) 土地利用の状況.....	20
(6) 都市整備の状況.....	27
(7) 公共交通の状況.....	36
(8) 北部地域及び近隣都市との指標比較.....	40
(9) 動的データ.....	45
(10) レーダーチャート・SWOT分析.....	71
(11) 災害リスク・防災.....	79

令和4年7月29日

第1章 基礎調査

1. 上位・関連計画

- 以下の上位・関連計画の概要を整理しました。(別紙参照)

1. 本庄市

- (1) 本庄市総合振興計画
- (2) 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- (3) 第2期本庄市健康づくり推進総合計画
- (4) ふくしの杜ほんじょうプラン21
- (5) 本庄市第9次高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画
- (6) 第6期本庄市障害福祉計画・第2期本庄市障害児福祉計画
- (7) 本庄市観光振興計画
- (8) 山村振興計画
- (9) 本庄市環境基本計画
- (10) 本庄市緑の基本計画
- (11) 本庄駅北口周辺整備基本計画
- (12) 本庄市空家等対策計画
- (13) 本庄市生活排水処理施設整備構想
- (14) 本庄市水道事業ビジョン(案)
- (15) 本庄市地域防災計画
- (16) 本庄市国土強靱化地域計画
- (17) 本庄市公共施設再配置計画
- (18) 本庄市公共施設等総合管理計画(インフラ編)
- (19) 本庄市公共施設維持保全計画

2. 埼玉県

- (1) 埼玉県5か年計画
- (2) 第4次埼玉県国土利用計画
- (3) まちづくり埼玉プラン
- (4) 本庄都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針
- (5) 児玉都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針
- (6) 第2次埼玉県広域緑地計画

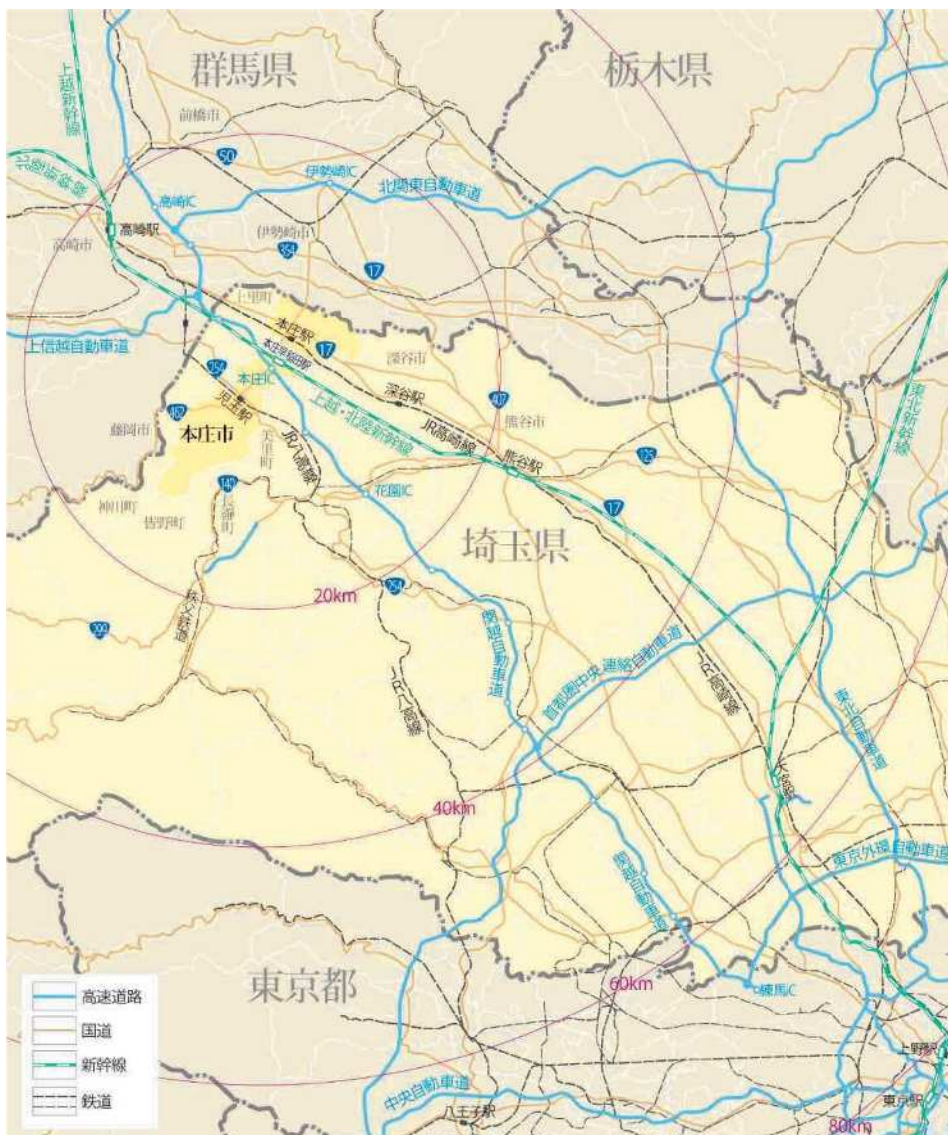
2. 本庄市の概況

(1) 都市の広域的な位置

① 都市の位置等

- 本庄市は（以下「本市」）は、埼玉県の北西部県境に位置する、総面積 89.69 ㎢の都市です。
- 東は深谷市、西は上里町・神川町、南は美里町・長瀬町・皆野町、北は利根川をはさんで群馬県伊勢崎市に接しています。熊谷市、高崎市からは 20 km、東京からは 80kmの距離にあります。
- 広域自動車交通としては、関越自動車道が市域の中央部を横貫し、本庄児玉インターチェンジが設置されています。また、広域幹線道路として国道 17 号・254 号が東西方向に、国道 462 号が南北方向に走っています。
- 鉄道は、JR高崎線が市域北側、上越・北陸新幹線が市域中央部、JR八高線が市域南側を通り、それぞれ本庄駅・本庄早稲田駅・児玉駅が開設されています。

■広域位置図



② 地勢

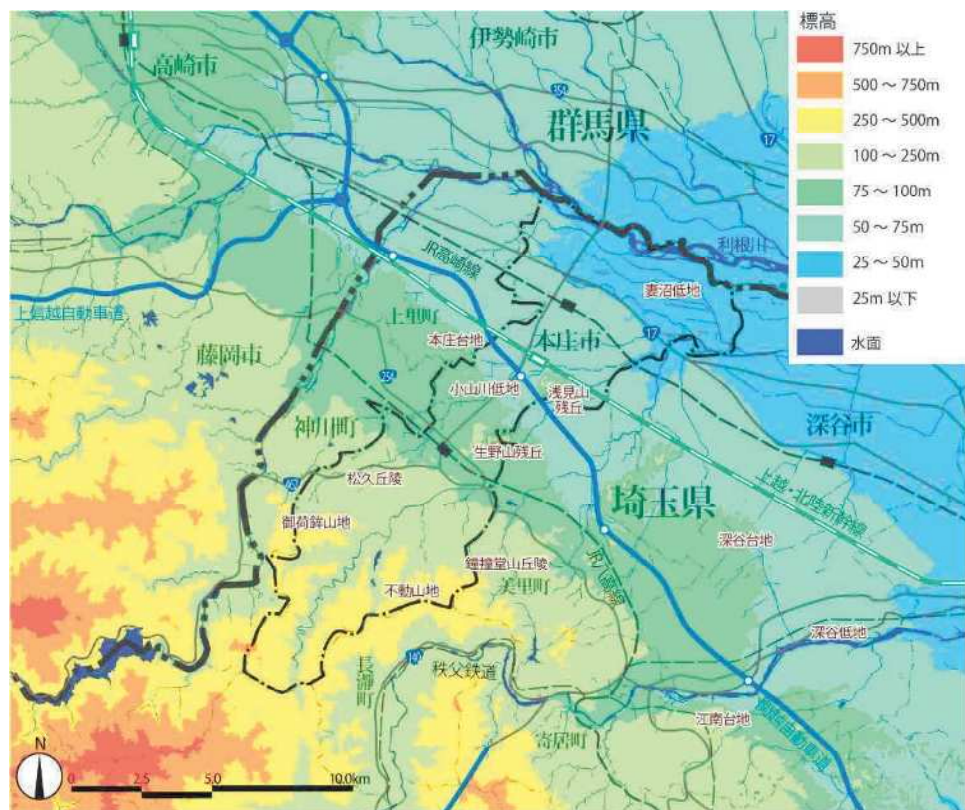
- 秩父連峰から連なる南部の山間地域には水源となる豊かな森林が育まれ、北に向かって丘陵、台地、低地と続き、小山川や男堀川などの多くの河川と用水路が流れる平坦な地形に農地や市街地が形成され、北端には雄大な利根川が流れています。

■ 地形図



資料：本庄市緑のマスタープラン

■ 標高地形図



※国土地理院ウェブサイト (<http://naps.gsi.go.jp/>) から作成

(2) 都市の沿革

- 本庄には、旧石器などの遺物の出土や縄文期、弥生期、古墳期の各時代にそれぞれ遺跡があり、原始時代の頃より人々が暮らしていたことがうかがえます。
- 奈良時代には、現在の本庄市域の大半が武蔵児玉郡に編入され、平安時代の終わり頃には武蔵七党のひとつである児玉党が勃興しました。鎌倉時代になると史料に「本庄」の地名が現れるようになります。室町時代の末期には、児玉八幡山に関東管領・山内上杉氏により雉岡城が築城され、東五十子に五十子陣も設営されました。戦国時代には、児玉党の末裔とされる本庄実忠が現在の本庄市役所付近に本庄城を築きます。
- 江戸時代の初め、本庄城の南に新たに中山道が整備され、また、雉岡城の東には鎌倉街道をもとに中山道脇往還川越道が整備されました。中山道本庄宿はにぎわいを見せ、天保年間には、中山道最大の宿場町に発展しました。
- 明治の近代化とともに、江戸時代から盛んだった養蚕業を基礎に、本庄町に生繭の市場が開設されました。この養蚕業の発展に尽力した木村九蔵は、養蚕伝習所（競進社模範蚕室）を児玉町に設立しました。また、本庄町には本庄商業銀行が設立されました。
- 明治 22 年（1889 年）、町村制施行により児玉郡本庄町と児玉郡児玉町が誕生し、周辺でも村制が施行されました。
- 戦後になると、本庄町とその周辺の村々は合併して本庄市となり、また、児玉町と周辺の村々も合併により児玉郡児玉町となりました。平成 18 年（2006 年）1 月 10 日に両市町は合併し、現在の本庄市が誕生しました。
- 用途地域は、昭和 44 年（1969 年）に本庄都市計画区域、昭和 48 年（1973 年）には児玉都市計画区域に指定されています。
- 交通面では、昭和 55 年（1980 年）に関越自動車道が、平成 16 年（2004 年）には現在の上越・北陸新幹線の本庄早稲田駅が開業するなど、広域高速交通の利便性が高い都市となっています。
- このような交通利便性を背景に、昭和 59 年（1984 年）に児玉工業団地が、平成 8 年（1996 年）うめみの工業団地、平成 9 年（1997 年）本庄いまい台産業団地が整備されています。
- 新市発足後には、本庄早稲田の杜のまちびらき、はにぽんプラザ・アスピアこだまの完成など、あらたなまちづくりに向けた取り組みを進めています。

■本庄市の沿革

元号	年	西暦	出来事	都市計画等の変遷
旧石器時代		BC3万年頃	本庄台地に旧石器時代人が姿を見せる	
縄文時代		BC8千年頃	人が住み始める	
古墳時代		400年頃	鷲山古墳、前山1号墳等巨大円墳が作られる	
奈良時代		700年頃	児玉郡設置される	
戦国時代		1500年代	本庄宮内少輔實実忠が本庄城を築く 山内上杉が雉岡城を築城	
江戸時代		1600年代 1800年代	本庄宿に市場を開設 中山道が整備され、本庄宿は中山道最大の宿場町として発展 生糸取引所設置	
明治	7	1874	本庄で繭市場が本格的に開始される	
	16	1883	日本鉄道の駅として本庄駅開業	
	17	1884	競進社養蚕伝習所設立	
	22	1889	町村制施行により児玉郡本庄町と児玉郡児玉町が誕生	
	27	1894	本庄商業銀行設立	
	29	1896	児玉・那珂・賀美三郡が合併し児玉郡となり、児玉郡役所を本庄に置く	
	44	1911	本庄・児玉間にバス開通	
大正	3	1914	本庄繭市場開設	
	4	1915	本庄繭糸市場会社設立	
			本庄電気鉄道本庄・児玉間営業開始（昭和8年廃止）	
	6	1917	富士紡本庄工場操業開始	
昭和	6	1931	児玉駅開業	
			利根川坂東大橋完成	
	22	1947	キャスリーン台風により女堀川、小山川、備前堀が決壊し甚大な被害が発生	
	24	1949		本庄町都市計画区域決定〔3,652ha〕
	28	1953	埼玉製糸本庄工場発足、大生相互銀行本庄支店開業	
	29	1954	児玉郡本庄町・藤田村・仁手村・旭村・北泉村が合併（新設合併）し、本庄市となる	
	30	1955	児玉町と周辺3村が合併し、児玉郡児玉町の範囲が拡大	
	31	1956	高崎線完全電化、大宮・高崎線間に電車が通る	
	33	1958	国道17号開通	
	34	1959		上水道創設事業着手
	35	1960		駅南土地区画整理事業開始
	36	1961	児玉町役場庁舎完成	
	39	1964	埼玉県本庄地方庁舎竣工	
	43	1968		見福土地区画整理事業開始
	44	1969	本庄駅跨線人道橋竣工	
	45	1970		本庄都市計画区域用途地域指定
	48	1973		本庄都市計画区域区域区分決定
	49	1974		児玉都市計画区域用途地域指定
	50	1975		児玉南土地区画整理事業開始
	51	1976		本庄都市計画下水道都市計画決定
	53	1978	若泉運動公園開設	
	55	1980	関越自動車道東松山～前橋間開通	
	57	1982	早稲田大学本庄高等学院開校	
	59	1984	児玉工業団地完成	
	60	1985		女堀土地区画整理事業開始
	61	1986	本庄住宅団地「四季の里」第一期分譲開始	
	62	1987	本庄駅橋上駅舎竣工	
	62	1989	本庄駅北東口増設、北口広場の整備完成	本庄都市計画下水道工事着手
平成	4	1992	新市庁舎完成	
	5	1993	本庄地方拠点都市地域に指定される	
	6	1994	本庄総合公園第一期開設	
	7	1995	本庄児玉総合文化会館（セルディ）完成	
	9	1997	本庄いまい台産業団地完成	
	11	1999	うめみの工業団地完成	
	14	2002	本庄総合公園体育館（シルクドーム）完成	
	16	2004	利根川に架かる坂東大橋が架け替え 本庄早稲田駅開業	
	18	2006	（旧）本庄市、児玉郡児玉町と新設合併し、新たに本庄市となる	本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業開始
	22	2010	本庄早稲田の杜まちびらき	
	27	2015	「はにぼんプラザ」完成 複合施設「アスピアこだま」完成	
令和	1	2019		

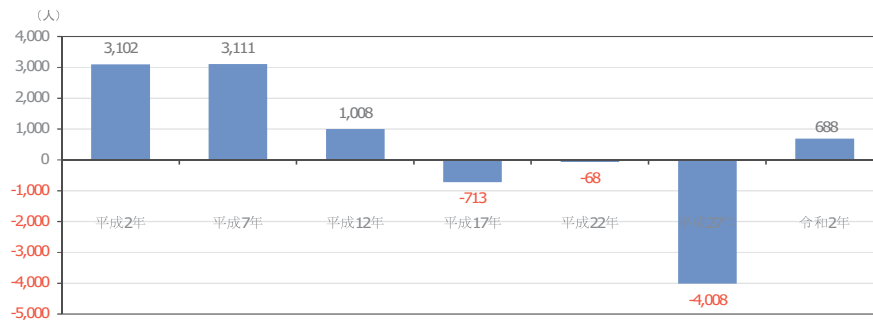
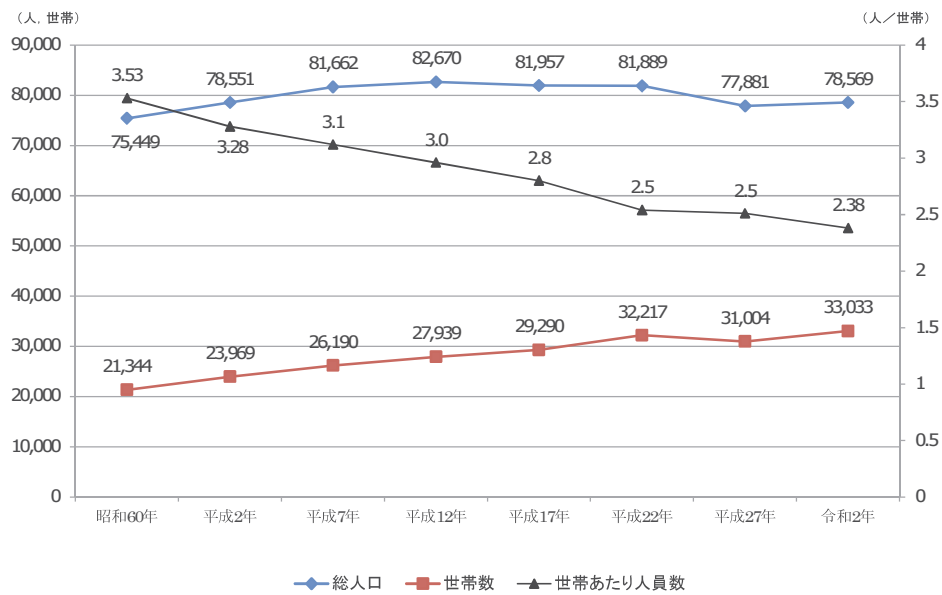
(3) 都市の人口等

① 人口と世帯数の推移

- 本市の総人口と世帯数は令和2年（2020年）現在で78,569人、33,033世帯となっています。
- 人口は、平成12年（2000年）をピークに、それ以降は減少傾向を続けていましたが、令和2年（2020年）には増加しています。地域別に見ると、本庄早稲田、児玉町児玉南で増加人口が多くなっています。
- 世帯数は増加を続けており、世帯当たり人員数は平成12年（2000年）以降3人を下回っています。
- 令和2年（2020年）現在で人口の約6割が市街化区域、約1割が用途地域に居住しており、平成17年からその割合にあまり変化がありません。

■人口・世帯数の推移

	昭和60年 1985	平成2年 1990	平成7年 1995	平成12年 2000	平成17年 2005	平成22年 2010	平成27年 2015	令和2年 2020
総人口（人）	75,449	78,551	81,662	82,670	81,957	81,889	77,881	78,569
世帯数（世帯）	21,344	23,969	26,190	27,939	29,290	32,217	31,004	33,033
世帯当たり人員数	3.53	3.28	3.12	2.96	2.80	2.54	2.51	2.38



資料：国勢調査

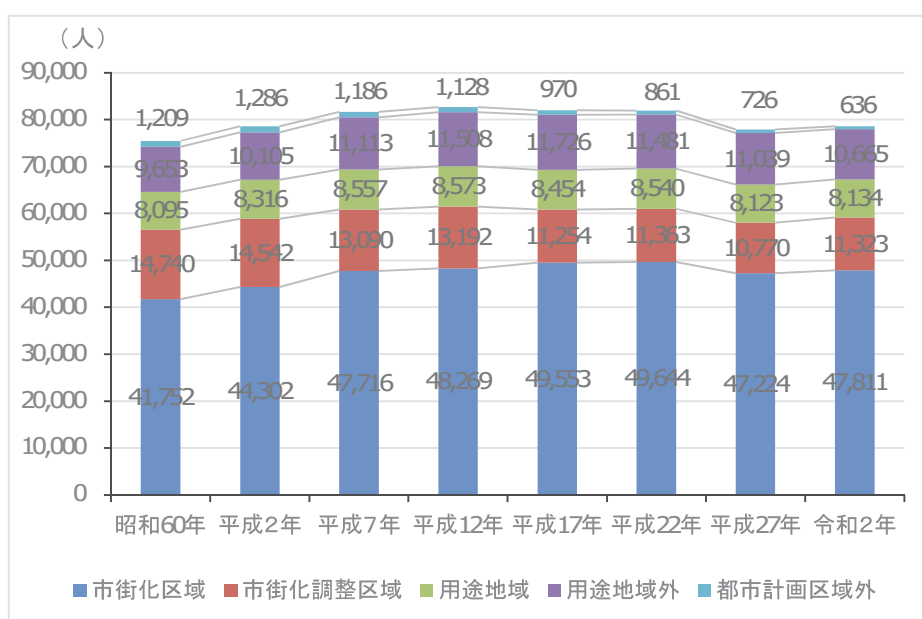
■町別人口の推移

住 所	人口（人）		
	2015年〔A〕	2020年〔B〕	B－A
本庄市総計	77,881	78,569	688
千代田	1,464	1,467	3
若泉	2,376	2,451	75
中央	653	590	-63
銀座	1,224	1,176	-48
本庄	2,182	2,083	-99
東台	3,202	3,137	-65
日の出	3,898	3,839	-59
南	648	630	-18
前原	1,641	1,647	6
柏	1,338	1,374	36
栄	2,324	2,352	28
小島南	2,594	2,576	-18
小島	4,499	4,496	-3
寿	1,997	2,032	35
駅南	1,796	1,848	52
けや木	1,525	1,611	86
見福	2,731	2,914	183
緑	1,380	1,529	149
照若町	8	0	-8
台町	295	330	35
諏訪町	53	145	92
朝日町	1,775	1,896	121
本町	122	147	25
鵜森	167	161	-6
傍示堂	360	351	-9
牧西	695	608	-87
小和瀬	549	502	-47
宮戸	346	316	-30
堀田	385	371	-14
滝瀬	236	200	-36
仁手	519	513	-6
下仁手	169	172	3
上仁手	170	151	-19
久々宇	325	299	-26
田中	345	318	-27
都島	206	229	23
山王堂	362	351	-11
沼和田	759	680	-79
小島	32	48	16
下野堂	1,352	1,356	4
下野堂	435	498	63
都島	71	63	-8
新井	331	302	-29
北堀	1,019	1,116	97
四季の里	1,431	1,368	-63
栗崎	563	618	55
西五十子	530	564	34
東五十子	339	360	21
東富田	251	279	28
西富田	1,973	2,084	111
四方田	366	352	-14
今井	1,514	1,665	151
共栄	98	88	-10
いまい台	0	0	0
現玉町八幡山	905	835	-70
現玉町現玉	5,787	5,534	-253
現玉町金屋	2,295	2,249	-46
現玉町長沖	149	371	222
現玉町高柳	484	439	-45
現玉町飯倉	449	403	-46
現玉町宮内	494	434	-60
現玉町塩谷	508	465	-43
現玉町保木野	223	215	-8
現玉町田端	432	376	-56
現玉町秋山	950	824	-126
現玉町小平	754	682	-72
現玉町太駄	275	225	-50
現玉町河内	199	184	-15
現玉町稲沢	81	68	-13
現玉町元田	179	159	-20
現玉町蛭川	968	924	-44
現玉町下真下	234	237	3
現玉町共栄	365	421	56
現玉町上真下	518	546	28
現玉町吉田林	1,379	1,414	35
現玉町入浅見	572	568	-4
現玉町下浅見	573	559	-14
現玉町高閣	110	106	-4
万年寺	909	913	4
五十子	606	664	58
早稲田の村	850	1,229	379
現玉町現玉南	1,010	1,272	262

※平成 27 年、令和 2 年国勢調査（小地域集計）より作成

■区域区分別人口の推移（人）

	行政区域					
	市街化区域	市街化調整区域	用途地域	用途地域外	都市計画区域外	
昭和60年	75449	41,752	14,740	8,095	9,653	1,209
平成2年	78551	44,302	14,542	8,316	10,105	1,286
平成7年	81,662	47,716	13,090	8,557	11,113	1,186
平成12年	82,670	48,269	13,192	8,573	11,508	1,128
平成17年	81,957	49,553	11,254	8,454	11,726	970
平成22年	81,889	49,644	11,363	8,540	11,481	861
平成27年	77,881	47,224	10,770	8,123	11,039	726
令和2年	78,569	47,811	11,323	8,134	10,665	636



■区域区分別人口の構成比（%）

	行政区域					
	市街化区域	市街化調整区域	用途地域	用途地域外	都市計画区域外	
昭和60年	100.0	55.3	19.5	10.7	12.8	1.6
平成2年	100.0	56.4	18.5	10.6	12.9	1.6
平成7年	100.0	58.4	16.0	10.5	13.6	1.5
平成12年	100.0	58.4	16.0	10.4	13.9	1.4
平成17年	100.0	60.5	13.7	10.3	14.3	1.2
平成22年	100.0	60.6	13.9	10.4	14.0	1.1
平成27年	100.0	60.6	13.8	10.4	14.2	0.9
令和2年	100.0	60.9	14.4	10.4	13.6	0.8

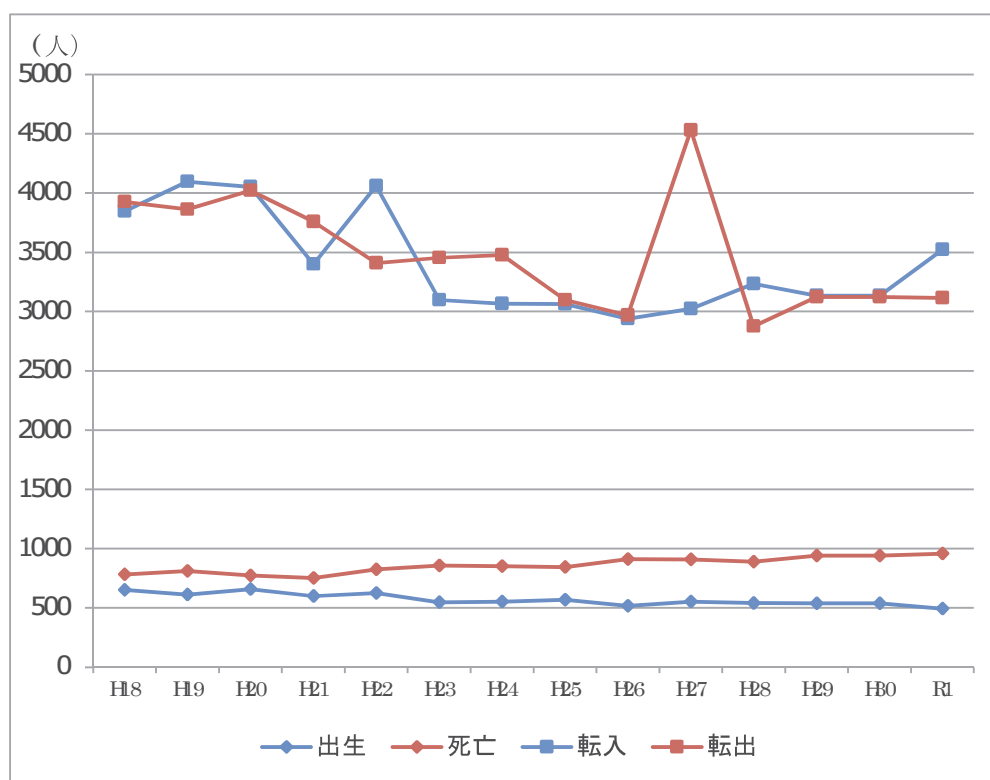
資料：資料：本庄市都市計画基礎調査（平成27年、令和2年）

② 人口動態

- ・ 自然動態は、出生の減少と死亡の増加により、自然減少が増加傾向にあります。
- ・ 社会動態は、近年は増加傾向にあります。移動者数（転入と転出の合計）が平成18年～20年の8千人程度から6千人台に落ち込んでいます。

■出生・死亡と転入・転出の推移

年次	自然動態（人）			社会増減（人）			人口増減（人）
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減	
平成18年	652	782	-130	3,846	3,927	-81	-211
19	612	812	-200	4,096	3,863	233	33
20	660	774	-114	4,053	4,023	30	-84
21	600	752	-152	3,401	3,758	-357	-509
22	627	824	-197	4,061	3,409	652	455
23	548	859	-311	3,098	3,455	-357	-668
24	553	853	-300	3,067	3,477	-410	-710
25	569	844	-275	3,064	3,097	-33	-308
26	518	913	-395	2,940	2,968	-28	-423
27	553	909	-356	3,023	4,530	-1,507	-1,863
28	541	889	-348	3,234	2,875	359	11
29	522	940	-418	3,265	3,130	135	-283
30	538	940	-402	3,134	3,123	11	-391
令和1年	494	958	-464	3,524	3,115	409	-55



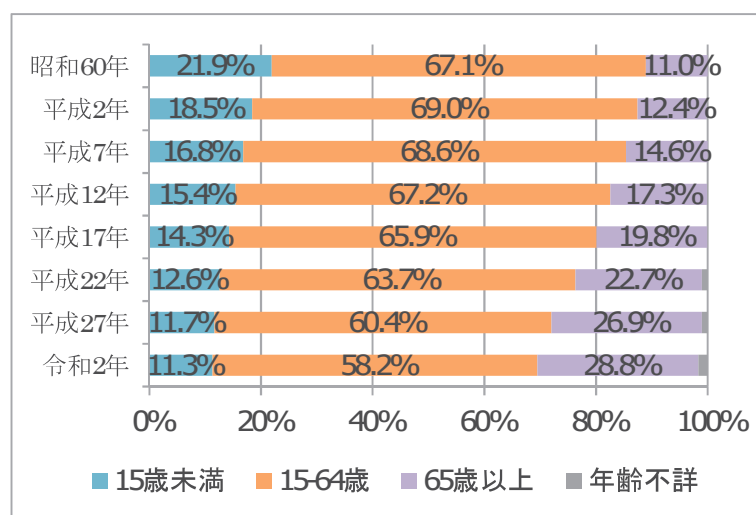
資料：市町村勢概要、埼玉県統計年鑑

③ 年齢別人口

- 年齢3区分別人口の構成は、年少人口（15歳未満）の割合が昭和60年（1985年）～令和2年（2020年）で約11ポイントと大きく減少しました。
- 老年人口の増加傾向は著しく、昭和60年（1985年）～令和2年（2020年）で約18ポイント増加しています。
- 5歳階級別の割合では、令和2年（2020年）年では、45～49歳とこの親世代である70～74歳が最も多く約8%を占めています。また、40歳未満は全ての階級において構成比が減少しています。

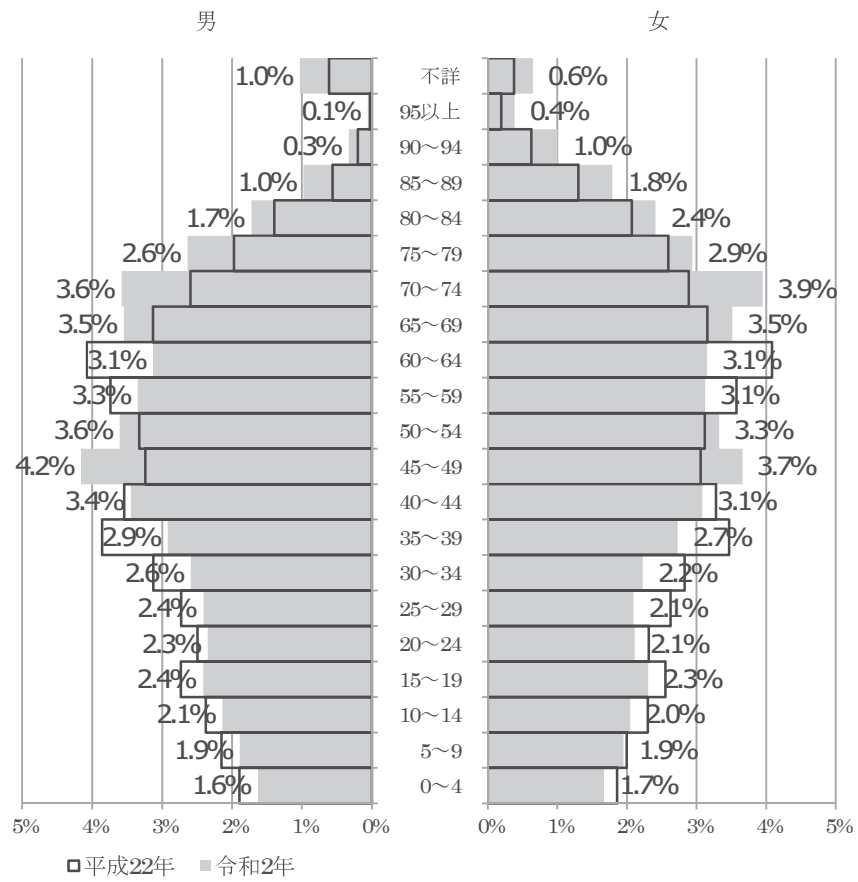
■年齢3区分別人口の推移

		15歳未満	15-64歳	65歳以上	年齢不詳	総人口
昭和60年	実数	16,514	50,603	8,332	0	75,449
	構成比	21.9%	67.1%	11.0%	0.0%	100.0%
平成2年	実数	14,500	54,168	9,752	131	78,551
	構成比	18.5%	69.0%	12.4%	0.2%	100.0%
平成7年	実数	13,733	56,026	11,903	0	81,662
	構成比	16.8%	68.6%	14.6%	0.0%	100.0%
平成12年	実数	12,761	55,531	14,288	90	82,670
	構成比	15.4%	67.2%	17.3%	0.1%	100.0%
平成17年	実数	11,709	53,986	16,238	24	81,957
	構成比	14.3%	65.9%	19.8%	0.0%	100.0%
平成22年	実数	10,283	52,199	18,592	815	81,889
	構成比	12.6%	63.7%	22.7%	1.0%	100.0%
平成27年	実数	9,103	47,028	20,965	785	77,881
	構成比	11.7%	60.4%	26.9%	1.0%	100.0%
令和2年	実数	8,894	45,696	22,661	1,318	78,569
	構成比	11.3%	58.2%	28.8%	1.7%	100.0%



資料：国勢調査

■ 5 歳階級別人口比率









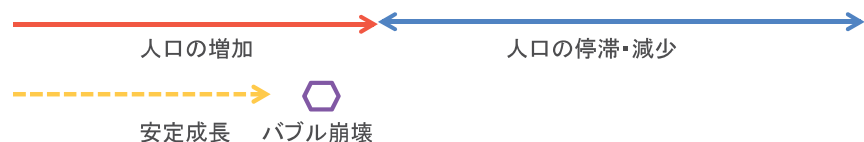
資料：国勢調査

- 平成 27 年（2015 年）に「10 歳～14 歳」層は、5 年後の令和 2 年（2020 年）には「15 歳～19 歳」層に以降します。令和 2 年（2020 年）の「15 歳～19 歳」の人口から平成 27 年（2015 年）の「10 歳～14 歳」の人口を差し引くことにより、社会移動の状況を概略把握することができます。
- 本市の年齢階層別人口の増減の推移を見ると、10 歳代の進学や就職による転出は継続しています。また、平成 12 年（2000 年）から平成 27 年（2015 年）は、30 歳代前半～40 歳代後半の子育て層とその子供が減少していますが、平成 27 年（2015 年）～令和 2 年（2020 年）にはこれらの層が増加しています。

■世代別人口の移動

年齢階層(歳)	年次	昭和60年～ 平成2年	平成2年～ 平成7年	平成7年～ 平成12年	平成12年～ 平成17年	平成17年～ 平成22年	平成22年～ 平成27年	平成27年～ 令和2年
0 ～ 4 ⇒ 5 ～ 4		4,189	4,226	3,982	3,523	3,069	2,671	2,591
		211	245	55	-23	-128	-2	344
5 ～ 9 ⇒ 10 ～ 14		51	184	64	-54	-130	-30	221
10 ～ 14 ⇒ 15 ～ 19		185	260	-39	-78	98	102	341
15 ～ 19 ⇒ 20 ～ 24		-673	-609	-695	-578	-482	-733	-429
20 ～ 24 ⇒ 25 ～ 29		234	256	88	173	-76	-340	-52
25 ～ 29 ⇒ 30 ～ 34		393	310	47	-39	-283	-255	186
30 ～ 34 ⇒ 35 ～ 39		257	385	52	-14	-98	-144	311
35 ～ 39 ⇒ 40 ～ 44		220	199	-40	-29	-14	-119	396
40 ～ 44 ⇒ 45 ～ 49		16	97	27	-115	-109	-252	266
45 ～ 49 ⇒ 50 ～ 54		8	8	-72	-108	105	-92	112
50 ～ 54 ⇒ 55 ～ 59		-29	15	-52	-225	24	-224	21
55 ～ 59 ⇒ 60 ～ 64		-80	-131	-153	-201	46	-262	-122
60 ～ 64 ⇒ 65 ～ 69		-165	-205	-236	-238	-79	-394	-182
65 ～ 69 ⇒ 70 ～ 74		-228	-238	-308	-377	-98	-324	-372
70 ～ 74 ⇒ 75 ～		-1,487	-1,891	-1,712	-2,330	-1,913	-3,610	-2,944
総人口		3,102	3,111	1,008	-713	-68	-4,008	688

	子育て層の転入と子どもの転入・出生の増加
	子育て層の転出と子どもの転入・出生の減少
	就職等による転入
	子どもの就職等による転出
	中年・壮年層の転出
	リタイア層の転出



※国勢調査の5歳階級別人口より作成

④ 通勤・通学流動（15歳以上）

- 通勤・通学による15歳以上の人口の流出入の状況は、平成22年（2010年）には転出超過でしたが、平成27年（2015年）で1,763人の流入超過、昼夜間人口比率1.02となっています。これは、転出の減少と群馬県からの転入が増加しているためです。
- 本市の就業・就学人口のうち市内で従業・通学する人は約51%で、約29%が埼玉県内、約11%が群馬県で従業・通学しています。流出先としては深谷市が最も多くを占めています。県外では、伊勢崎市、高崎市が多くを占めています。なお、東京都は約4%となっています。
- 本市の従業・通学者の約47%が市外から来ています。流入元としては、上里町、深谷市が約8%を占めています。

■通勤・通学流動の推移

[流入元別人口]

	平成22年		平成27年	
	人	構成比	人	構成比
本市市内の従業・通学者	44,710	100.0%	43,441	100.0%
市内に常住	22,628	50.6%	21,091	48.6%
他区市町村に常住	19,511	43.6%	20,516	47.2%
埼玉県	14,799	33.1%	14,954	34.4%
さいたま市	298	0.7%	285	0.7%
熊谷市	1,636	3.7%	1,658	3.8%
深谷市	3,364	7.5%	3,547	8.2%
美里町	1,256	2.8%	1,141	2.6%
神川町	1,520	3.4%	1,483	3.4%
上里町	3,640	8.1%	3,675	8.5%
寄居町	714	1.6%	681	1.6%
その他の市町村	2,371	5.3%	2,484	5.7%
他 県	4,712	10.5%	5,562	12.8%
群馬県	4,129	9.2%	4,834	11.1%
前橋市	281	0.6%	348	0.8%
高崎市	899	2.0%	1,054	2.4%
伊勢崎市	1,215	2.7%	1,540	3.5%
藤岡市	1,017	2.3%	1,086	2.5%
東京都	324	0.7%	299	0.7%
その他の都道府県	259	0.6%	429	1.0%
不詳・外国	2,571	5.8%	1,834	4.2%

[流出先別人口]

	平成22年		平成27年	
	人	構成比	人	構成比
本市市内に常住する就業・通学者	44,287	100.0%	41,427	100.0%
市内で従業・就学	22,628	51.1%	21,091	50.9%
他区市町村で従業・就学	20,417	46.1%	18,753	45.3%
埼玉県	12,870	29.1%	11,905	28.7%
さいたま市	826	1.9%	699	1.7%
熊谷市	1,633	3.7%	1,543	3.7%
深谷市	3,343	7.5%	3,016	7.3%
美里町	1,380	3.1%	1,355	3.3%
神川町	1,263	2.9%	1,063	2.6%
上里町	2,486	5.6%	2,186	5.3%
寄居町	510	1.2%	561	1.4%
その他の市町村	1,429	3.2%	1,482	3.6%
他 県	7,547	17.0%	6,848	16.5%
群馬県	4,457	10.1%	4,685	11.3%
前橋市	480	1.1%	504	1.2%
高崎市	1,077	2.4%	1,079	2.6%
伊勢崎市	1,450	3.3%	1,527	3.7%
藤岡市	585	1.3%	639	1.5%
東京都	1,514	3.4%	1,541	3.7%
その他の都道府県	1,576	3.6%	622	1.5%
不詳・外国	1,242	2.8%	1,583	3.8%

[昼夜間人口比率]

	平成22年	平成27年
夜間人口（行政人口）	81,889	77,881
昼間人口	80,983	79,644
通勤・通学流入	19,511	20,516
通勤・通学流出	20,417	18,753
流出入差分	▲ 906	1,763
昼夜間人口比率	0.99	1.02

資料：国勢調査

(4) 都市の産業

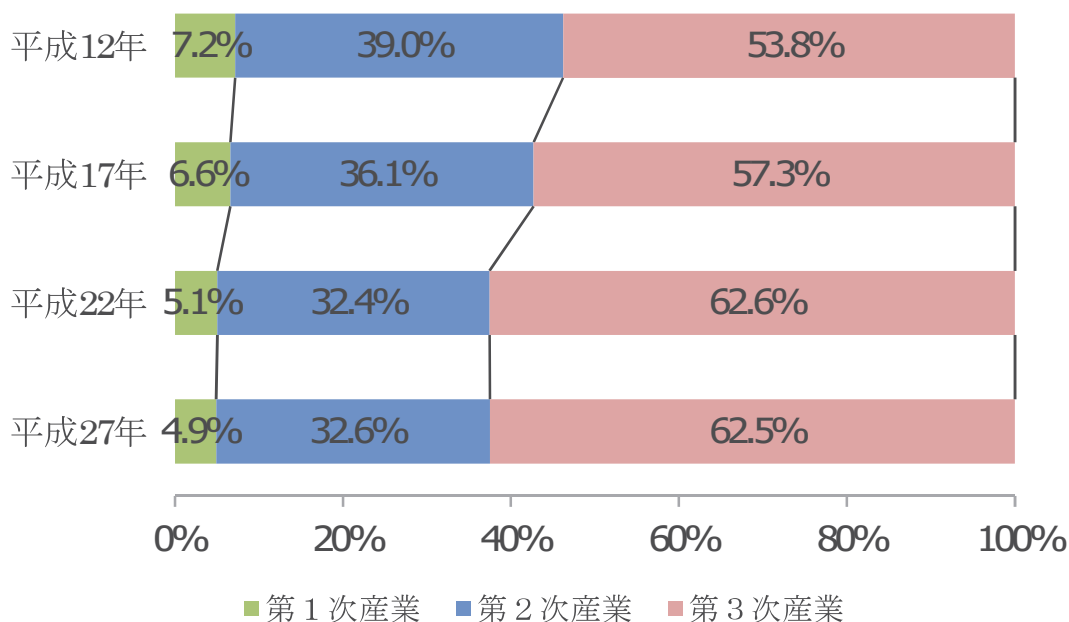
① 産業就業構造

- 本市に居住する就業者数は、平成 27 年（2015 年）37,555 人で、平成 12 年（2000 年）に比べ 15 年間で 3,648 人減少しています。
- 産業別の就業者の割合は、第 3 次産業が約 63%を占め、15 年間で約 9 ポイント増加しています。第 2 次産業は減少傾向にあり約 33%となっています。また、第 1 次産業の就業者数は、約 5%まで減少しています。

■ 産業分類別就業者の推移

	総数	第1次産業		第2次産業		第3次産業※	
		就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
平成12年	41,203	2,958	7.2%	16,067	39.0%	22,178	53.8%
平成17年	40,692	2,703	6.6%	14,681	36.1%	23,308	57.3%
平成22年	39,992	2,038	5.1%	12,939	32.4%	25,015	62.6%
平成27年	37,555	1,836	4.9%	12,258	32.6%	23,461	62.5%

※分類不能の産業含む



資料: 国勢調査

② 農業

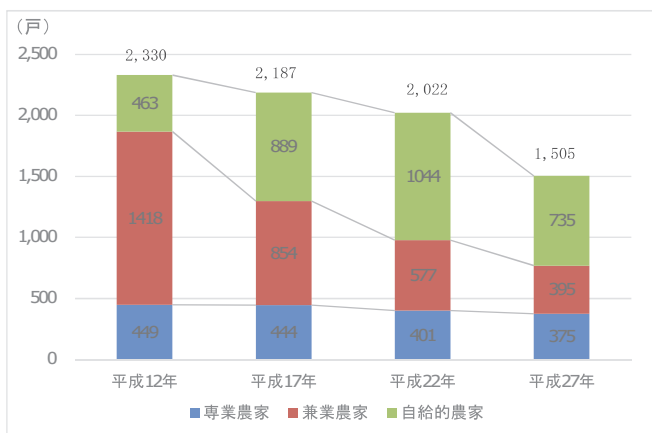
- 本市の農業は、野菜と畜産を中心に営まれています。野菜では、「レタス」「たまねぎ」の作付け面積が県内第1位、「はくさい」「キャベツ」「ブロッコリー」「きゅうり」が第2位、「ながいもなど」「ねぎ」「なす」「トマト」が第3位となっています（2020年農林業センサス販売目的の野菜類の作物別作付経営体数と作付面積）。また、畜産（鶏）は、県内シェア約41%の産出額となっています。
- 農家数は、平成12年（2000年）からの15年間で約35%減少しています。これは兼業農家が大幅に減少したことによるものです。なお、専業農家はほぼ横ばいで推移しています。
- 経営耕地面積は、畑を中心とした減少により、15年間で約35%減少しています。

■品目別の農業産出額（令和元年）

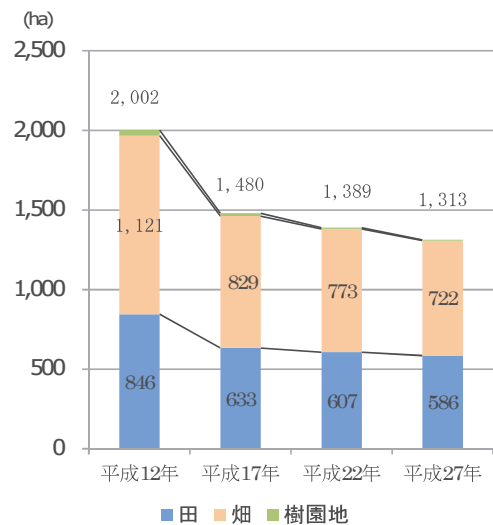
	本庄市			埼玉県	
	金額(千万円)	構成比	県内シェア	金額(億円)	構成比
農業産出額	1,083	100.0%	6.5%	1,678	100.0%
耕種	625	57.7%	4.4%	1,428	85.1%
米	57	5.3%	1.6%	354	21.1%
麦類	10	0.9%	7.7%	13	0.8%
雑穀	0	0.0%	0.0%	1	0.1%
豆類	0	0.0%	0.0%	2	0.1%
いも類	1	0.1%	0.4%	23	1.4%
野菜	547	50.5%	6.9%	796	47.4%
果実	2	0.2%	0.4%	55	3.3%
花き	X	-	-	152	9.1%
工芸農作物	0	0.0%	0.0%	18	1.1%
その他農作物	X	-	-	16	1.0%
畜産	458	42.3%	18.4%	249	14.8%
肉用牛	20	1.8%	5.6%	36	2.1%
乳用牛	92	8.5%	13.1%	70	4.2%
豚	15	1.4%	2.7%	56	3.3%
鶏	330	30.5%	41.3%	80	4.8%
その他畜産物	1	0.1%	1.7%	6	0.4%
加工農産品	0	0.0%	0.0%	1	0.1%

資料：令和元年市町村別農業産出額（推計）・令和元年農業産出額及び生産農業所得（都道府県別）：農林水産省

■種類別農家数の推移（各年2月1日現在、単位：戸）



■経営耕地面積の推移



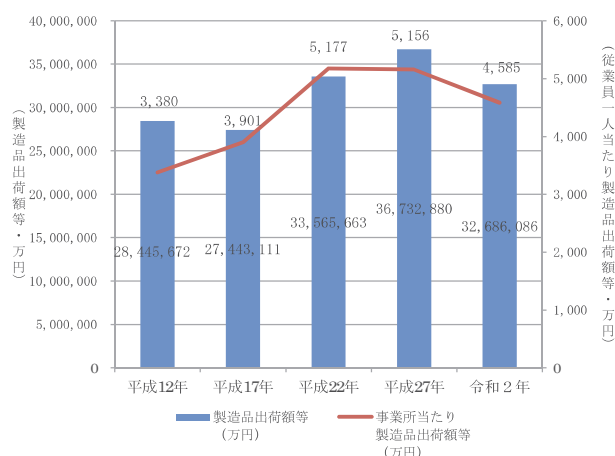
資料：農林業センサス：農林水産省

③ 工業

- 本市の工業の事業所数、従業者数は平成12年(2000年)に比べ減少傾向にありますが、製造品出荷額等は増加傾向にあります。従業者1人当たりの製造品出荷額等は、県平均の1.3倍となっています。
- 本市の工業は、製造品出荷額等から見ると輸送用機械器具製造、食料品製造、情報通信機械器具製造、印刷・同関連業製造が中心となっています。

■事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

	年次	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額等(万円)	従業者1人当たり製造品出荷額等(万円)
本市	平成12年	242	8,417	28,445,672	3,380
	平成17年	190	7,034	27,443,111	3,901
	平成22年	161	6,483	33,565,663	5,177
	平成27年	161	7,124	36,732,880	5,156
	令和2年	138	7,129	32,686,086	4,585
埼玉県	令和2年	10,490	389,487	1,375,816,500	3,532



■産業中分類別の事業所数・従業者数・製造品出荷額等

	平成22年(2010)				令和2年(2020)			
	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額等 金額(万円)	構成比	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額等 金額(万円)	構成比
製造業計	161	6,483	33,565,663	100.0%	138	7,129	32,686,086	100.0%
食料品	20	1,016	3,121,956	9.3%	17	1,434	5,084,632	15.6%
飲料・たばこ・飼料	2	10	X	X	1	5	X	X
繊維工業	9	207	2,615,675	7.8%	5	106	92,850	0.3%
木材・木製品(家具を除く)	2	92	X	X	4	134	862,371	2.6%
家具・装備品	3	35	32,219	0.1%	2	28	X	X
パルプ・紙・紙加工品	5	226	903,574	2.7%	4	231	1,110,028	3.4%
印刷・同関連業	10	410	3,235,156	9.6%	9	359	3,412,373	10.4%
化学工業	9	247	1,553,635	4.6%	8	609	2,509,696	7.7%
石油製品・石炭製品	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%
プラスチック製品	13	382	1,253,055	3.7%	12	479	1,211,084	3.7%
ゴム製品	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%
なめし革・同製品・毛皮	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%
窯業・土石製品	4	73	181,059	0.5%	7	127	491,276	1.5%
鉄鋼業	2	27	X	X	0	0	0	0.0%
非鉄金属	4	168	856,670	2.6%	5	219	1,635,997	5.0%
金属製品	24	793	2,101,145	6.3%	21	1,033	2,896,303	8.9%
汎用機械器具	4	158	213,963	0.6%	2	85	X	X
生産用機械器具	9	141	469,266	1.4%	8	178	344,052	1.1%
業務用機械器具	2	35	X	X	3	41	114,954	0.4%
電子部品・デバイス・電子回路	5	267	372,533	1.1%	6	291	175,321	0.5%
電気機械器具	8	152	97,648	0.3%	5	104	227,177	0.7%
情報通信機械器具	4	722	3,654,372	10.9%	2	581	X	X
輸送用機械器具	18	1,177	11,976,224	35.7%	13	1,054	6,810,096	20.8%
その他	4	145	142,856	0.4%	4	31	36,998	0.1%

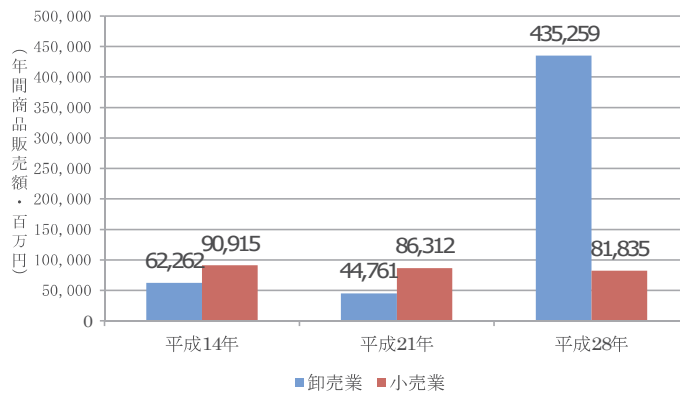
資料：工業統計調査

④ 商業・流通業等

- 本市における商店数、従業員数は減少していますが、年間商品販売額は大きく増加しています。
- 年間商品販売額は特に卸売業の伸びが大きく、平成14年（2002年）年の約7倍になっています。（カインズの移転が理由か？：2012年（平成24年））
- 小売業の年間販売額は減少していますが、人口1人当たりの小売販売額で見ると、埼玉県平均の1.1倍の水準にあることから、購買力が他都市から流入していると考えられます。

■商店数・従業員数・年間商品販売額等の推移

		商店数			従業員数			年間商品販売額（百万円）		
		総数	卸売業	小売業	総数	卸売業	小売業	総数	卸売業	小売業
本庄市	平成14年	1,186	203	983	7,077	1,523	5,554	153,177	62,262	90,915
	平成21年	985	140	785	6,244	1,026	5,218	131,073	44,761	86,312
	平成28年	685	123	562	6,067	1,717	4,350	517,094	435,259	81,835
埼玉県	平成28年	45,545	10,649	34,896	434,021	104,840	329,181	16,909,010	10,037,397	6,871,613



資料：商業統計、経済センサス活動調査

■産業中分類別（小売業のみ）の事業所数・従業員数・年間商品販売額（平成28年）

	事業所数	従業員数 (人)	年間商品販売額 (百万円)	構成比
合計	685	6,067	517,094	100.0%
卸売業計	123	1,717	435,259	84.2%
小売業計	562	4,350	81,835	15.8%
各種商品小売業	1	116	x	x
織物・衣服・身の回り品小売業	59	287	4,410	0.9%
飲食料品小売業	174	1,736	23,194	4.5%
機械器具小売業	86	622	22,441	4.3%
その他の小売業	234	1,515	x	x
無店舗小売業	8	74	699	0.1%

資料：経済センサス活動調査

■小売り販売額の水準（平成 28 年）

	小売り業 年間販売額 (百万円)	人 口 (人)	人口一人当た り販売額 (万円/人)	県平均に対す る水準
熊谷市	220,301	200,700	109.77	1.17
本庄市	81,835	78,993	103.60	1.10
深谷市	155,750	145,053	107.37	1.14
美里町	8,083	11,477	70.43	0.75
神川町	7,177	14,027	51.17	0.55
上里町	31,757	31,387	101.18	1.08
寄居町	24,157	34,855	69.31	0.74
埼玉県	6,871,613	7,323,413	93.83	1.00

※小売販売額（経済センサス活動調査）、平成 28 年住民基本台帳人口（1 月 1 日現在）より作成

- 本市の流通業務関連産業の事業所及び従業者の全産業に占める比率は、事業所数は約2%ですが、従業者数は4%と比較的高くなっています。
- この従業者の比率は、北部地域の他都市と比較すると7都市中4位に相当しますが、実数では深谷市の4割程度となっています。

■流通業務関連産業の事業所と従業者の全産業に占める割合（北部地域）

	全産業		流通業務関連産業※			
	事業所数	従業者数	事業所数	構成比	従業者数	構成比
熊谷市	8,586	94,240	166	1.9%	3,545	3.8%
本庄市	3,675	36,160	67	1.8%	1,526	4.2%
深谷市	5,616	57,778	165	2.9%	3,795	6.6%
美里町	441	6,026	18	4.1%	335	5.6%
神川町	525	6,367	16	3.0%	343	5.4%
上里町	1,026	11,729	27	2.6%	392	3.3%
寄居町	1,294	15,323	26	2.0%	293	1.9%

※流通業務関連産業：ここでは産業中分類の「44道路貨物運送業、47倉庫業、48運輸に付帯するサービス業」を指す

(5) 土地利用の状況

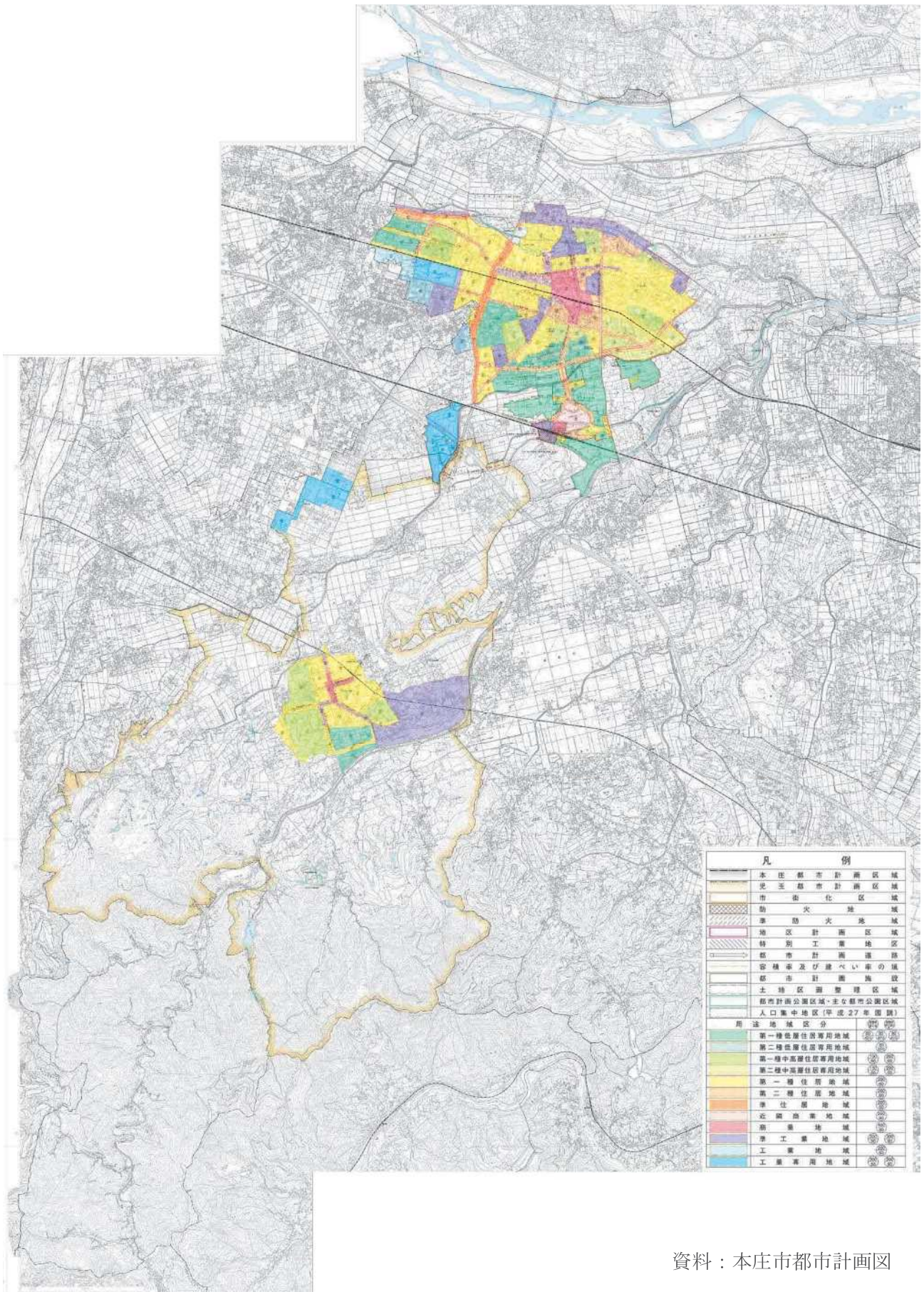
① 土地利用規制の状況

- 旧本庄市の全域（本庄都市計画区域）及び旧児玉町の一部（児玉都市計画区域）、合計7,378.0haが都市計画区域となっています。
- 本庄都市計画区域の約32%、1,156.7haに市街区域が、児玉都市計画区域(旧児玉町分)の約31%、358.6haに用途地域が指定されています。

■都市計画区域・地域地区の指定状況

地域	面積	
	(ha)	(%)
行政区域	8,969.0	100.0
本庄都市計画区域	3,672.0	40.9
市街化区域	1,156.7	31.5
用途地域	1,161.7	100.0
第一種低層住居専用地域	215.0	18.5
第二種低層住居専用地域	5.8	0.5
第一種中高層住居専用地域	50.5	4.3
第二種中高層住居専用地域	73.3	6.3
第一種住居地域	325.5	28.0
第二種住居地域	137.8	11.9
準住居地域	31.7	2.7
近隣商業地域	41.1	3.5
商業地域	36.0	3.1
準工業地域	130.7	11.3
工業地域	41.0	3.5
工業専用地域	63.6	5.5
工業専用地域（調整区域）※	9.7	0.8
市街化調整区域（※含む）	2,515.3	68.5
児玉都市計画区域	3,706.0	41.3
用途地域	358.6	30.9
第一種低層住居専用地域	27.2	7.6
第二種低層住居専用地域	0.0	0.0
第一種中高層住居専用地域	77.5	21.6
第二種中高層住居専用地域	0.0	0.0
第一種住居地域	101.9	28.4
第二種住居地域	0.0	0.0
準住居地域	0.0	0.0
近隣商業地域	10.2	2.8
商業地域	7.1	2.0
準工業地域	100.1	27.9
工業地域	0.0	0.0
工業専用地域	34.6	9.6
用途地域外	3,347.4	91.2
都市計画区域外	1,591.0	17.7

■都市計画区域・市街化区域・用途地域等

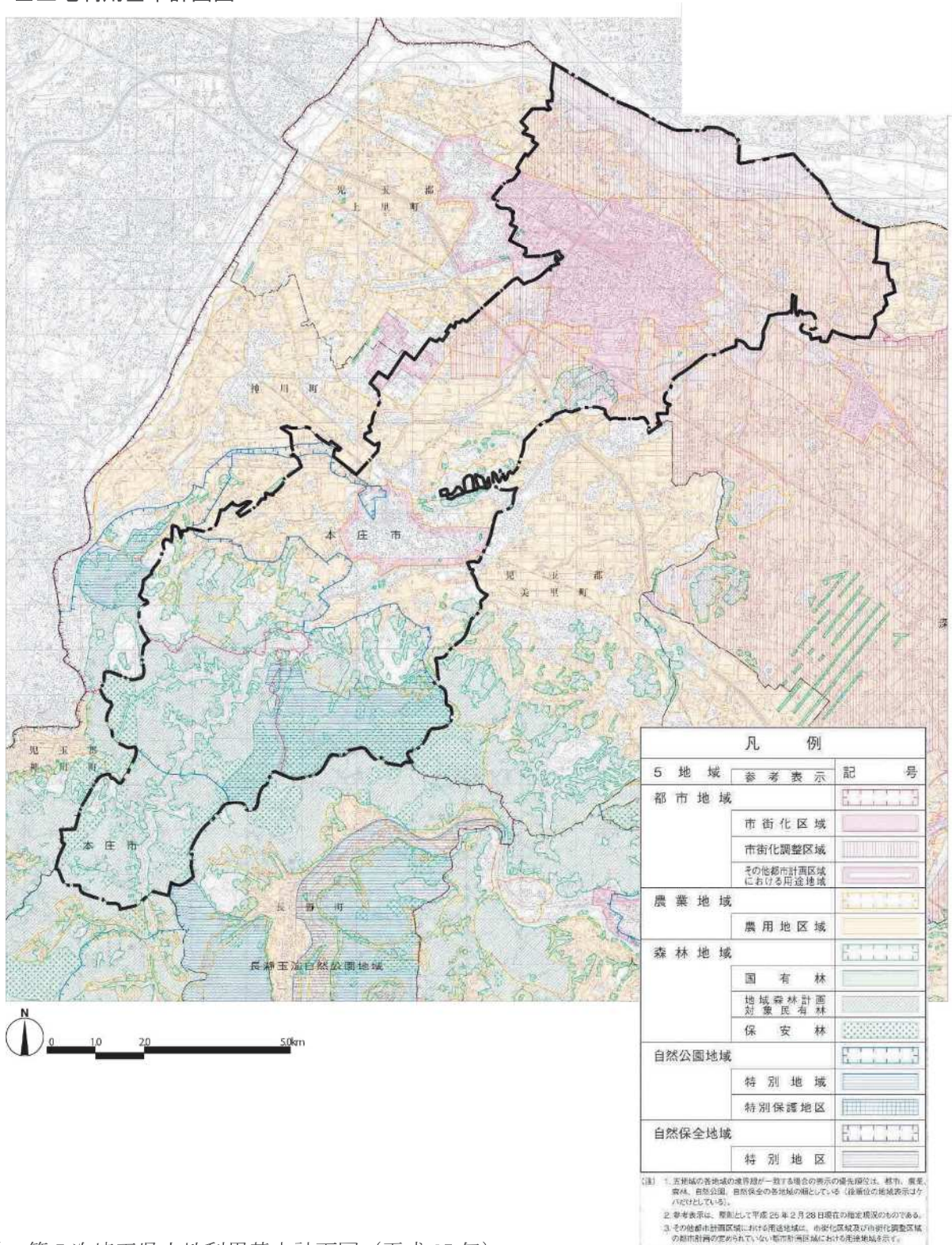


資料：本庄市都市計画図

② その他の土地利用規制の状況

- 埼玉県土地利用基本計画の5地域区分では、都市地域は南側を除き市街化区域・用途地域及びその外側に農用地域が指定されています。その他、都市地域の南側の一部を含む地域のほとんどには自然公園地域（県立上武自然公園）が指定されています。

■土地利用基本計画図



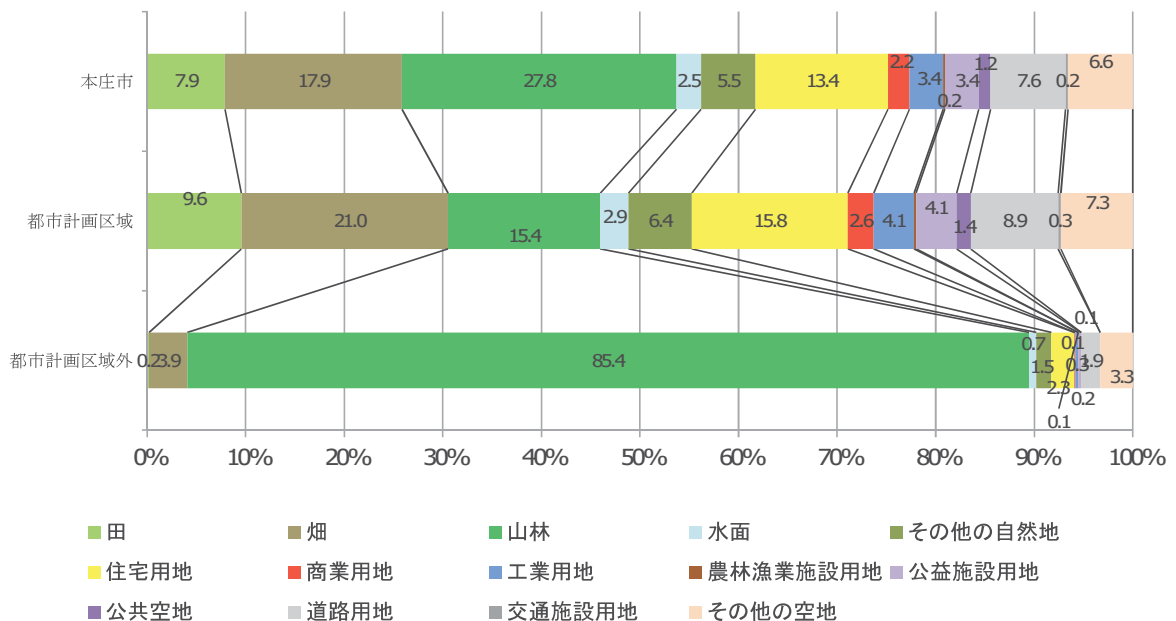
資料：第5次埼玉県土地利用基本計画図（平成25年）

③ 土地利用現況

- 本市の土地利用の割合は、自然的土地利用が約 62%、都市的土地利用が約 38%を占めています。
- 面積の最も大きい土地利用は山林で約 28%、次いで農地が約 26%（畑が約 18%）を占めています。都市的土地利用では住宅用地が約 13%、道路用地が約 8%を占め、商業用地、工業用地はそれぞれ 2～3%となっています。
- 都市計画区域は、都市的土地利用の割合が市全体に比べ約 6ポイント高くなっています。都市計画区域外は、自然的土地利用の割合が約 92%と市全体に比べ約 30ポイント高く、山林が多くを占めています。

■本庄市の土地利用別の面積と構成比（令和 2 年）

	本庄市		都市計画区域		都市計画区域外	
	面積 (ha)	構成比	面積 (ha)	構成比	面積 (ha)	構成比
自然的土地利用計	5,535.62	61.7%	4,076.41	55.3%	1,459.21	91.7%
農地	2,318.47	25.8%	2,253.49	30.5%	64.98	4.1%
田	709.36	7.9%	705.97	9.6%	3.39	0.2%
畑	1,609.11	17.9%	1,547.52	21.0%	61.59	3.9%
山林	2,496.67	27.8%	1,138.31	15.4%	1,358.36	85.4%
水面	223.75	2.5%	211.89	2.9%	11.86	0.7%
その他の自然地	496.73	5.5%	472.72	6.4%	24.01	1.5%
都市的土地利用計	3,433.38	38.3%	3,301.59	44.7%	131.79	8.3%
宅地	1,706.30	19.0%	1,663.14	22.5%	43.16	2.7%
住宅用地	1,205.85	13.4%	1,168.68	15.8%	37.17	2.3%
商業用地	194.64	2.2%	192.94	2.6%	1.70	0.1%
工業用地	305.81	3.4%	301.52	4.1%	4.29	0.3%
農林漁業施設用地	17.67	0.2%	16.80	0.2%	0.87	0.1%
公益施設用地	307.22	3.4%	303.39	4.1%	3.83	0.2%
公共空地	107.08	1.2%	106.15	1.4%	0.93	0.1%
道路用地	684.14	7.6%	653.92	8.9%	30.22	1.9%
交通施設用地	20.15	0.2%	20.15	0.3%	0.00	0.0%
その他の空地	590.82	6.6%	538.04	7.3%	52.78	3.3%
合計	8,969.00	100.0%	7,378.00	100.0%	1,591.00	100.0%

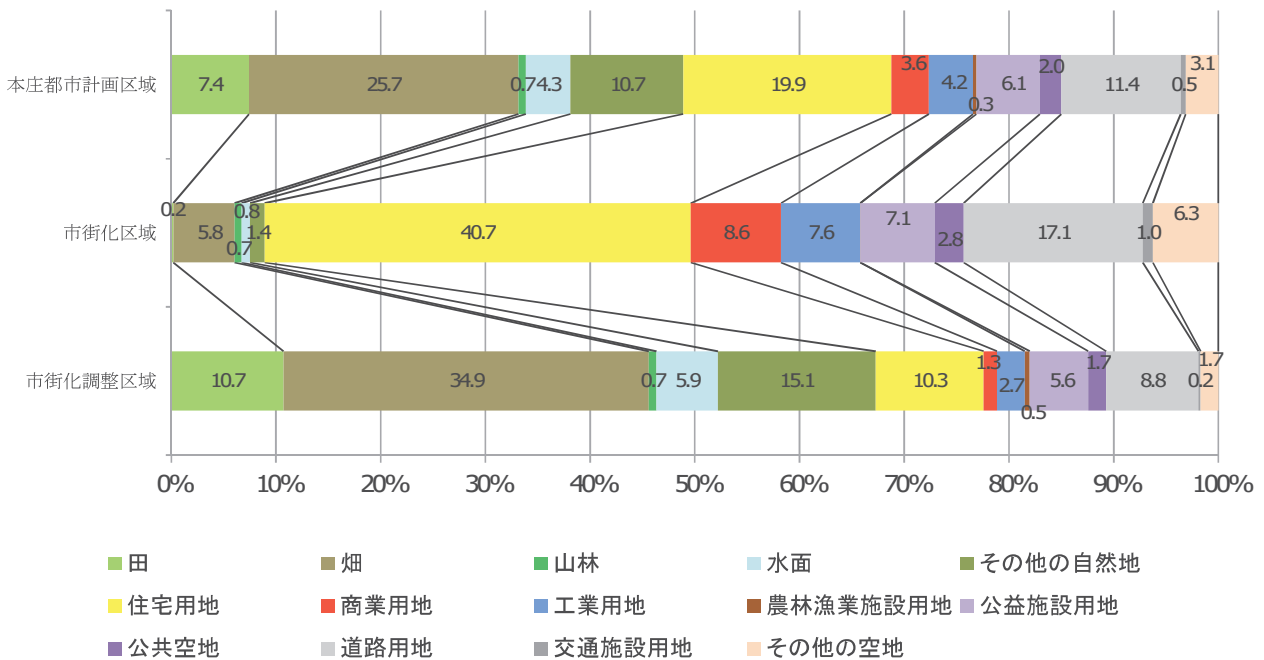


資料：本庄市都市計画基礎調査（令和 2 年）

- 本庄都市計画区域では、自然的土地利用と都市的土地利用は、ほぼ同様の割合となっています。
- 市街化区域では、都市的土地利用が約 91%を占め、宅地が約 57%（住宅用地：約 41%、商業用地：約 9%、工業用地：約 8%）となっています。
- 市街化調整区域では、自然的土地利用が約 67%を占め、その多くは農地となっています。都市的土地利用は市街化区域に比べ低い割合となっていますが、宅地は市街化区域の 5割強の面積であり、工業用地はほぼ同規模の面積となっています。

■本庄都市計画区域の土地利用別の面積と構成比（令和 2 年）

	本庄都市計画区域					
	市街化区域		市街化調整区域			
	面積 (ha)	構成比	面積 (ha)	構成比	面積 (ha)	構成比
自然的土地利用計	1,794.98	48.9%	103.13	8.9%	1,691.85	67.3%
農地	1,217.52	33.2%	70.03	6.1%	1,147.49	45.6%
田	272.18	7.4%	2.44	0.2%	269.74	10.7%
畑	945.34	25.7%	67.59	5.8%	877.75	34.9%
山林	25.88	0.7%	7.69	0.7%	18.19	0.7%
水面	157.03	4.3%	9.41	0.8%	147.62	5.9%
その他の自然地	394.55	10.7%	16.00	1.4%	378.55	15.1%
都市的土地利用計	1,877.02	51.1%	1,053.67	91.1%	823.35	32.7%
宅地	1,016.47	27.7%	658.05	56.9%	358.42	14.3%
住宅用地	730.27	19.9%	470.87	40.7%	259.40	10.3%
商業用地	131.34	3.6%	99.57	8.6%	31.77	1.3%
工業用地	154.86	4.2%	87.61	7.6%	67.25	2.7%
農林漁業施設用地	12.08	0.3%	0.01	0.0%	12.07	0.5%
公益施設用地	222.71	6.1%	82.32	7.1%	140.39	5.6%
公共空地	74.88	2.0%	32.03	2.8%	42.85	1.7%
道路用地	419.16	11.4%	197.77	17.1%	221.39	8.8%
交通施設用地	16.96	0.5%	11.01	1.0%	5.95	0.2%
その他の空地	114.76	3.1%	72.48	6.3%	42.28	1.7%
合計	3,672.00	100.0%	1,156.80	100.0%	2,515.20	100.0%

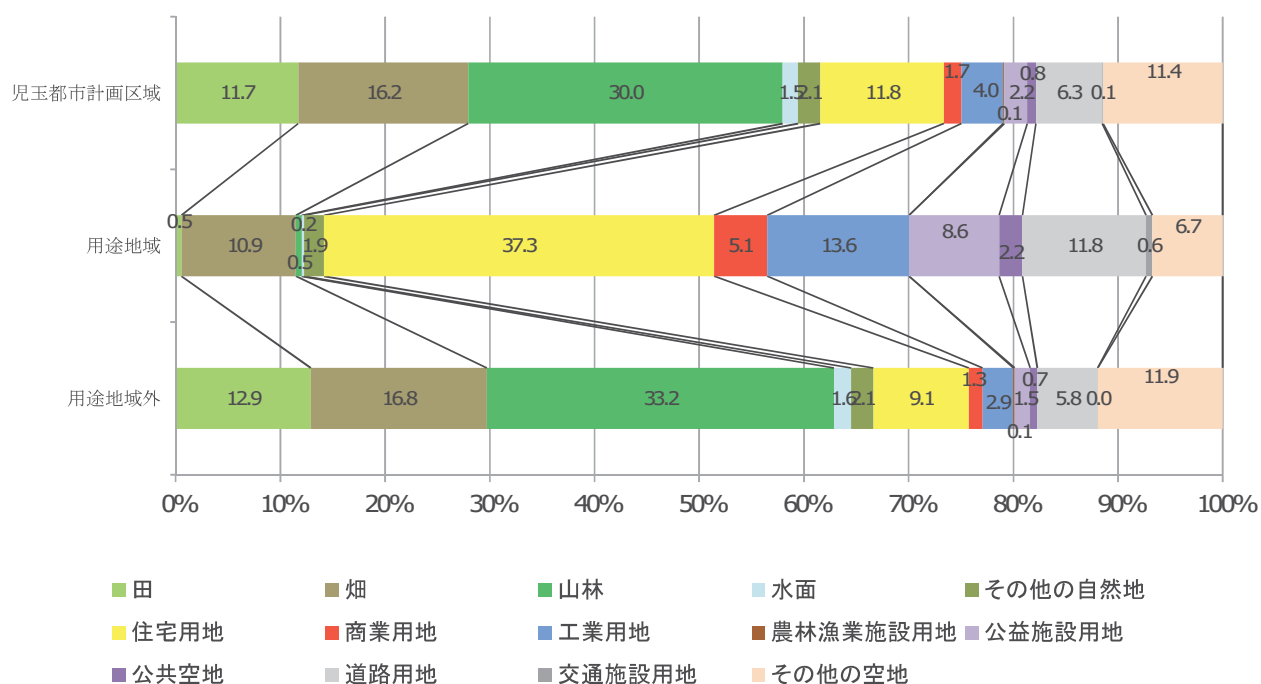


資料：本庄市都市計画基礎調査（令和 2 年）

- ・ 児玉都市計画区域では、自然的土地利用が約 62%、都市的土地利用が約 38%と、本庄市全体とほぼ同様の割合となっています。
- ・ 用途地域では、都市的土地利用が約 86%を占め、宅地が約 56%（住宅用地：約 37%、商業用地：約 5%、工業用地：約 14%）となっています。
- ・ 用途地域外では、自然的土地利用が約 67%を占め、その多くは農地、山林となっています。都市的土地利用は用途地域に比べ低い割合となっていますが、宅地は用途地域の2倍強の面積となっています。

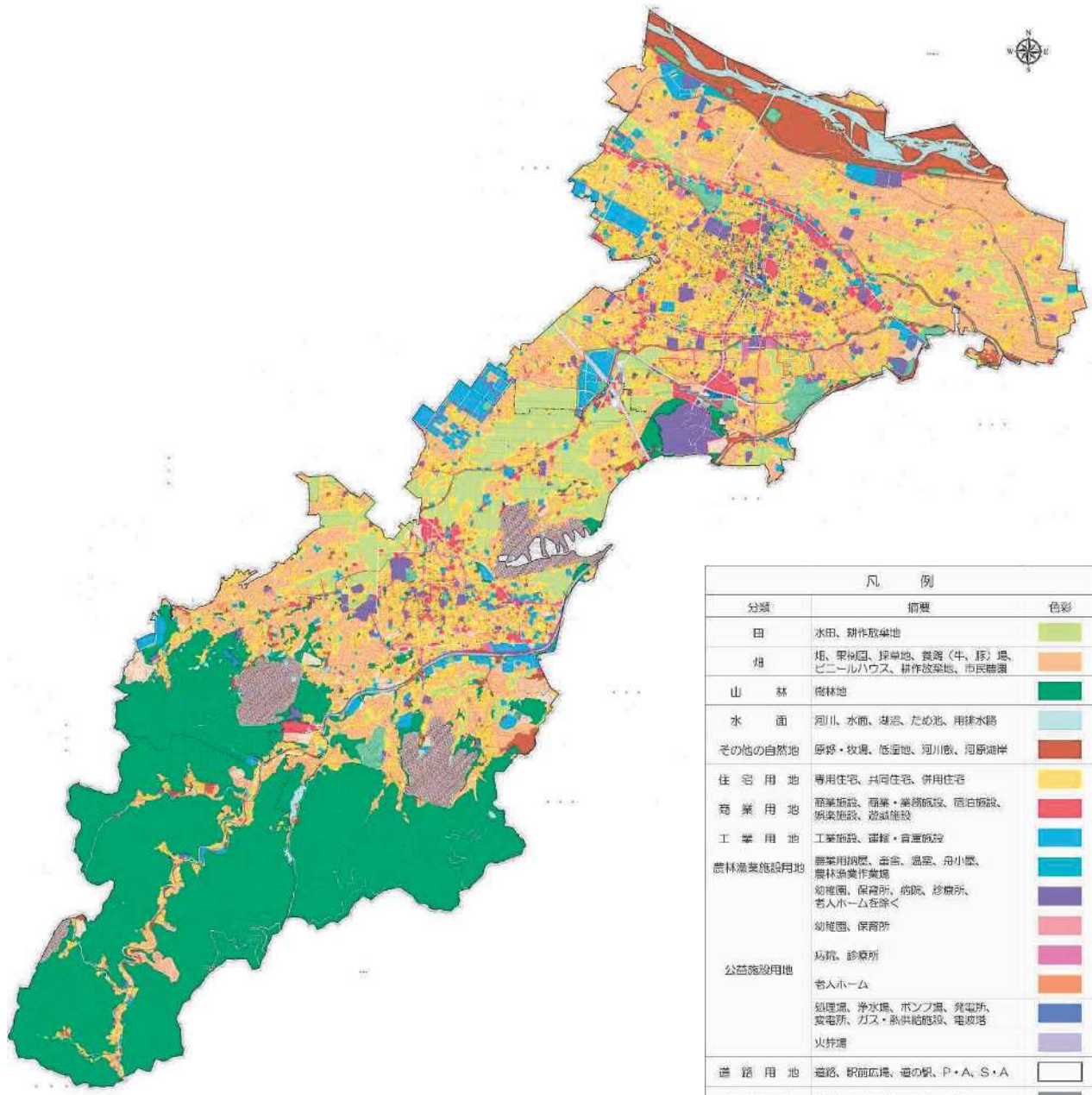
■ 児玉都市計画区域の土地利用別の面積と構成比（令和2年）

	児玉都市計画区域					
			用途地域		用途地域外	
	面積(ha)	構成比	面積(ha)	構成比	面積(ha)	構成比
自然的土地利用計	2,281.43	61.6%	50.77	14.2%	2,230.66	66.6%
農地	1,035.97	28.0%	41.22	11.5%	994.75	29.7%
田	433.79	11.7%	1.96	0.5%	431.83	12.9%
畑	602.18	16.2%	39.26	10.9%	562.92	16.8%
山林	1,112.43	30.0%	1.95	0.5%	1,110.48	33.2%
水面	54.86	1.5%	0.85	0.2%	54.01	1.6%
その他の自然地	78.17	2.1%	6.75	1.9%	71.42	2.1%
都市的土地利用計	1,424.57	38.4%	307.83	85.8%	1,116.74	33.4%
宅地	646.67	17.4%	200.40	55.9%	446.27	13.3%
住宅用地	438.41	11.8%	133.58	37.3%	304.83	9.1%
商業用地	61.60	1.7%	18.17	5.1%	43.43	1.3%
工業用地	146.66	4.0%	48.65	13.6%	98.01	2.9%
農林漁業施設用地	4.72	0.1%	0.04	0.0%	4.68	0.1%
公益施設用地	80.68	2.2%	30.78	8.6%	49.90	1.5%
公共空地	31.27	0.8%	8.00	2.2%	23.27	0.7%
道路用地	234.76	6.3%	42.28	11.8%	192.48	5.8%
交通施設用地	3.19	0.1%	2.24	0.6%	0.95	0.0%
その他の空地	423.28	11.4%	24.09	6.7%	399.19	11.9%
合計	3,706.00	100.0%	358.60	100.0%	3,347.40	100.0%



資料：本庄市都市計画基礎調査（令和2年）

■土地利用現況図



凡 例		
分類	概要	色彩
田	水田、耕作放棄地	黄緑色
畑	畑、果樹園、採草地、養蚕（牛、豚）場、ビニールハウス、耕作放棄地、市民農園	オレンジ色
山林	樹林地	緑色
水面	河川、水田、湖沼、ため池、用排水路	水色
その他の自然地	原野・牧場、低湿地、河川敷、河筋堤岸	茶色
住宅用地	専用住宅、共同住宅、併用住宅	黄色
商業用地	商業施設、商業・業務施設、宿泊施設、娯楽施設、遊戯施設	赤色
工業用地	工業施設、灌漑・倉庫施設	青色
農林漁業施設用地	農業用施設、畜舎、温室、舟小屋、農林漁業作業場	水色
公益施設用地	幼稚園、保育所、病院、診療所、老人ホームを除く	紫色
	幼稚園、保育所	桃色
	病院、診療所	ピンク色
	老人ホーム	オレンジ色
道路用地	道路、駅前広場、道の駅、P・A、S・A	白色
交通施設用地	鉄道用地（駅舎を含む）、空港	灰色
公共空地	公園・緑地、広場、運動場	緑色
	墓園	緑色
その他公前施設用地	防衛施設用地	茶色
その他の空地	ゴルフ場（民間も含む）	斜線
	A太陽光発電のシステムを自給供給している土地	斜線
	駐車場	青色
	改築工事中の土地、更地、残土・砕け置き場	オレンジ色
行政界		黒線
都市計画区域界		点線
市街化区域界		赤線
用途地域界		青線

資料: 本庄市都市計画基礎調査（令和2年）

(6) 都市整備の状況

① 市街地開発事業の状況

- 本市の市街地開発事業としては、土地区画整理事業8箇所(336.3ha)が実施されており、1地区の36.4haを除き完了しています。市街化区域及び非線引き用途地域1,515.3haのうち約20%が面整備済・中となります。
- 市街地開発事業以外にも開発許可等による開発行為が実施されており、1ha以上のものは市街化区域内において20箇所約63ha、市街化調整区域において15箇所約127ha、非線引き用途地域内において1箇所約2ha、非線引き用途地域外において13箇所約49haとなっています。
- また、上記の他に公的開発として、公営住宅5箇所、工業・産業団地3箇所、総合運動公園1箇所、合計88.7haが整備されています。

■市街地開発事業(令和2年)

区 分	市街地開発事業		公的開発		その他開発行為		合計	
	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	
都市計画区域合計	336.3	50.5	88.7	13.3	240.6	36.1	665.6	
線引き都市計画区域	小 計	299.4	52.6	80.5	14.1	189.7	33.3	569.6
	市街化区域	299.4	68.8	72.8	16.7	62.9	14.5	435.1
	市街化調整区域	0.0	0.0	7.7	5.7	126.8	94.3	134.5
非線引き都市計画区域	小 計	36.9	38.4	8.2	8.5	50.9	53.0	96.0
	用途地域	36.9	94.4	0.0	0.0	2.2	5.6	39.1
	用途地域外	0.0	0.0	8.2	14.4	48.7	85.6	56.9

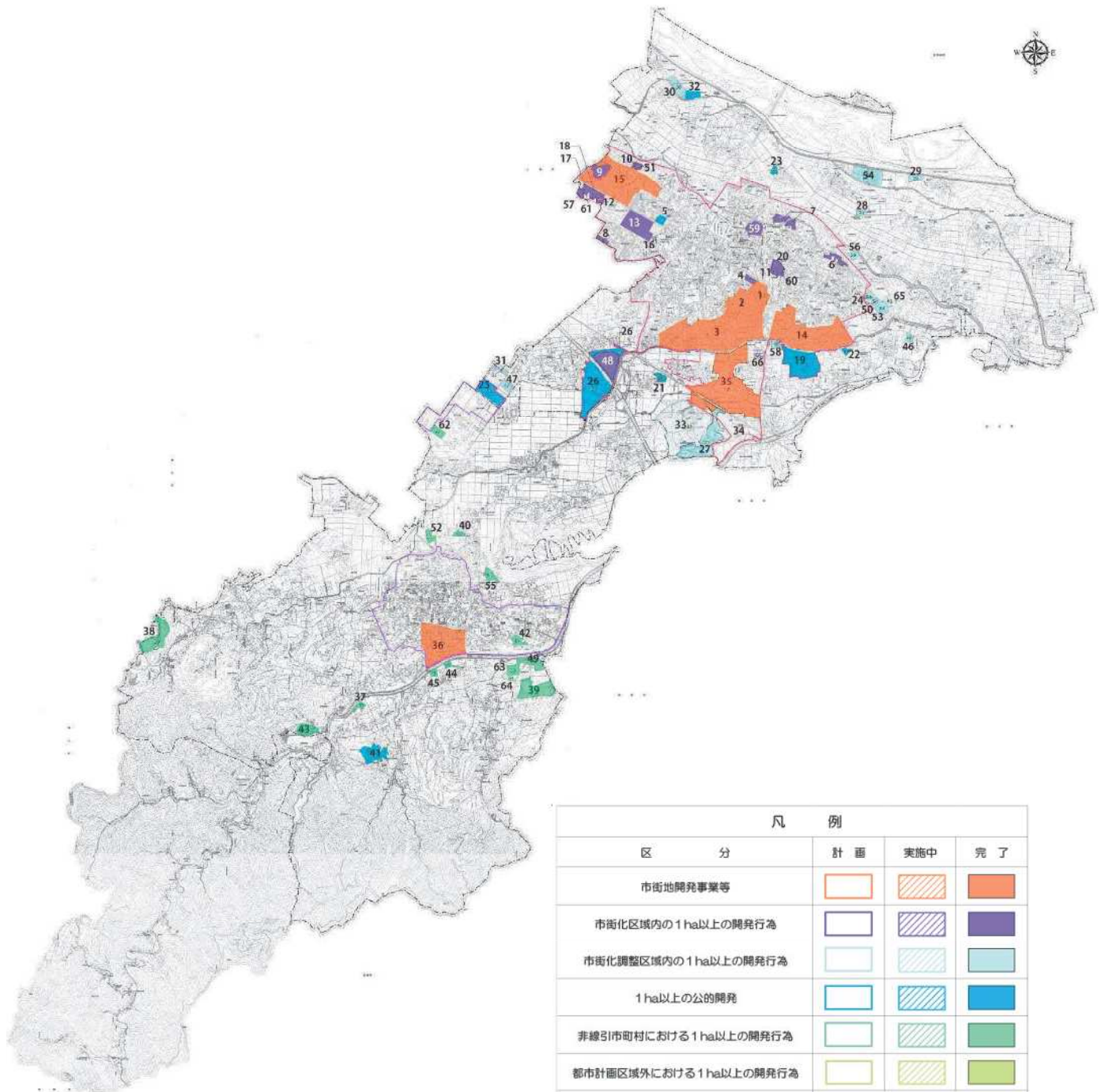
※本庄市都市計画基礎調査(令和2年)より作成

■市街地開発事業一覧

対照番号	事業名	事業主体	計画決定年度	施行年度			区域面積 (ha)				実施中及び完了の別	計画人口 (人)	現住人口 (人)
				開始年度	完了年度	計	市街化区域(又は用途有)	市街化調整区域(又は用途無)	左記の内後発事業との重複				
										※1			
合計							730.2	538.7	191.5	105.1			
市街地開発事業等							400.9	400.9	0.0	64.6		29,140	13,066
1	駅南土地区画整理事業	市	S34	S35	S40	7.9	7.9			2	1,500	142	
2	見福土地区画整理事業	市	S43	S43	S59	17.4	17.4			2	1,500	1,004	
3	女堀土地区画整理事業	市	S47	S51	S61	73.2	73.2			2	5,850	3,643	
14	朝日町土地区画整理事業	市	S62	S62	H4	52.0	52.0			2	4,200	2,532	
15	小島西土地区画整理事業	市	S63	S63	H6	47.9	47.9			2	3,800	1,941	
34	本庄新都心土地区画整理事業	市	H15	-	-	101.0	101.0		64.6		6,400	1,947	
35	本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業	都市再生機構	H15	H18	H25	64.6	64.6			2	2,200	847	
36	児玉南土地区画整理事業	市	S49	S50	H27	36.9	36.9			2	3,690	1,010	
市街化区域内の1ha以上の開発行為							62.9	62.8	0.1	5.5		1,819	1,138
4	ニチイ(ショッピングセンター)	企業	S46	S46	S42	1.5	1.5			2	0		
6	日の出ニュータウン	企業	S47	S47	S48	3.1	3.1			2	469	288	
7	東レ本庄団地	企業	S49	S49	S51	4.5	4.5			2	650	333	
8	上武自動車教習所	企業	S50	S50	S51	1.1	1.1			2	0		
9	つつじヶ丘団地	企業	S52	S52	S54	4.9	4.9			2	700	517	
10	カインズホーム(ショッピングセンター)	企業	S54	S54	S54	1.2	1.2		0.9	2	0		
11	忠実屋(ショッピングセンター)	企業	S54	S54	S55	1.3	1.3		1.2	2	0		
12	山本製作所	企業	S59	S59	S59	2.1	2.1			2	0		
13	神電気工業(株)	企業	S36	S36	S36	12.7	12.7			2	0		
16	パチンコ店ワセダ・タカオ	企業	S60	S60	S60	1.0	1.0			2	0		
17	埼玉建興(株)	企業	H2	H2	H1	1.6	1.6			2	0		
18	(株) 塩建工業	企業	H2	H2	H1	1.3	1.3			2	0		
20	(株) 松佳	企業	H10	H10	H11	2.5	2.5		2.2	2	0		
48	共立印刷株式会社	民間	H19	H19	H19	10.2	10.2			2			
51	株式会社ケーズホールディングス	民間	H21	H21	H21	1.3	1.3			2			
57	株式会社アドパネクス	民間	H26	H26	H27	1.3	1.2	0.1	1.2	2			
59	株式会社アセットソリューション	民間	H28	H28	H29	4.7	4.7			2			
60	株式会社バナーズ	民間	H30	H30	R1	4.1	4.1			2			
61	株式会社アドパネクス	民間	H30	H30	R1	1.4	1.4			2			
66	株式会社やましろや	民間	R2	R2	R3	1.1	1.1			1			
市街化調整区域内の1ha以上の開発行為							126.8	0.0	126.8	24.8	28	0	0
24	本庄東高校グラウンド	学校法人	S50	S50	S51	1.5		1.5		2	0	0	
27	早稲田大学	学校法人	S60	S60	S63	24.8		24.8	24.8	2	0	0	
28	埼玉ひびきの農協一元集出荷所	農業協同組合	H02	H2	H3	1.4		1.4		2	0	0	
29	(株) イーグル	企業	H4	H1	H1	2.0		2.0		2	0	0	
30	大宮ハム(株)	企業	H4	H1	H5	5.4		5.4		2	0	0	
31	エステー化学(株)	企業	H07	H7	H8	2.4		2.4		2	0	0	
33	(仮称) 早稲田リサーチパーク地区整備事業計画	学校法人	H4	H4	H89	65.3		65.3		1	0	0	
46	タツムテクノロジー株式会社	民間	H18	H19	H19	1.4		1.4		2			
47	株式会社ハイレックス埼玉	民間	H19	H19	H20	2.0		2.0		2			
50	株式会社ワンダーコーポレーション	民間	H21	H21	H21	1.2		1.2		2			
53	株式会社ベルク	民間	H23	H23	H24	3.1		3.1		2			
54	DOWAハイテック株式会社	民間	H24	H24	H25	10.2		10.2		2			
56	医療法人社団寿会 吉沢病院	民間	H25	H25	H26	1.8		1.8		2			
58	医療法人 程水会	民間	H27	H27	H28	2.0		2.0		2			
65	株式会社ヤマダデンキ	民間	R2	R2	R3	2.3		2.3		1			
1ha以上の公的開発							88.7	72.8	15.9	10.2	18	4,285	2,053
5	県営小島団地	県	S47	S47	S48	1.9		1.9		2	850	317	
19	本庄住宅団地	県企業局	S58	S58	S61	21.4		21.4		2	2,500	1,431	
21	四方田市営住宅	市	S47	S47	S47	2.7		2.7		2	465	171	
22	西五十子市営住宅	市	S40	S40	S43	1.1		1.1		2	210	19	
23	田中市営住宅	市	S40	S40	S43	1.0		1.0		2	260	115	
25	児玉工業団地	県企業局	S47	S47	S59	9.5		9.5		2	0	0	
26	本庄いまい台産業団地	県企業局	H2	H2	H2	40.0		40.0	10.2	2	0	0	
32	本庄利根工業団地	環境事業団	H5	H5	H6	2.9		2.9		2	0	0	
41	総合運動公園	児玉町	H4	H4	H6	8.2		8.2		2			
非線引き区域における1ha以上の開発行為							50.9	2.2	48.7		0	0	
37	木材プレスカット工場	篠原商店	H8	H8	H9	1.7		1.7		2			
38	うめみの工業団地	(株) フジタ	H8	H8	H11	1.4		1.4		2			
39	スチール建材工場	三和シャッター	H11	H11	H14	13.9		13.9		2			
40	パチンコ店	(株) ダイナム	H13	H13	H14	2.3		2.3		2			
42	パチンコ店	(株) ダイエー	H16	H16	H17	2.2		2.2		2			
43	サーキット場	(有) 富岡建材	H16	H16	H17	8.2		8.2		2			
44	食品工場	築野食品工業(株)	H17	H17	H18	1.4		1.4		2			
45	食品工場	(株) シェリエ	H17	H17	H18	1.5		1.5		2			
49	赤城乳業株式会社	民間	H20	H20	H21	5.4		5.4		2			
52	株式会社フレッセイ	民間	H22	H22	H22	2.4		2.4		2			
55	株式会社ナック	民間	H25	H25	H26	3.0		3.0		2			
62	株式会社ファンデリー	民間	H30	H30	R1	2.6		2.6		2			
63	日泉化学株式会社	民間	H30	R1	R1	3.2		3.2		2			
64	株式会社JRC	民間	R2	R2	R4	1.7		1.7		1			

資料: 本庄市都市計画基礎調査(令和2年)

■市街地開発事業等図



凡 例			
区 分	計 画	実 施 中	完 了
市街地開発事業等			
市街化区域内の1ha以上の開発行為			
市街化調整区域内の1ha以上の開発行為			
1ha以上の公的開発			
非線引市町村における1ha以上の開発行為			
都市計画区域外における1ha以上の開発行為			
都市計画区域界			
市街化区域界			
用途地域界			

資料: 本庄市都市計画基礎調査 (令和3年) 他

② 都市施設の整備状況

ア. 都市計画道路

- 本市の都市計画道路は、36路線、総延長67,800mが計画決定されており、整備済延長45,650m、整備率67.3%となっています。

■都市計画道路の整備状況（令和2年度現在）

対照番号	番号	名称	計画幅員(m)	延長(m)			整備率(%)
				計画	整備済	未整備	
1	3・3・1	金鑽通り線	22	5,920	5,920	0	100.0
2	3・4・2	十間通り線	18	4,190	2,460	1,730	58.7
3	3・4・3	南大通り線	16	4,550	4,550	0	100.0
4	3・6・4	二本松通り線	11	3,880	3,819	61	98.4
5	3・4・5	本庄駅南口前通り線	16	1,190	1,190	0	100.0
6	3・4・6	蛭子塚通り線	16	1,410	1,410	0	100.0
7	3・5・7	本庄駅前通り線	15	1,150	1,150	0	100.0
8	3・6・8	新国道線	11	4,940	4,940	0	100.0
9	3・6・9	仲仙道線	11	4,230	1,890	2,340	44.7
10	3・6・10	平和通り線	8	1,770	1,770	0	100.0
11	3・5・11	杉の根線	12	650	650	0	100.0
12	7・5・12	見福伊丹堂線	12	620	620	0	100.0
13	7・5・13	伊丹堂元屋舗線	12	620	620	0	100.0
14	3・5・12	小島中通り線	12	1,180	926	254	78.5
15	3・3・14	東西通り線	27	2,150	2,150	0	100.0
16	3・2・13	中央通り線	30	980	980	0	100.0
17	3・4・15	新駅南通り線	18	2,140	295	1,845	13.8
18	3・4・16	新都心環状線	18	2,400	1,000	1,400	41.7
19	3・4・17	新田原通り線	16	510	270	240	52.9
20	3・4・18	新駅北口駅前線	18	30	30	0	100.0
21	3・4・19	新駅南口駅前線	18	80	80	0	100.0
22	3・6・20	いまい台産業団地線	10	1,400	1,400	0	100.0
23	3・5・22	中通り線	15	280	280	0	100.0
24	3・3・21	本庄道路	27.25	7,830	1,730	6,100	22.1
25	3・5・23	本庄深谷線	15	1,200	0	1,200	0.0
本庄都市計画区域合計				55,300	40,130	15,170	72.6
26	3・4・1	環状一号線	18	3,800	3,800	0	100.0
27	3・4・2	中央通線	16	1,750	250	1,500	14.3
28	3・4・3	役場前通線	16	1,550	0	1,550	0.0
29	3・4・4	八幡山通線	18	1,130	1,100	30	97.3
30	3・4・5	金屋通線	16	900	0	900	0.0
31	3・4・6	駅前通線	18.14	610	0	610	0.0
32	3・4・7	駅東通線	18	400	0	400	0.0
33	3・4・8	本町下町線	16	950	0	950	0.0
34	3・3・17	金鑽通り線	25	520	370	150	71.2
35	3・4・18	新駅南通り線	18	770	0	770	0.0
36	3・5・19	高関通線	14	120	0	120	0.0
児玉都市計画区域合計				12,500	5,520	6,980	44.2
本庄市合計				67,800	45,650	22,150	67.3

出典：都市計画道路見直し業務（令和4年3月）

■都市計画道路の整備状況の推移

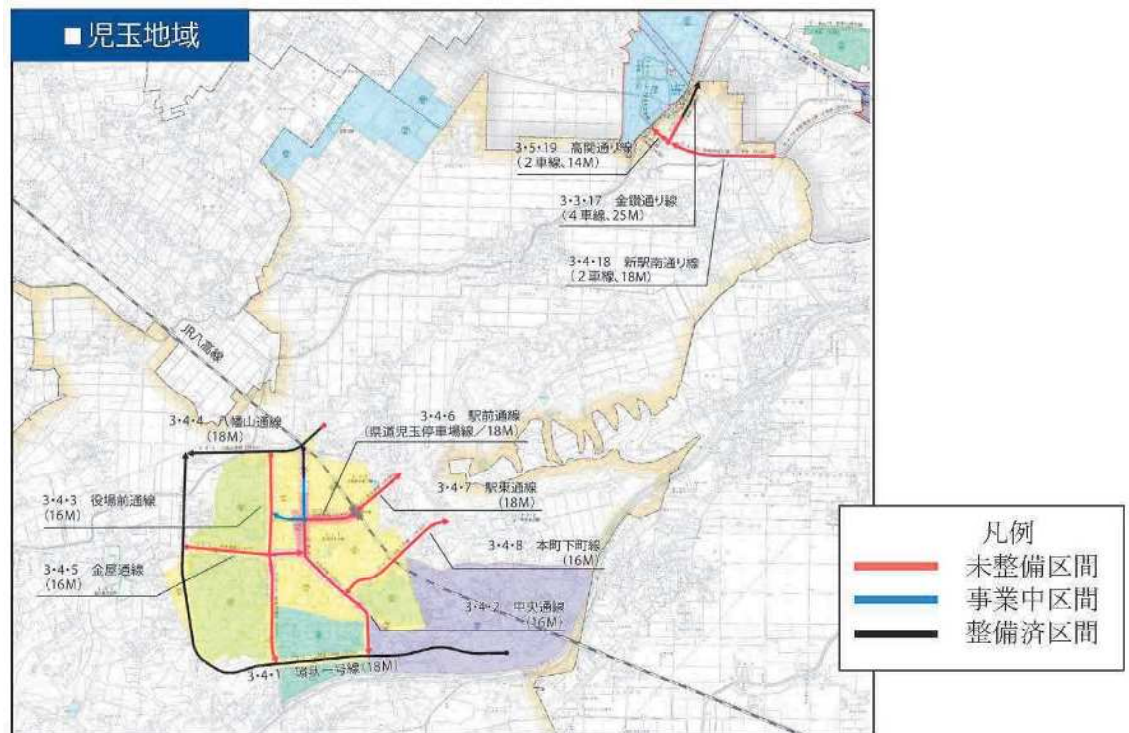
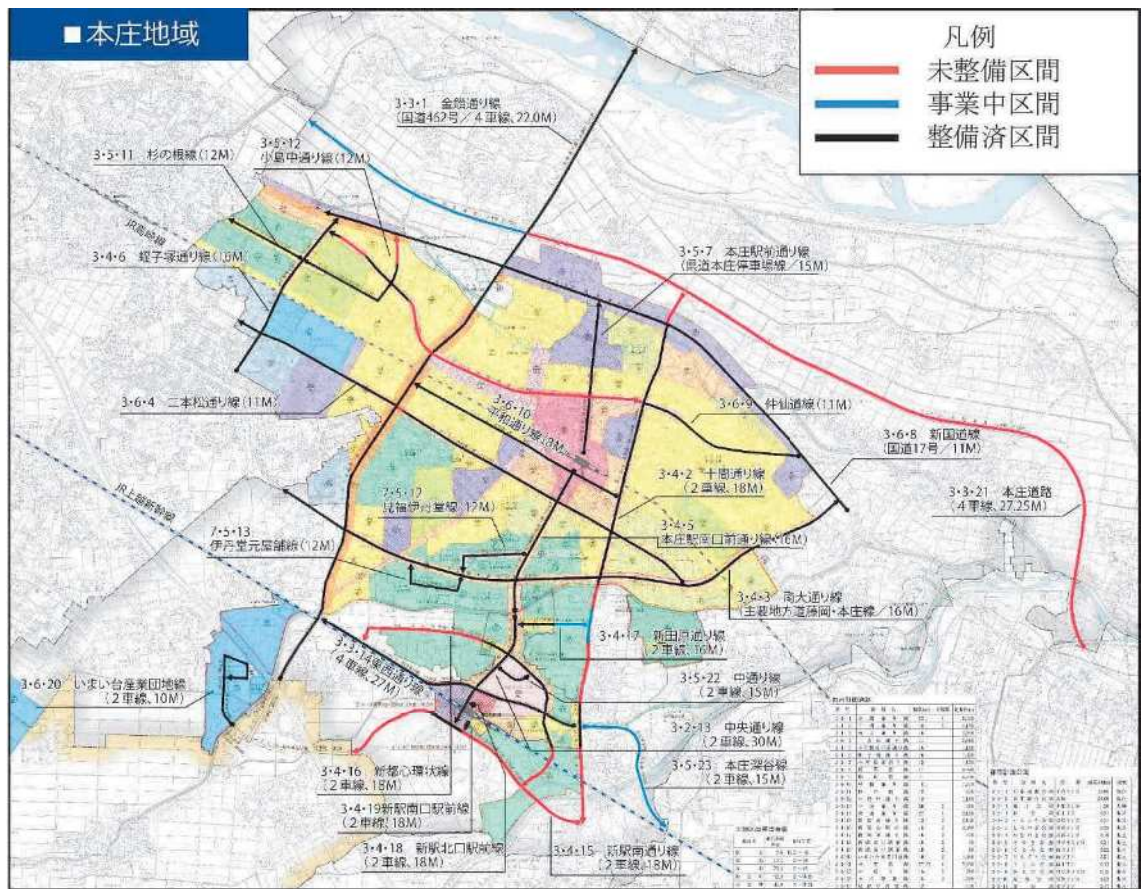
年	計画決定延長(km)	改良済延長(km)	概成済延長(km)	改良率(%)	概成率(%)
平成12年	44.9	32.5	3.1	72.4	6.9
平成17年	58.2	36.0	5.5	61.9	9.4
平成22年	67.8	42.1	5.0	62.0	7.4
平成27年	67.8	43.5	4.8	64.1	7.1

■駅前広場の整備状況の推移

年	計画決定(箇所)	整備済(箇所)	整備率(%)
平成12年	1	1	100.0
平成17年	3	1	33.3
平成22年	3	2	66.7
平成27年	3	3	100.0

資料：本庄市都市計画基礎調査（平成27年）

■都市計画道路の位置と整備状況



資料：都市計画道路見直し業務（令和4年3月）

イ. 公園・緑地

- 都市公園・緑地は約 77.0ha が計画され、そのうち 18か所、約 45.2ha が都市計画決定されています。供用済面積は約 34.4ha であり、整備率は約 45%となっています。
- 都市計画区域における人口 1人当たりの都市公園・緑地面積は 4.5㎡ (34.4ha÷ 77,155人) で、埼玉県平均より高い水準 (2,474.78ha÷ 7,221.2千人=3.4㎡/人) となっています。

■都市公園・緑地の整備状況

区 分		都市公園面積 (ha)	計画決定面積 (ha)	供用面積 (ha)	整備率 (%)
都市計画区域合計		77.0	45.2	34.4	44.7
線引き都市計画 区域	小 計	60.2	41.1	31.8	52.8
	市街化区域	34.2	14.5	12.9	37.7
	市街化調整区域	26.0	26.6	18.9	72.7
非線引き都市計 画区域	小 計	16.8	4.1	2.6	15.5
	用途地域	2.2	0.3	0.3	13.6
	用途地域外	14.6	3.8	2.3	15.8

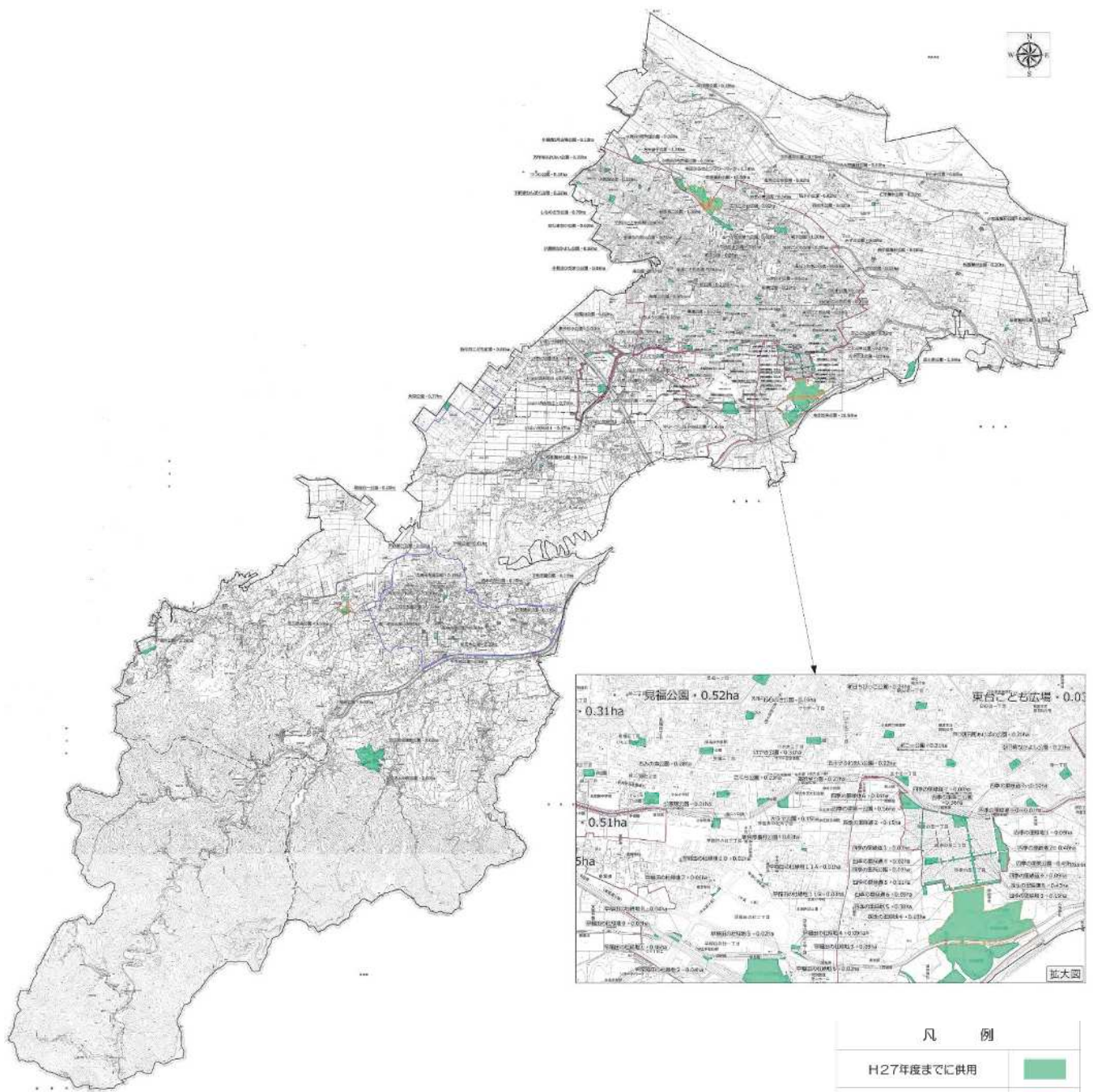
資料: 本庄市都市計画基礎調査 (平成 27年)

対照 番号	番号	名称	種別	計画面積 (ha)	供用面積 (ha)
1	5・5・1	若泉運動公園	総合	10.00	8.30
2	5・5・2	本庄総合公園	総合	26.60	18.89
3	3・3・1	城下公園	近隣	1.20	1.31
4	2・2・1	柏公園	街区	0.21	0.21
5	2・2・2	いちょう公園	街区	0.31	0.31
6	2・2・3	もみのき公園	街区	0.28	0.28
7	2・2・4	ねむのき公園	街区	0.19	0.19
8	2・2・5	けやき公園	街区	0.31	0.31
9	2・2・6	くるみ公園	街区	0.22	0.22
10	2・2・7	どんぐり公園	街区	0.51	0.51
11	2・2・8	さくら公園	街区	0.23	0.23
12	2・2・9	かえで公園	街区	0.15	0.15
13	2・2・10	見福公園	街区	0.52	0.52
14	2・2・11	栄公園	街区	0.17	0.17
15	2・2・12	日の出公園	街区	0.19	0.19
本庄都市計画区域				41.09	31.79
16	4・3・1	児玉総合公園	地区	3.50	2.03
17	2・2・1	児玉児童公園	街区	0.27	0.27
18	2・2・2	下町児童公園	街区	0.11	0.11
19	2・2・3	吉田林児童公園	街区	0.15	0.15
児玉都市計画区域				4.03	2.56
本庄市合計				45.12	34.35

都市計画区域	種別	箇所数	面積 (ha)
本庄都市計画	街区公園	12	3.29
	近隣公園	1	1.20
	総合公園	2	36.60
	計	15	41.09
児玉都市計画	街区公園	3	0.53
	地区公園	1	3.50
	計	4	4.03
合計	街区公園	15	3.82
	近隣公園	1	1.20
	地区公園	1	3.50
	総合公園	2	36.60
	計	19	45.12

資料: 本庄市の都市計画他

■都市公園位置図



凡 例	
H27年度までに供用	
供用されていない公園	
行政界	
都市計画区域界	
市街化区域界	
用途地域界	

資料：本庄市都市計画基礎調査（平成 27 年）

ウ. 下水道

- 旧本庄市における本庄市公共下水道事業は、昭和 50 年度（1975 年度）に単独公共下水道事業として事業着手後、市中心部の整備を核とし、その後整備区域を順次拡大し整備を進めてきました。その後、平成 16 年度（2004 年度）に利根川右岸流域下水道事業（児玉郡市 1 市 4 町本庄市、児玉町、美里町、神川町、上里町）の創設に伴い、本庄公共下水道事業における終末処理場及び、既設幹線の一部を流域下水道施設に移管し、「利根川右岸流域関連本庄公共下水道事業」として事業を実施してきました。
- 旧児玉町は平成 15 年度（2003 年度）に「利根川右岸流域関連児玉公共下水道全体計画」を策定し、全体計画区域を 620ha と定め、このうち用途地域を中心とした 109ha の区域について平成 16 年度（2004 年度）に「利根川右岸流域関連児玉公共下水道事業」として事業認可を取得しました。
- 平成 30 年度末現在、既事業計画区域 1,266ha（汚水）に対して 1,051ha（約 83%）の整備が完了しています。

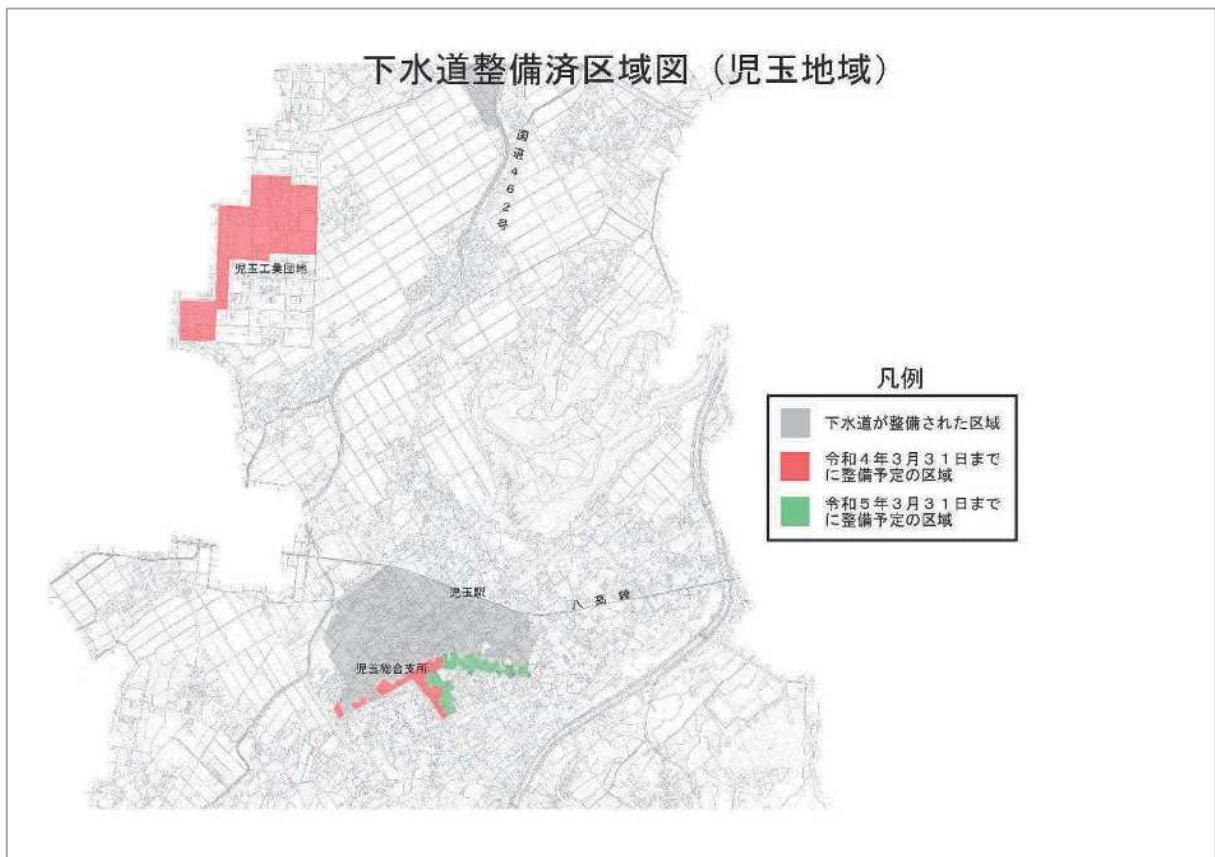
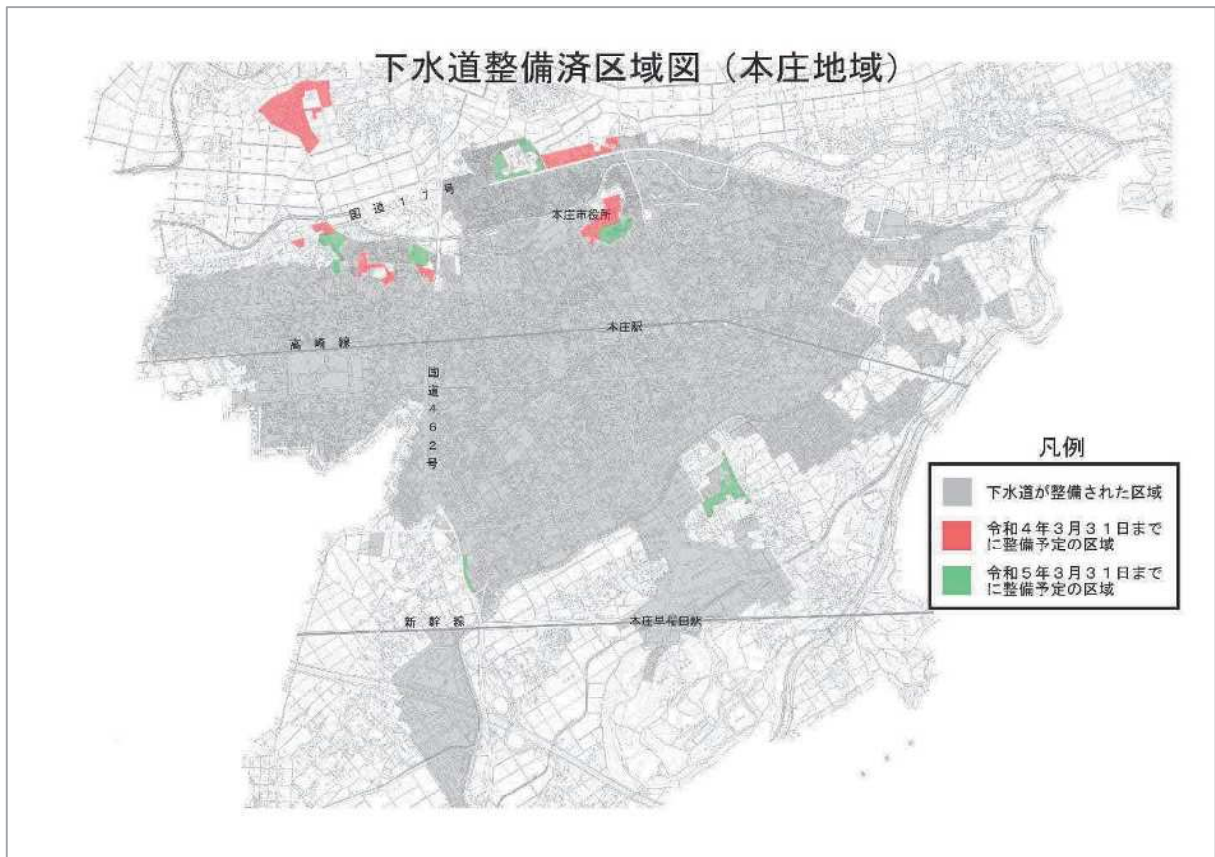
■利根川右岸流域公共下水道整備状況

都市名	行政面積(ha)	行政人口(人) A	処理面積(ha)	処理人口(人)B	普及率(%)B/A
本庄市	8,971	77,793	1,075.5	46,142	59.3
美里町	3,348	11,059	28.4	801	7.2
神川町	99 (4,742)	1,176 (13,341)	54.0 (130.0)	415 (1,660)	35.3 (12.4)
上里町	2,921	30,769	158.4	4,793	15.6
計	15,339	120,797	1,316.3	52,151	43.2

注：（ ）内は、市町全体の行政面積、行政人口、普及率

資料：荒川左岸北部下水道事務所 利根川右岸流域公共下水道整備状況（令和 2 年度末）

■本庄市公共下水道整備済区域図



資料: 本庄市ウェブサイト

(7) 公共交通の状況

① バス交通

- 本市には、4つの路線バス（朝日自動車、国際十王交通、武蔵観光、皆野町営バス）とデマンドバス・シャトルバス（はにぼん号・もといずみ号、はにぼんシャトル）が運行されています。

■ 路線バスの運行状況

路線バス(朝日自動車)時刻表

本庄駅南口 → 児玉折返し場 → 赤城乳業千本さくら工場

種別	月・金	土・日・祝	本庄駅南口	児玉折返し場	赤城乳業千本さくら工場
発	10:30	10:45	11:30	12:15	13:00
着	11:00	11:15	12:00	12:45	13:30
発	13:30	13:45	14:30	15:15	16:00
着	14:00	14:15	15:00	15:45	16:30
発	16:30	16:45	17:30	18:15	19:00
着	17:00	17:15	18:00	18:45	19:30
発	19:30	19:45	20:30	21:15	22:00
着	20:00	20:15	21:00	21:45	22:30

①数字は、赤城乳業千本さくら工場行き
朝日自動車(株)本庄営業所 西0495-21-7703
2020年7月21日改正

赤城乳業千本さくら工場 → 児玉折返し場 → 本庄駅南口

種別	月・金	土・日・祝	赤城乳業千本さくら工場	児玉折返し場	本庄駅南口
発	10:45	11:00	11:45	12:30	13:15
着	11:15	11:30	12:15	13:00	13:45
発	13:45	14:00	14:45	15:30	16:15
着	14:15	14:30	15:15	16:00	16:45
発	16:45	17:00	17:45	18:30	19:15
着	17:15	17:30	18:15	19:00	19:45
発	19:45	20:00	20:45	21:30	22:15
着	20:15	20:30	21:15	22:00	22:45

①数字は、赤城乳業千本さくら工場行き
朝日自動車(株)本庄営業所 西0495-21-7703
2020年7月21日改正

路線バス(国際十王交通)時刻表

本庄早稲田駅 → 本庄駅 → 東京福祉大学 → 伊勢崎駅 → 東京福祉大学 → 本庄駅 → 本庄早稲田駅

種別	月・金	土・日・祝	本庄早稲田駅	本庄駅	東京福祉大学	伊勢崎駅	東京福祉大学	本庄駅	本庄早稲田駅
発	6:14	6:45	7:15	7:45	8:15	8:45	9:15	9:45	10:15
着	6:27	6:58	7:28	7:58	8:28	8:58	9:28	9:58	10:28
発	10:22	10:53	11:23	11:53	12:23	12:53	13:23	13:53	14:23
着	10:35	11:06	11:36	12:06	12:36	13:06	13:36	14:06	14:36
発	16:30	17:01	17:31	18:01	18:31	19:01	19:31	20:01	20:31
着	16:43	17:14	17:44	18:14	18:44	19:14	19:44	20:14	20:44

①数字は、本庄早稲田駅13:57発
国際十王交通伊勢崎営業所 西0270-24-3011
2020年4月1日改正

路線バス(武蔵観光)時刻表

本庄早稲田駅北口経由 本庄駅南口 → 寄居車庫

種別	月・金	土・日・祝	本庄早稲田駅北口	本庄駅南口	寄居車庫
発	7:53	8:12	8:31	8:50	9:09
着	8:01	8:20	8:39	8:58	9:17
発	8:45	9:04	9:23	9:42	10:01
着	8:53	9:12	9:31	9:50	10:09
発	11:45	12:04	12:23	12:42	13:01
着	11:53	12:12	12:31	12:50	13:09
発	14:20	14:39	14:58	15:17	15:36
着	14:28	14:47	15:06	15:25	15:44
発	16:09	16:28	16:47	17:06	17:25
着	16:17	16:36	16:55	17:14	17:33
発	17:09	17:28	17:47	18:06	18:25
着	17:17	17:36	17:55	18:14	18:33

武蔵観光(株)皆野営業所 西0434-62-2020

路線バス(朝日自動車)時刻表

鬼石・沖電気・小島南経由 本庄駅南口 → 神泉総合支所

種別	月・金	土・日・祝	本庄駅南口	沖電気	小島南	ウニクス上里	神泉総合支所
発	6:45	7:00	7:15	7:30	7:45	8:00	8:15
着	7:00	7:15	7:30	7:45	8:00	8:15	8:30
発	8:30	8:45	9:00	9:15	9:30	9:45	10:00
着	8:45	9:00	9:15	9:30	9:45	10:00	10:15
発	10:15	10:30	10:45	11:00	11:15	11:30	11:45
着	10:30	10:45	11:00	11:15	11:30	11:45	12:00
発	13:00	13:15	13:30	13:45	14:00	14:15	14:30
着	13:15	13:30	13:45	14:00	14:15	14:30	14:45
発	15:15	15:30	15:45	16:00	16:15	16:30	16:45
着	15:30	15:45	16:00	16:15	16:30	16:45	17:00

朝日自動車(株)本庄営業所 西0495-21-7703
①数字は、沖電気支所行き
2020年7月21日改正

鬼石・沖電気・小島南経由 神泉総合支所 → 本庄駅南口

種別	月・金	土・日・祝	神泉総合支所	小島南	ウニクス上里	沖電気	本庄駅南口
発	6:30	6:45	7:00	7:15	7:30	7:45	8:00
着	6:45	7:00	7:15	7:30	7:45	8:00	8:15
発	8:15	8:30	8:45	9:00	9:15	9:30	9:45
着	8:30	8:45	9:00	9:15	9:30	9:45	10:00
発	10:45	11:00	11:15	11:30	11:45	12:00	12:15
着	11:00	11:15	11:30	11:45	12:00	12:15	12:30
発	13:30	13:45	14:00	14:15	14:30	14:45	15:00
着	13:45	14:00	14:15	14:30	14:45	15:00	15:15
発	16:45	17:00	17:15	17:30	17:45	18:00	18:15
着	17:00	17:15	17:30	17:45	18:00	18:15	18:30

朝日自動車(株)本庄営業所 西0495-21-7703
①数字は、沖電気支所から本庄駅南口行き(小島南、沖電気には寄りません)
朝日自動車(株)本庄営業所 西0495-21-7703
2020年7月21日改正

路線バス(皆野町営バス)時刻表

(金沢線) 湖山→いろは橋折り返し場→皆野駅前→役場入口

種別	月・金	土・日・祝	いろは橋折り返し場	皆野駅前	役場入口
発	7:55	8:10	8:25	8:40	8:55
着	8:05	8:20	8:35	8:50	9:05
発	9:40	9:55	10:10	10:25	10:40
着	9:50	10:05	10:20	10:35	10:50
発	12:10	12:25	12:40	12:55	13:10
着	12:20	12:35	12:50	13:05	13:20
発	14:45	15:00	15:15	15:30	15:45
着	14:55	15:10	15:25	15:40	15:55
発	16:35	16:50	17:05	17:20	17:35
着	16:45	17:00	17:15	17:30	17:45

2020年4月1日改正

タクシー会社一覧

会社	電話番号
本庄タクシー(株)	0495-21-5111 0120-88-4181
上里ハイヤー(株)	0495-21-0551 0120-21-0551
(有)本庄向タクシー	0495-22-2007 0120-69-2007
(有)朝日交通	0495-22-2600 0120-67-3171
朝日自動車(株)	0495-21-7777 0120-19-4061

路線バス等のりば案内図

The map displays several bus routes with color-coded stops and destinations. Key routes include:

- 赤城乳業千本さくら工場** (Akagi Lactation Thousand Sakura Factory)
- 伊勢崎駅** (Isema Station)
- 本庄早稲田駅** (Maebashi Hasegawa Station)
- 本庄駅南口** (Maebashi Station South Exit)
- 鬼石・沖電気・小島南** (Onishi, Okiden, Shimodani)
- 神泉総合支所** (Kamizuma General Office)
- 皆野駅前** (Maebashi Station Front)
- いろは橋折り返し場** (Irohahashi Turnaround Point)
- 役場入口** (City Hall Entrance)

はにぼんシャトル 利用案内

はにぼんシャトルは本庄駅前口～本庄早稲田駅北口間をワゴン車で定期運行する交通サービスです。

●**運行日時** 毎日運行 午前9時～午後7時

予約は不要です。

●**利用料金（運賃）**

おとな（中学生以上）	200円
小学生	100円
未就学児（同伴者が必要）	無料

※乗車時に身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示した場合、本人と介護者1人は100円割引になります。

○運賃は乗車時に現金、又は回数券でお支払いください。回数券は車内でも販売します。

○乗車時、乗務員に降車停留所を伝えてください。

▶**乗継割引**

はにぼん号・もといずみ号、はにぼんシャトル、路線バス（朝日自動車線の運行するバス）を乗り継いで利用される場合は、割引制度があります。（現金又は回数券による支払いのみ）
必要なのは最初に乗った交通機関で運賃を支払う時



に乗り継ぐことを申し出て「乗継券」の交付を受けてください。

※同じ公共交通（はにぼん号については同じ地域）を往復利用する際は、乗継割引の対象になりません。
※乗継券を使った乗車では、乗継券は発行しません。

はにぼんシャトル時刻表（年中無休・全日同じダイヤです）

停留所	本庄駅前口 → 本庄早稲田駅北口													
本庄駅前口	9:00	9:32	10:07	10:47	11:27	12:07	13:37	14:17	14:57	15:47	16:27	17:07	18:07	18:47
駅南交番前	9:02	9:34	10:09	10:49	11:29	12:09	13:39	14:19	14:59	15:49	16:29	17:09	18:09	18:49
南本町	9:03	9:35	10:10	10:50	11:30	12:10	13:40	14:20	15:00	15:50	16:30	17:10	18:10	18:50
けや木	9:05	9:37	10:12	10:52	11:32	12:12	13:42	14:22	15:02	15:52	16:32	17:12	18:12	18:52
新田原	9:06	9:38	10:13	10:53	11:33	12:13	13:43	14:23	15:03	15:53	16:33	17:13	18:13	18:53
法務局南	9:07	9:39	10:14	10:54	11:34	12:14	13:44	14:24	15:04	15:54	16:34	17:14	18:14	18:54
久下塚	9:09	9:41	10:16	10:56	11:36	12:16	13:46	14:26	15:06	15:56	16:36	17:16	18:16	18:56
本庄早稲田駅北口	9:13	9:45	10:20	11:00	11:40	12:20	13:50	14:30	15:10	16:00	16:40	17:20	18:20	19:00

停留所	本庄早稲田駅北口 → 本庄駅前口												
本庄早稲田駅北口	9:15	9:45	10:30	11:10	11:50	13:20	14:00	14:40	15:30	16:10	16:50	17:50	18:30
久下塚	9:17	9:52	10:32	11:12	11:52	13:22	14:02	14:42	15:32	16:12	16:52	17:52	18:32
法務局南	9:19	9:54	10:34	11:14	11:54	13:24	14:04	14:44	15:34	16:14	16:54	17:54	18:34
新田原	9:20	9:55	10:35	11:15	11:55	13:25	14:05	14:45	15:35	16:15	16:55	17:55	18:35
けや木	9:21	9:56	10:36	11:16	11:56	13:26	14:06	14:46	15:36	16:16	16:56	17:56	18:36
南本町	9:23	9:58	10:38	11:18	11:58	13:28	14:08	14:48	15:38	16:18	16:58	17:58	18:38
駅南交番前	9:24	9:59	10:39	11:19	11:59	13:29	14:09	14:49	15:39	16:19	16:59	17:59	18:39
本庄駅前口	9:28	10:03	10:43	11:23	12:03	13:33	14:13	14:53	15:43	16:23	17:03	18:03	18:43

はにぼん号・もといずみ号 利用案内

はにぼん号・もといずみ号とは

予約を受けて、停留所から停留所まで送迎する乗り合いバスです。本庄北・児玉山間では9人乗り、本庄南・児玉市街地では4人乗りの車両で運行しています。

利用方法

①電話で希望を伝える

伝えること

- 乗りたい日にち・時間
- 乗る場所（停留所名）
- 降りる場所（停留所名）
- 利用する人数

②予約の時間に乗る場所（停留所）に行く

乗車するとき料金を支払います。

③降りる場所（停留所）に到着



予約方法

予約センター

☎0495-21-7797

午前8時～午後5時

（日曜・休日・12/29～1/3は休み）

※聴覚障害等により電話予約が困難な場合は事前に企画課（☎0495-25-1157、kikaku@city.honjo.lg.jp）までご相談ください。

予約できる日（予約センター休業日は除く）

利用日の1週間前から利用日当日

例：【ある月の15日（水）に利用したい場合】

利用日の1週間前となる8日（水）以降、予約センターに予約してください。

※キャンセルする場合は、必ず予約センターへ連絡してください。

●予約のコツ

- ①「午前9時から10時の間に乗りたい」という場合に予約時間に幅と余裕をもちましょ。
- ②スムーズに予約するために、できるだけ停留所の名前を予約しましょ。
- ③降りも利用するときは、行き予約と一緒に、予約することをすすめします。
- ④降り過ぎがある時は、予約センターからお知らせします。

注意！

- 予約状況により、希望に沿えない場合があります。
- タクシーではありませんので、ほかのお客様も乗り合わせます。
- 目的地への到着時間を指定することはできません。時間に余裕を持ってご予約ください。

運行日時

乗車エリア	○はにぼん号・・・本庄北、本庄南、児玉市街地 ○もといずみ号・・・児玉山間
運行時間	月～土曜日 午前8時～午後5時（正午～午後1時を除く） ※日曜・休日・12/29～1/3は運休、最終降車時間 午後5時
備考	○児玉市街地（湯かこ産湯便） 湯かこ～児玉総合支所間の産湯便を運行します。（乗り予約） （行き）児玉総合支所 午前10時30分発（帰り）湯かこ 午後3時発 ※湯かこ発車日に限り運行します。ご予約は利用日1週間前から利用日3日前までです。また、途中での乗車、降車はできません。 ○児玉山間（湯専用児玉中学校行き） 湯専用として、いろは橋折返場～児玉中学校間を運行します。 （行き）いろは橋折返場 午前7時40分発（帰り）児玉中学校 午後6時10分発 ※席に余裕がある場合に限り、予約のうえで一般の方も乗車できます。

利用料金（運賃）

乗車時に、現金又は回数乗車券でお支払いください。回数券は、車内・エコビヤ・本庄市インフォメーションセンターで販売します。

おとな（中学生以上）	小学生	未就学児（同伴者が必要）	回数乗車券料金	
			対象	500円分（50円券×10枚）
300円	150円	無料	1,000円分（100円券×10枚）	800円
			2,650円以上	700円
			3,750円以上	600円
			4,通称免許証持参者	600円

※乗車時に身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示した場合、本人と介護者1人は150円割引になります。

▶**乗継割引**

はにぼん号・もといずみ号、はにぼんシャトル、路線バス（朝日自動車線の運行するバス）を乗り継いで利用される場合は、割引制度があります。（現金又は回数券による支払いのみ）
必要なのは最初に乗った交通機関で運賃を支払う時

時に乗り継ぐことを申し出て、「乗継券」の交付を受けてください。

※同じ公共交通（はにぼん号については同じ地域）を往復利用する際は、乗継割引の対象になりません。
※乗継券を使った乗車では、乗継券は発行しません。

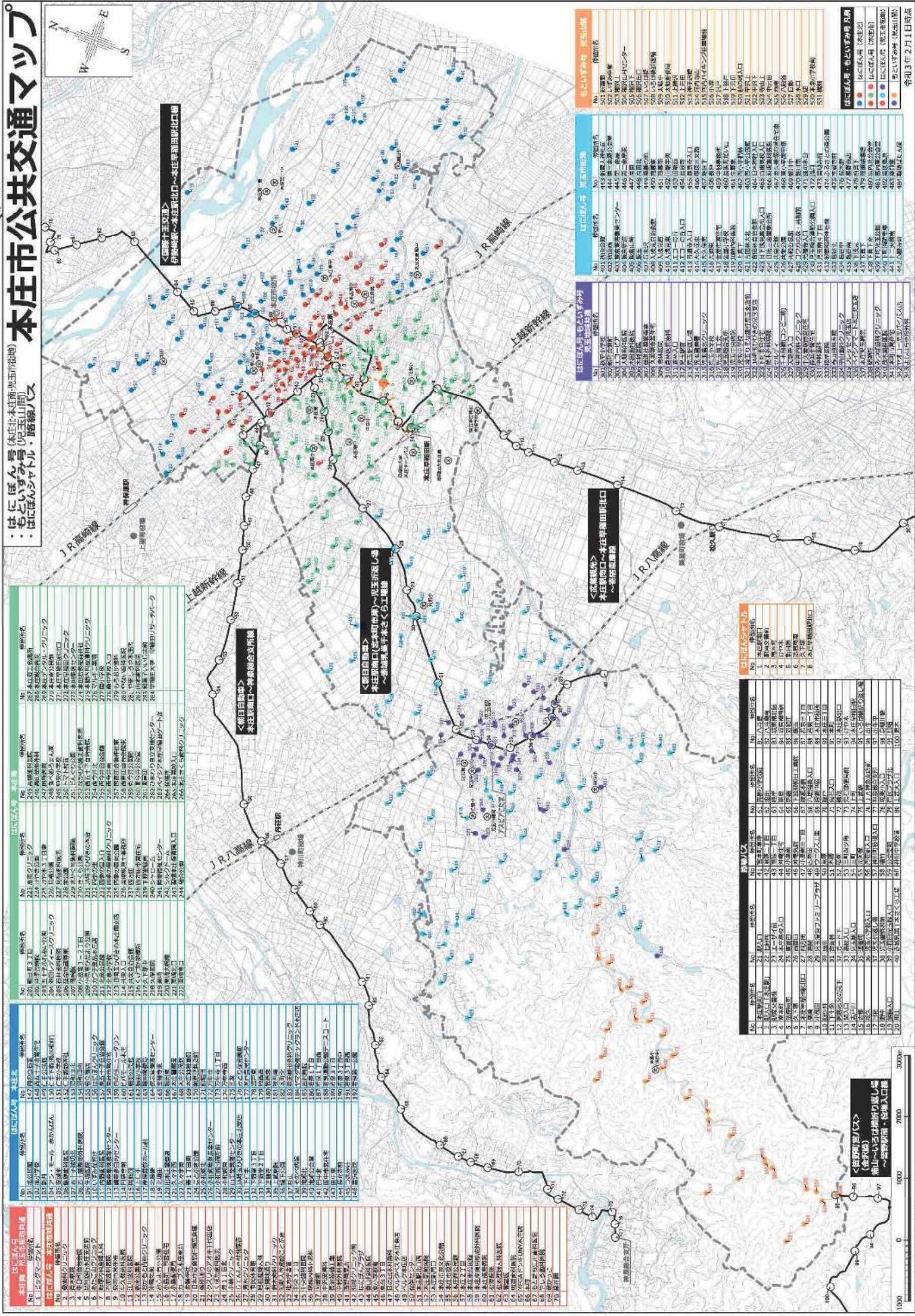
割引例		割引額（小学生半額）
①乗車回数に準じた公共交通	②乗車回数に準じた公共交通	
はにぼん号・もといずみ号・はにぼんシャトル	路線バス	100円
路線バス	はにぼん号・もといずみ号	
はにぼんシャトル	はにぼん号（本庄北・本庄南）	200円
はにぼん号（本庄北・本庄南）	はにぼんシャトル	
はにぼん号（本庄北）	はにぼん号（本庄南）	300円
はにぼん号（本庄南）	はにぼん号（本庄北、児玉市街地）	
はにぼん号（児玉市街地）	もといずみ号、はにぼん号（本庄南）	
もといずみ号	はにぼん号（児玉市街地）	

乗降地域・停留所

はにぼん号（本庄北）	乗降できる停留所
はにぼん号（本庄南）	本庄北・本庄地域共通
はにぼん号（児玉市街地）	本庄南・本庄地域共通
もといずみ号（児玉山間）	児玉市街地・児玉地域共通 本庄南「ビッグマーケット」
	児玉山間・児玉地域共通

乗降できる停留所以外に行くには、乗り継ぎが必要になります。
乗り継ぎの停留所や乗継時刻は、ご予約の際に予約センターからお知らせします。
停留所の詳しい位置は、市のホームページをご覧ください。

バス路線図



本庄市公共交通マップ

・ほにぼん号 (本庄・本庄南・光玉市街)
・ほなび号 (本庄南・光玉市街)
・ほにぼんシャトル・路線バス



<本庄南三丁目>
本庄南三丁目→本庄幸前田出入口
本庄南三丁目→本庄幸前田出入口

<春日山線>
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目

<春日山線>
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目

<春日山線>
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目

<春日山線>
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目

<春日山線>
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目

<春日山線>
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目

<春日山線>
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目

<春日山線>
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目

<春日山線>
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目

<春日山線>
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目

<春日山線>
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目

<春日山線>
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目

<春日山線>
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目

<春日山線>
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目

<春日山線>
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目

<春日山線>
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目

<春日山線>
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目

<春日山線>
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目
本庄前田口(春日山線)→本庄南三丁目

Table listing bus routes and their details.

Table listing bus routes and their details.

Table listing bus routes and their details.

Table listing bus routes and their details.

Table listing bus routes and their details.

Table listing bus routes and their details.

Table listing bus routes and their details.

Table listing bus routes and their details.

Table listing bus routes and their details.

Table listing bus routes and their details.

Table listing bus routes and their details.

Table listing bus routes and their details.

資料：本庄市公共交通ガイド

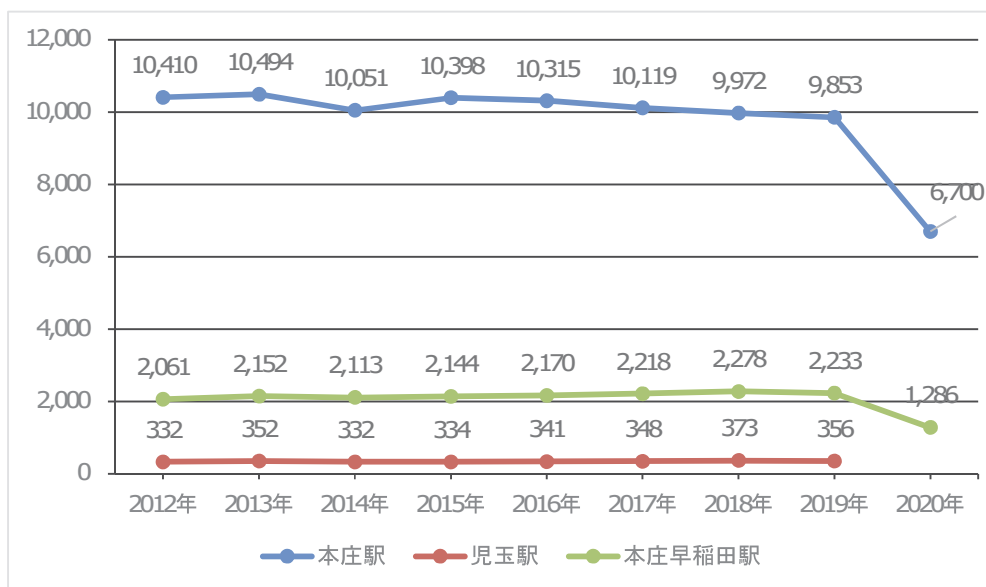
資料：本庄市公共交通ガイド

資料：本庄市公共交通ガイド

② 鉄道

- JR 高崎線本庄駅は、一日平均で1万人前後の乗車人員がありましたが、令和2年度（2020年度）は新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少しています。
- JR八高線児玉駅は、一日平均3百人台の乗車人員で推移しています。
- 上越・北陸新幹線本庄早稲田駅は、一日平均2千人台前半の乗車人員で推移しています。総数に占める定期の割合は6割弱（令和2年度：57%）となっています。

■ 一日平均乗車人員数



資料: 各駅の乗車人員 (JR東日本)

(8) 北部地域及び近隣都市との指標比較

- 本庄市の相対的な特性を把握するため、主要な指標について近隣都市との比較を行いました。

比較指標は以下の通りです。

■比較指標

都市・市街地面積	行政区域面積
	都市計画区域面積
	線引都市計画区域
	非線引都市計画区域
	[対行政区域比率]
	DID面積
	[対都市計画区域面積比率]
	市街化区域面積
	[対都市計画区域比率]
	用途地域面積
[対都市計画区域比率]	
都市・市街地人口	都市総人口
	[都市総人口密度]
	[都市人口増減率]
	年少人口比率
	生産年齢人口比率
	老年人口比率
	平均年齢
	市街化区域人口
	[市街化区域人口密度]
	市内常住就業者の1次産業就業率
	〃 の2次産業就業率
	〃 の3次産業就業率
圏域等	都道府県内市町村人口順位
	昼夜間人口比
	市町村内常住就業・通学者数
	[自市町内従業・通学者の割合]
	市町村内従業・通学者数
	[自市町内常住者の割合]
	鉄道駅数
高速道路のインターチェンジへの至近性	
行財政力	歳入総額：決算
	[人口当歳入額]
	歳出総額：決算
	[人口当歳出額]
	財政力指数

産業	農業産出額
	農家1戸当たり農業産出額
	製造品出荷額等
	[従業員当たり出荷額]
	[工業系用途地域当たり出荷額]
	卸売業年間販売額
	卸売業従業員数
	[従業員当たり販売額]
	小売業年間販売額
	[人口当販売額]
	[商業系用途地域当たり販売額]
	福祉・医療
老年人口100人当たり介護福祉施設定員	
老年人口100人当たり老人保健施設定員	
人口1万人当たり病院・診療所数	
病院・診療所数	
人口1万人当たり病床数	
教育	幼稚園数
	小学校一校当たり児童数
	中学校一校当たり生徒数
	高等学校数
土地利用（用途地域）	住宅系用途地域指定面積
	[" 用途地域内比率]
	商業系用途地域指定面積
	[" 用途地域内比率]
	工業系用途地域指定面積
	[" 用途地域内比率]
工業専用地域指定面積	
基盤整備	区画整理事業済・事業中面積
	[" 用途地域内整備率]
	都計道改良済延長
	[改良率]
	都市計画公園緑地面積（供用）
	都市計画公園緑地面積（計画）
	[" 供用率]
	[" 都市総人口当面積]
	[公共下水道整備率]
	[都市下水路整備率]

- また、比較都市は以下の通りです。

■比較都市

北部地域の都市	熊谷市
	深谷市
	美里町
	神川町
	上里町
	寄居町
群馬県の近隣都市	前橋市
	高崎市
	伊勢崎市
	藤岡市

① 都市・市街地の面積

- 都市計画区域面積に占める用途地域の面積の比率は 20%を超えており、北部地域の都市の中では最も高い。

② 都市・市街地の人口

- 都市の人口密度は、北部地域の市部の中では最も低く、隣接する上里町よりも低い。
- 2015～2020年の5年間の人口推移は、北部地域で唯一の増加傾向（+0.9%）にある。

③ 圏域等

- 昼夜間人口比 1.03 で、比較 11 都市の中では美里町、前橋市、高崎市と並ぶ人口流入都市となっている。
- 鉄道駅 3 駅と高速道路 IC があり、北部地域の都市の中では広域交通の利便に優れている。

④ 行財政力

- 人口当たりの歳出入額の規模及び財政力指数は、北部地域の中では平均的だが、群馬県の 4 都市と比較すると低い水準にある。

⑤ 産業

- 農業産出額の規模は、北部地域の中では深谷市に次いで大きく、農家 1 戸当たりの農業産出額では、群馬県を含む比較 11 都市の中で最も高い。
- 製造品出荷額等の規模は小さいが、従業員 1 人当たりの額では比較 11 都市の中で熊谷市、寄居町に次いで高い。
- 卸売業の年間販売額は北部地域の中では熊谷市について高く、従業員 1 人当たりの年間販売額は、比較 11 都市の中で最も高い。

⑥ 福祉・医療

- 人口 1 万人当たりの病院・診療所数は、北部地域の中では熊谷市と並んで最も多い。

⑦ 教育

- 高等学校が 6 校立地しており、前橋市、高崎市、熊谷市に次いで多い。

⑧ 用途地域指定

- 用途地域のうち住居系用途地域の占める割合が約 7 割と、比較 11 都市の中で最も高い。

⑨ 基盤整備水準

- 用途地域面積に対する面整備率は約 20%で、比較 11 都市の中では低い水準である。

(9) 動的データ

- 動的データの分析項目・内容は以下の通りです。

■KLA の概要

- KLA (KDDI Location Analyzer) とは、au スマートフォンの位置情報ビッグデータ (個別に明確な同意を頂いたユーザーデータ) を活用し、任意のエリアや施設に対する通行・滞在人口の分析を可能にするサービスです。
- この位置情報データに対し契約者属性を紐づけ、性・年代等の分析を可能にします。また、最近のスマートフォンに搭載されている GPS は精度も確保されているため、詳細な表現が可能です。

■分析項目

【滞在人口分析】

- 集計エリア内に滞在している人数 (居住者含む) を可視化

【通行人口分析】

- 集計エリア内の公道の通行者 (移動動線) を路線ごとの交通量を可視化

【来訪者居住地分析】

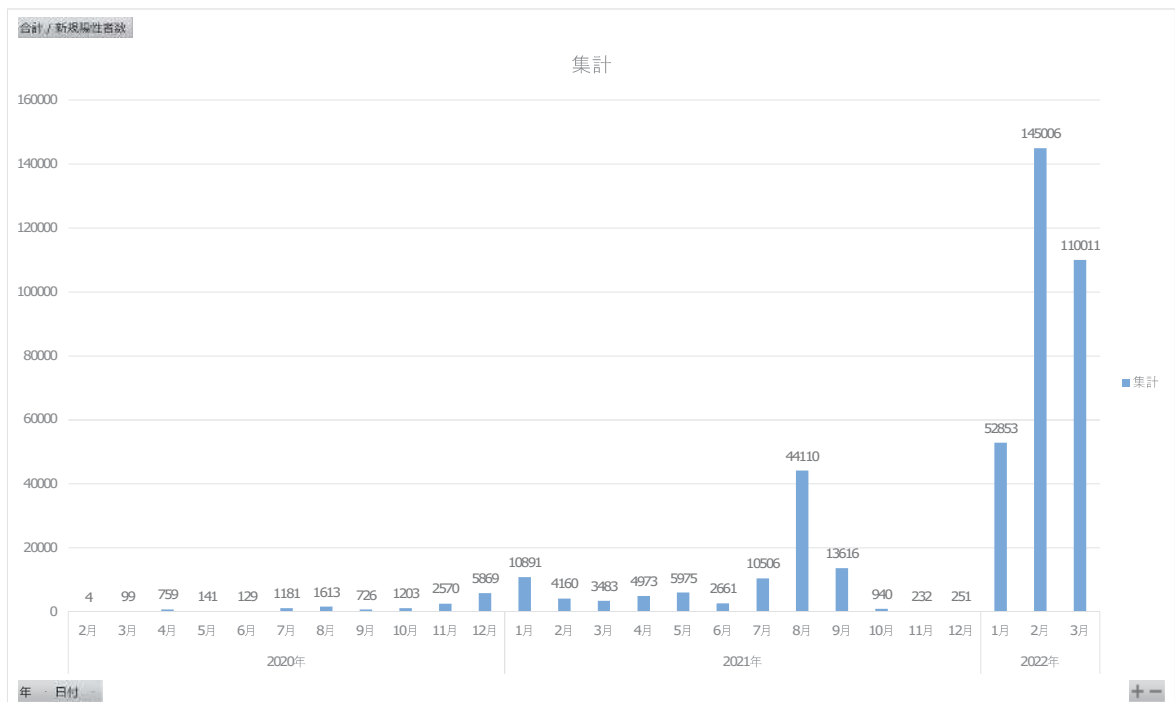
- 指定したエリア内に来訪者の居住地の可視化と人数の集計

■分析条件

【共通】

- 集計期間：2021年11月1日～11月30日

* 新型コロナウイルス感染者数が少ない期間のため (下図参照)



【滞在人口分析】

- 分析対象区域：本庄駅、本庄早稲田駅、児玉駅
- 滞在時間　　：60分以上
- 集計エリア：対象駅の中心から半径2km円

【通行人口分析】

- 分析対象区域：本庄駅、本庄早稲田駅、児玉駅
- 集計エリア：対象駅の中心から半径2km円

【来訪者居住地分析】

- 分析対象区域：本庄駅、本庄早稲田駅、児玉駅周辺の各都市機能誘導区域
- 集計エリア　：分析対象と範囲に近い国勢調査の小地域
- 来訪日数　　：1日以上 / 滞在時間：30分以上

① 本庄駅

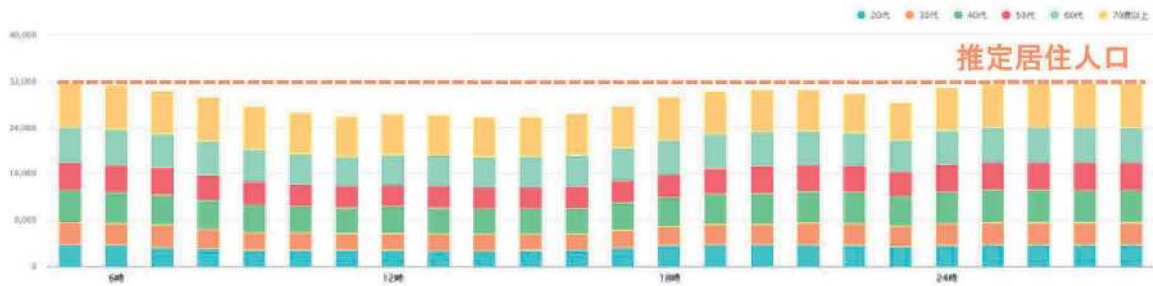
① - 1. 滞在人口分析

■滞在人口分布

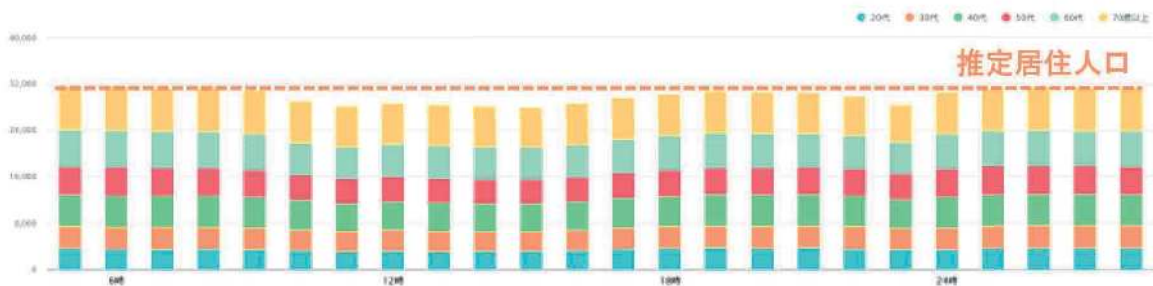
著作権保護のため非表示

■ 滞在人口集計

< 平日の滞在者数（1日平均） >



< 祝休日の滞在者数（1日平均） >



【現状分析】

- 本庄駅周辺に滞在人口が集中している (①)。その他の箇所で滞在人口が多い箇所は、主に病院、診療所や飲食店、小売店などの施設が立地している箇所である (②)。
- 国道 17 号のロードサイド店舗が集積しているエリアで滞在人口が多い (③)。
- 地域住民の日常の買い物などでの利用が想定される、住宅街にある商店などでの滞在人口も多い (④)。
- 平日の滞在人口推計をみると、7時から12時にかけて減少し、12時から17時にかけては増加傾向にある。特に50代以下の変動が多くみられることから、日中は通勤通学により人口が流出していることが推察される。
- 祝休日の滞在人口推計をみると、8時から11時にかけて減少している。また、12時に一時的に増加し、19時にかけて居住推定人口に近づいている。これは食事等での外出による動態の変化と考えられる。

① - 2. 通行人口分析

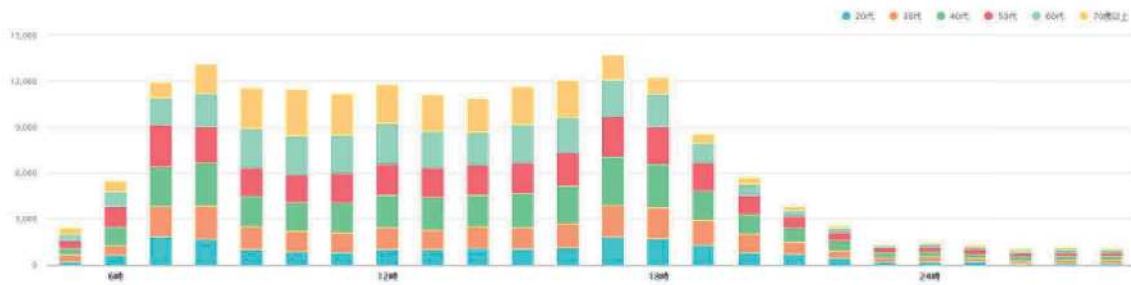
① - 2 - 1. 移動手段：自動車

■路線ごとの通行人口

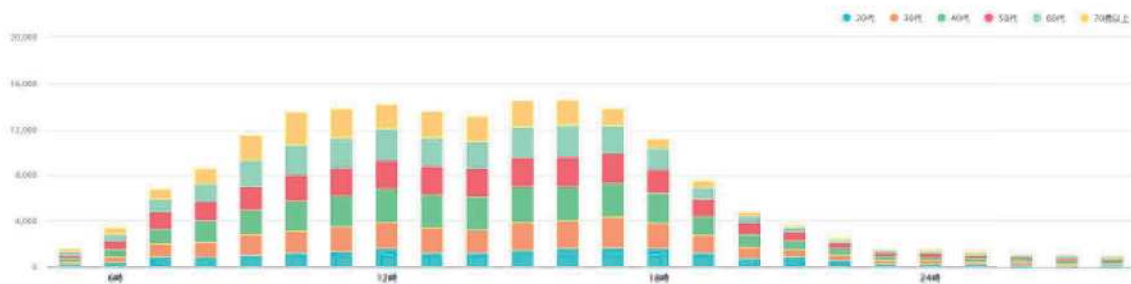
著作権保護のため非表示

■ 通行人口集計

< 平日の通行者数（1日平均） >



< 祝休日の通行者数（1日平均） >



【現状分析】

- 国道 17 号、国道 462 号、県道 23 号（南大通り）、県道 31 号（本庄寄居線）、県道 86 号（花園本庄線）の交通量が多い。
- 駅前通りの一部区間（①）で交通量が多い。これは、沿線にスーパービバホーム等、商業施設の立地が影響していると考えられる。
- 南大通りの跨線橋前後での交通量が多く（②- 1）、跨線橋への車両の流入の集中と渋滞が推察される。一方で、跨線橋の北側の踏切（平面交差）での通行量も比較的多く（②- 2）、抜け道的な利用が推察される。
- 平日の通行者数（グラフ）をみると、午前 7 時に急激に交通量が増加し、午前のピークは 8 時に迎える。また、17 時から 18 時にかけての交通量は 50 代以下が特に多い。これは自動車による通勤の時間帯であるためと考えられる。
- 祝休日の通行者数（グラフ）では、12 時にかけて緩やかに増加している。また、13 時～14 時、18 時の食事の時間帯で顕著に少ない。このことから、地域内からの外出や帰宅、本庄を通過し目的地へ向かう通過交通が多いことが推察される。

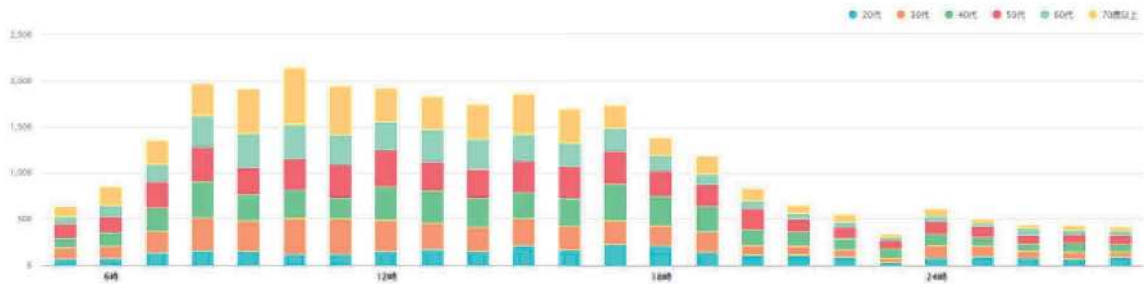
① - 2 - 2. 移動手段：徒歩

■路線ごとの通行人口

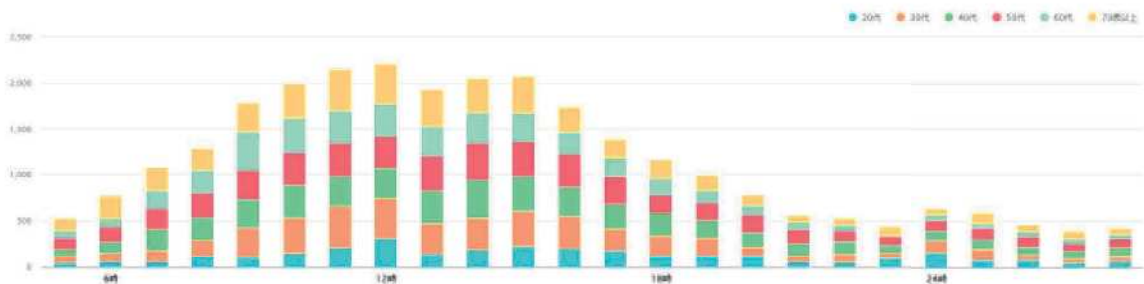
著作権保護のため非表示

■ 通行人口集計

< 平日の通行者数（1日平均） >



< 祝休日の通行者数（1日平均） >



【現状分析】

- 本庄駅周辺の通行人口が多い (①)。特に、本庄駅から、はにぼんプラザやスイデコ、フォルテ本庄、MEGAドン・キホーテへ向かう動線に通行人口が集中している。
- スーパービバホーム周辺の通行人口が多い (②)。本庄駅からスーパービバホームへ向かう動線の通行人口も比較的多いことから、地域住民の利用に加え、駅からの徒歩利用者が多いことも推察される。
- 工業専用地域に立地する工場周辺での通行人口が多い (③)。これは、近隣駐車場や周辺アパートからの徒歩通勤が集中するためと推察される。
- 平日の通行者数（グラフ）は午前6時から8時にかけて増加しており、高齢者（60代以上）の通行者数は、9時から11時にかけて多い。
- 祝休日の通行者数（グラフ）は午前から午後にかけて増加している。特に11時～12時では、20代、30代の割合が他の時間帯よりも多く、若者層では飲食店まで徒歩で利用する人が多いと推察される。

① - 3. 来訪者居住地分析

- 対象区域：都市機能誘導区域（本庄駅周辺）
- 総来訪者数：189,776 人

■対象区域への来訪者の居住地分布（上位 10 地域）

著作権保護のため非表示

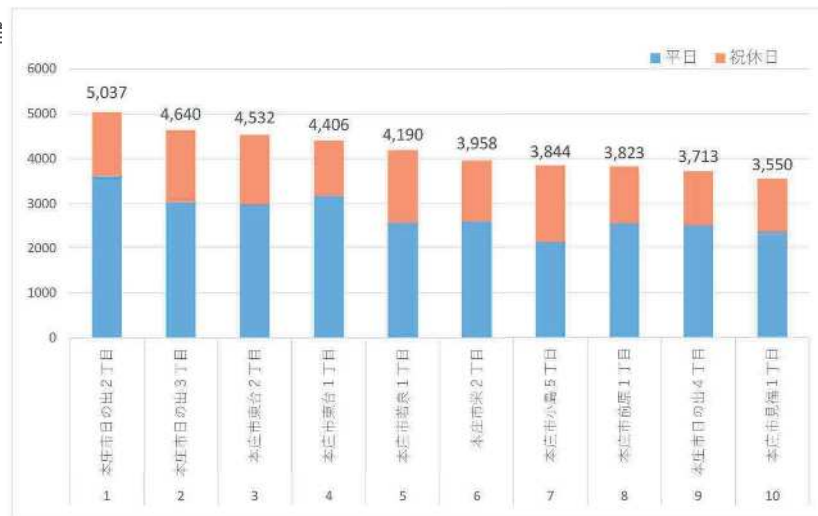
■対象区域への来訪者の居住地分布（市全域）

著作権保護のため非表示

■対象区域への来訪者の居住地分布（広域）

著作権保護のため非表示

■対象区域への来訪者



【現状分析】

- 対象区域への来訪者の居住地分布（上位10地域）をみると、都市機能誘導区域（本庄駅周辺）へは日の出町2丁目、3丁目など、周辺の居住誘導区域からの来訪者が多い。このことから、通勤などで本庄駅の利用や都市機能誘導区域内に立地する商業施設の利用者が多いことが推察される。
- 対象区域への来訪者の居住地分布（市全域、広域）をみると、上里町や児玉方面からの来訪者も多いことがわかる。

② 本庄早稲田駅

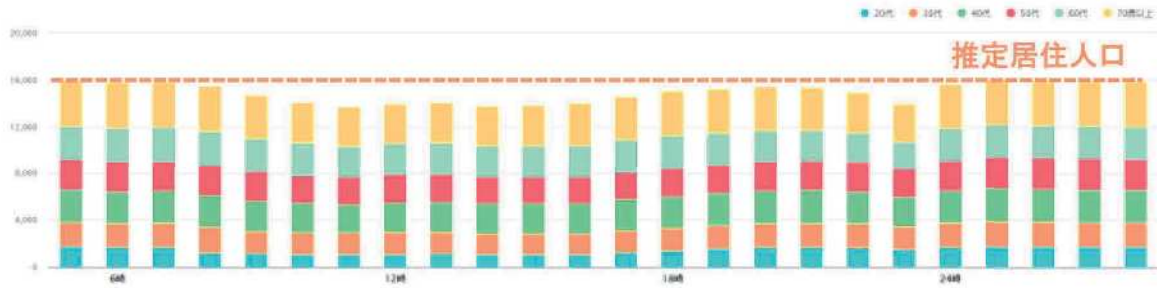
② - 1. 滞在人口分析

■滞在人口分布

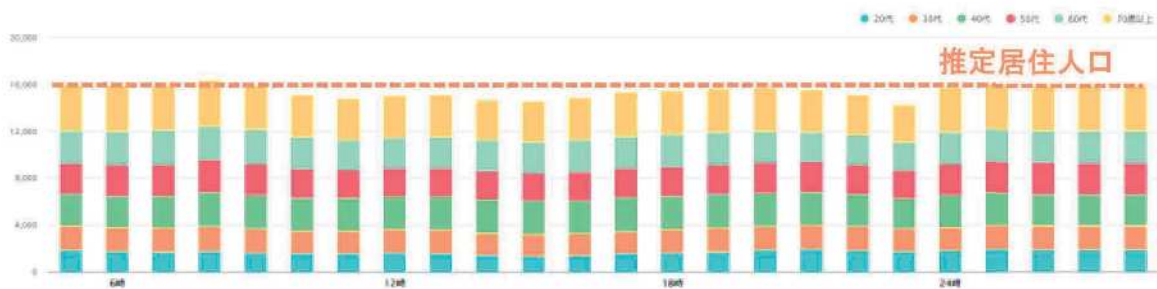
著作権保護のため非表示

■ 滞在人口集計

< 平日の滞在者数（1日平均） >



< 祝休日の滞在者数（1日平均） >



【現状分析】

- 本庄早稲田駅北口の商業集積地に滞在人口が集中している。特にベイシアや飲食店、その他店舗に滞在人口が多くみられる(①)。また、カインズ本部での滞在人口も多い(①)。
- 生活支援センターや整骨院、コンビニエンスストアのあるエリアの人口が多くなっている(②)。
- 総合体育館での滞在人口が多い(③)。
- 平日の滞在人口推計をみると、7時から12時にかけて減少傾向にある。また、12時から13時にかけて滞在人口は微増する。

② - 2. 通行人口分析(指定したエリア内を通行している人数の集計)

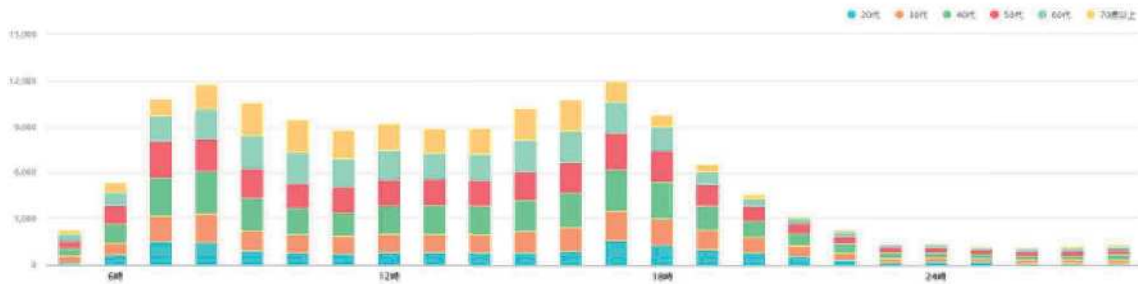
② - 2 - 1. 移動手段：自動車

■路線ごとの通行人口

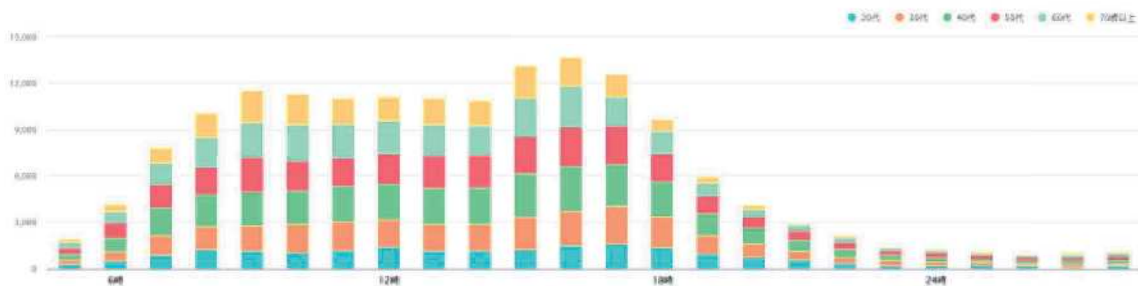
著作権保護のため非表示

■ 通行人口集計

< 平日の通行者数（1日平均） >



< 祝休日の通行者数（1日平均） >



【現状分析】

- 本庄早稲田駅北口側の通行人口が多い（①）。通路を挟んで両側に商業施設が集積していることから、駐車場の出入りなどで交通が集中していると推察される。
- 関越自動車道および、本庄児玉 ICと接続する国道 462 号（下仁田街道）の交通量が多い。
- 平日の通行者数をみると、6時から7時にかけての通行人口が急激に増加している。この年齢層として、20～60代が特に増加しており、通勤等での交通量の増加が推察される。
- 祝休日の通行者数をみると、15時～16時の通行者数が多い。夕食や外出先からの帰宅などで対象区域内での交通や通過交通が増加していることが考えられる。

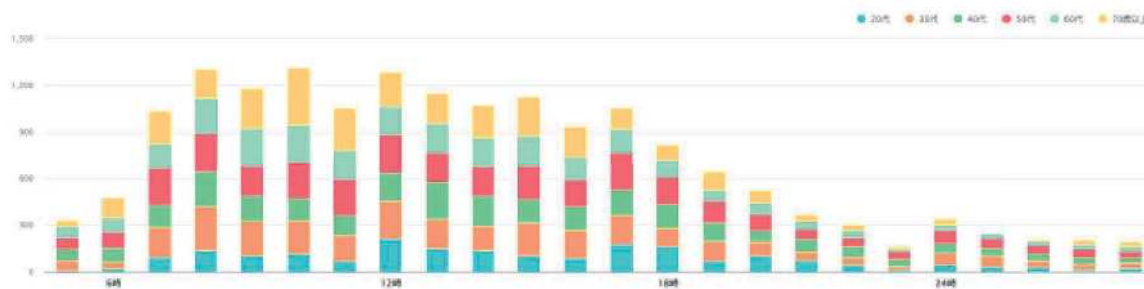
② - 2 - 2. 移動手段：徒歩

■路線ごとの通行人口

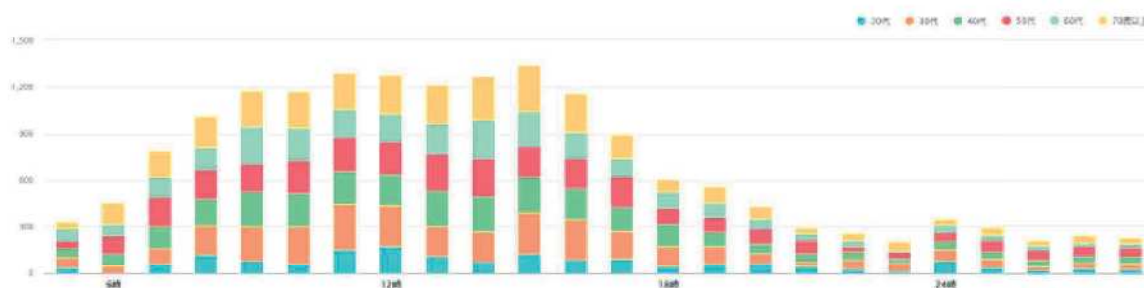
著作権保護のため非表示

■ 通行人口集計

< 平日の通行者数（1日平均） >



< 祝休日の通行者数（1日平均） >



【現状分析】

- 本庄早稲田駅北口の通行人口が多い (①)。四季の里地区から本庄早稲田駅をつなぐ動線での通行人口も多くなっており、周辺住民の駅利用および北口商業施設へ徒歩で移動していることが推察される。
- 本庄総合病院、岡病院、やましろや本庄店、本庄市民文化会館などの集積地周辺で通行人口が多く、女堀川にかかる橋梁に通行人口が集中している (②)。
- 平日の通行者数（グラフ）をみると、7時～8時にかけて通行人口が増加しており通勤通学での通行者数の増加が推察される。

② - 3. 来訪者居住地分析

- 対象区域：都市機能誘導区域（本庄早稲田駅周辺）
- 総来訪者数：131,212 人

■対象区域への来訪者の居住地分布（上位 10 地域）

著作権保護のため非表示

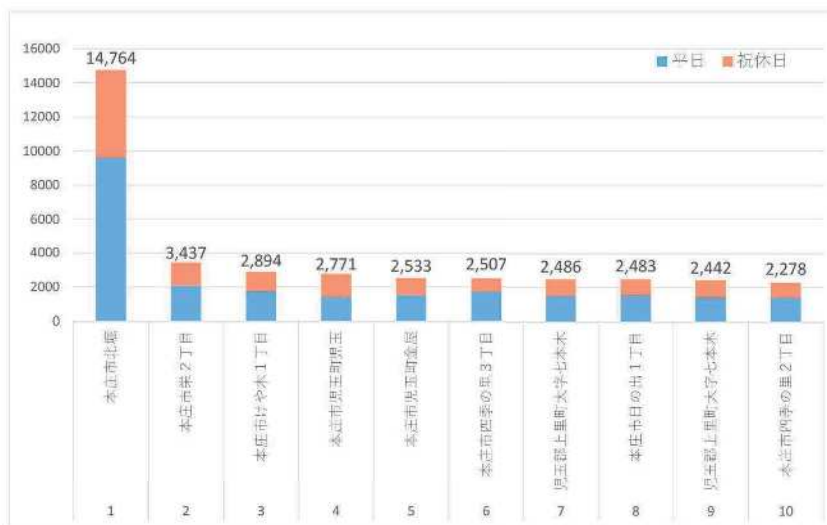
■対象区域への来訪者の居住地分布（市全域）

著作権保護のため非表示

■対象区域への来訪者の居住地分布（広域）

著作権保護のため非表示

■対象区域への来訪者の居住地（上位 10 地域）



【現状分析】

- 対象区域への来訪者の居住地分布（上位 10 地域）をみると、近隣の本庄市北堀からの来訪者が多いことがわかる。
- 来訪者の上位 3 地域は近隣からであるが、4、5 番目には児玉町、7 番目には上里町と距離のある地域からの来訪も確認できる。
- 対象区域への来訪者の居住地分布（市全域、広域）でみると、熊谷市や伊勢崎市からの来訪者もいることがわかる。

③ 児玉駅

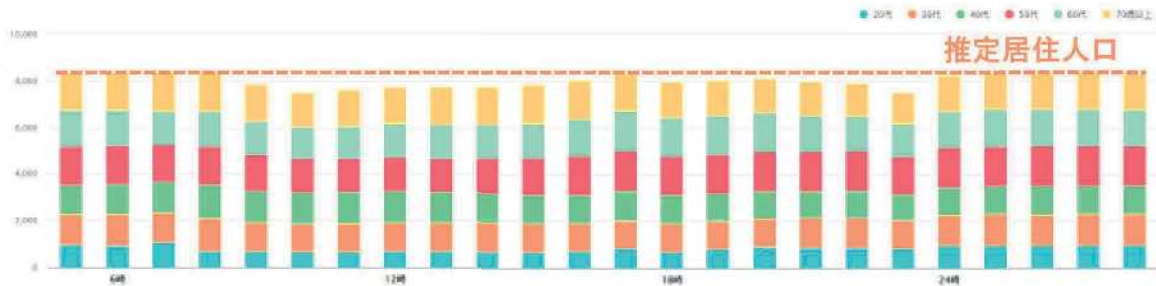
③ - 1. 滞在人口分析

■滞在人口分布

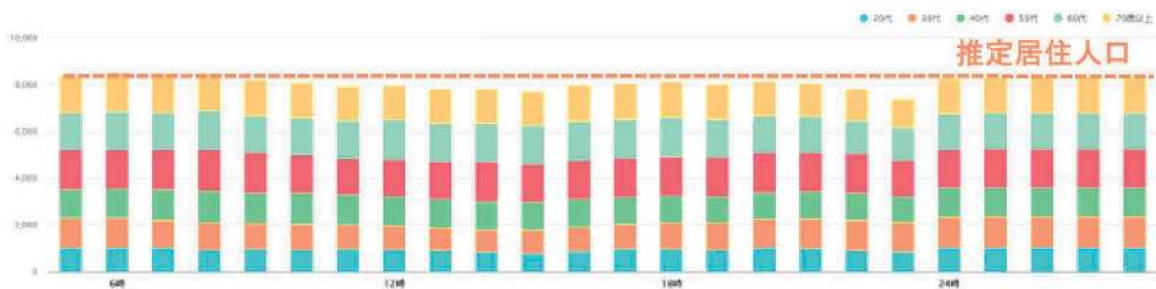
著作権保護のため非表示

■ 滞在人口集計

< 平日の滞在者数（1日平均） >



< 祝休日の滞在者数（1日平均） >



【現状分析】

- 滞在人口は広範囲に分布している。本庄駅、本庄早稲田駅とは異なり駅前の滞在人口の集積はみられない (①)。
- 一定程度滞在人口が集積している箇所をみると、国道 462 号、国道 254 号が交差する吉田林交差点周辺 (②) や、ロードサイド型の商業施設 (③)、国道道沿線に立地するコンビニエンスストア (④) などでの滞在人口が多い。
- 平日、祝日の滞在者数（グラフ）をみると、日中に滞在者数の減少はみられるが、本庄駅周辺や本庄早稲田駅周辺と比べて人口の移動は少ない。このことから地域内での労働人口が多いと推察される。

③ - 2. 通行人口分析(指定したエリア内を通行している人数の集計)

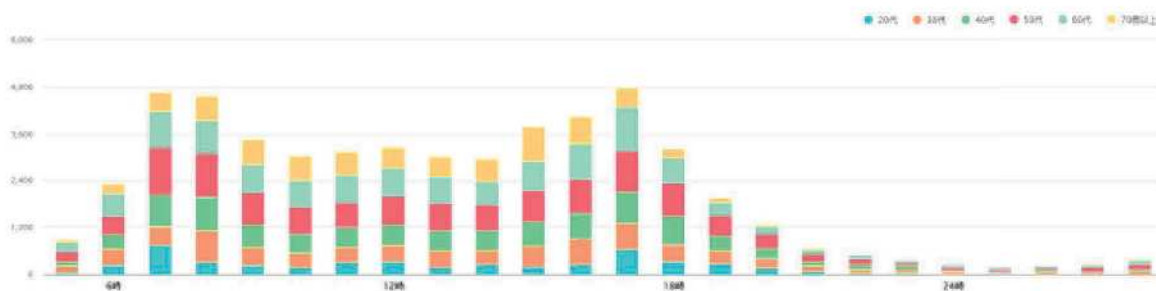
③ - 2 - 1. 移動手段：自動車

■路線ごとの通行人口

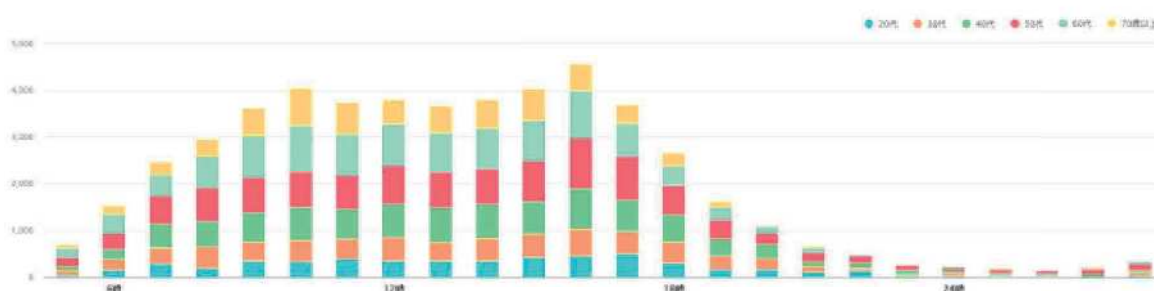
著作権保護のため非表示

■通行人口集計

<平日の通行者数（1日平均）>



<祝休日の通行者数（1日平均）>



【現状分析】

- 国道 462 号、国道 254 号、県道 131 号での交通量が多い。
- 特に吉田林交差点を中心に交通が集中しており、渋滞が推察される (①)。
- 八高線との踏切部手前などでの交通量が多く、ボトルネックとなっていることが推察される (②)。
- 平日の通行者数では、7時～8時、17時に増加しており通勤での通過交通等が多いと考えられる。
- 祝休日の通行者数では、10時～11時、15時～16時に多い。これは昼食前や夕食前の時間帯であり、集計区域内の通過交通や、区域内からの外出による通行者数の増加が推察される。

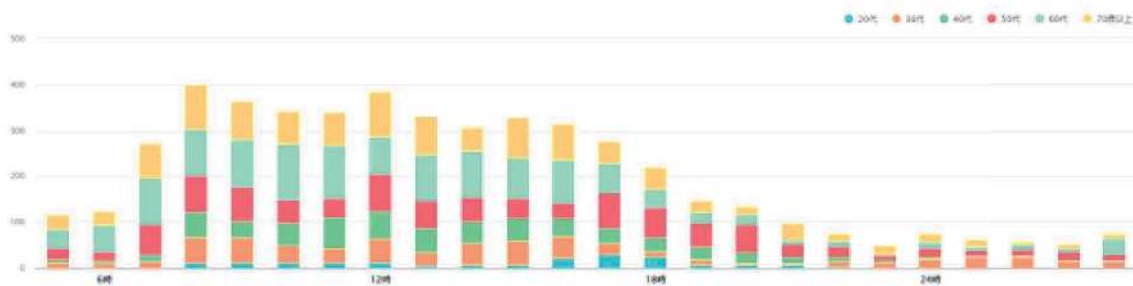
③ - 2 - 2. 移動手段：徒歩

■路線ごとの通行人口

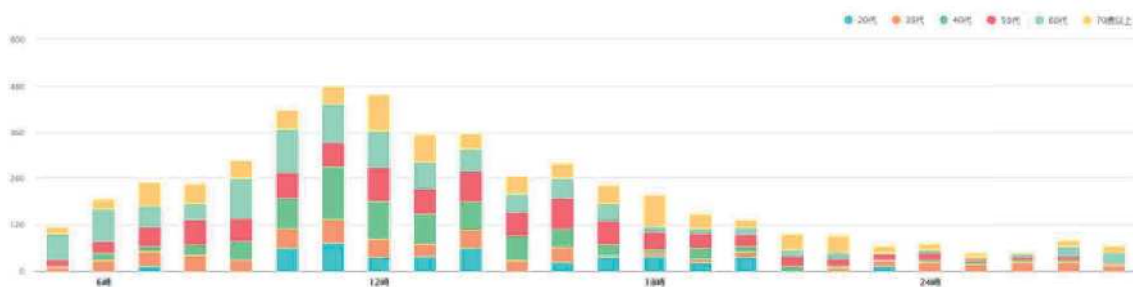
著作権保護のため非表示

■ 通行人口集計

< 平日の通行者数（1日平均） >



< 祝休日の通行者数（1日平均） >



【現状分析】

- 児玉往還沿道の商店街（①）での通行人口が多い。このことから、地域の住民が買い物等で商店街を多く利用していることが推察される。
- 沿道に立地している商業施設周辺道路での通行人口が多い（②）。ロードサイド型の店舗であっても、地域住民の徒歩での利用があることが推察される。

③ - 3. 来訪者居住地分析

- 対象区域：都市機能誘導区域（本庄早稲田駅周辺）
- 総来訪者数：77,325 人

■対象区域への来訪者の居住地分布（上位 10 地域）

著作権保護のため非表示

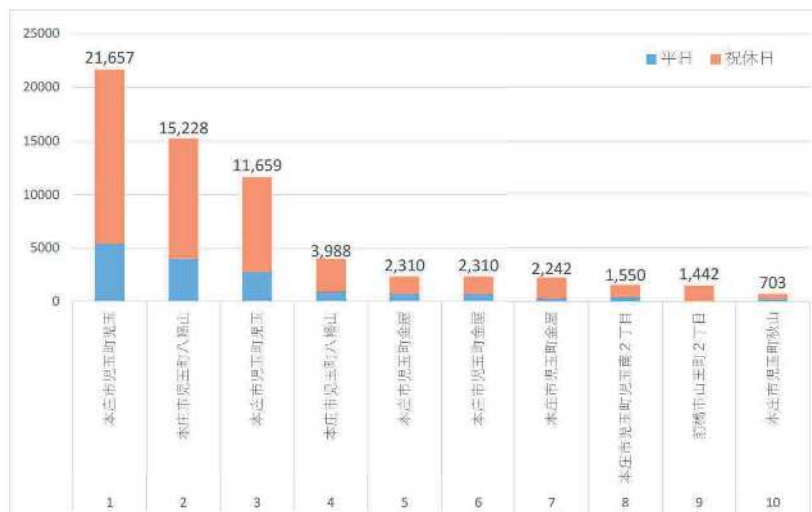
■対象区域への来訪者の居住地分布（市全域）

著作権保護のため非表示

■対象区域への来訪者の居住地分布（広域）

著作権保護のため非表示

■対象区域への来訪者の居住地（上位 10 地域）



【現状分析】

- 対象区域への来訪者の居住地分布（上位 10 地域）をみると、周辺からの来訪者がほとんどを占めている。特に祝休日に多く、買い物等で地域の利用者が多いことが推察される。
- 対象区域への来訪者の居住地分布（広域、市全域）でみると、熊谷市などからの来訪者も確認できるが、本庄駅や本庄早稲田駅周辺の都市機能誘導区域と比較して広域での来訪者が少ないことがわかる。

(10) レーダーチャート・SWOT 分析

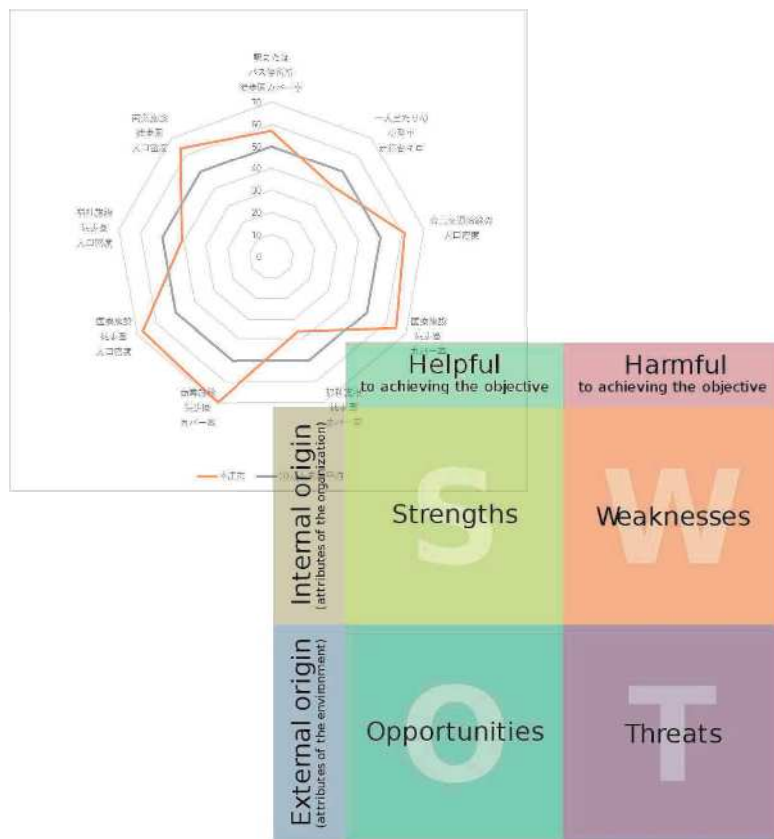
コンパクトシティの実現のためには、現状の都市構造を定量的に評価する必要がある。

そこで、国は「都市構造の評価に関するハンドブック」を策定し、これに基づき「都市モニタリングシート」を公表している。

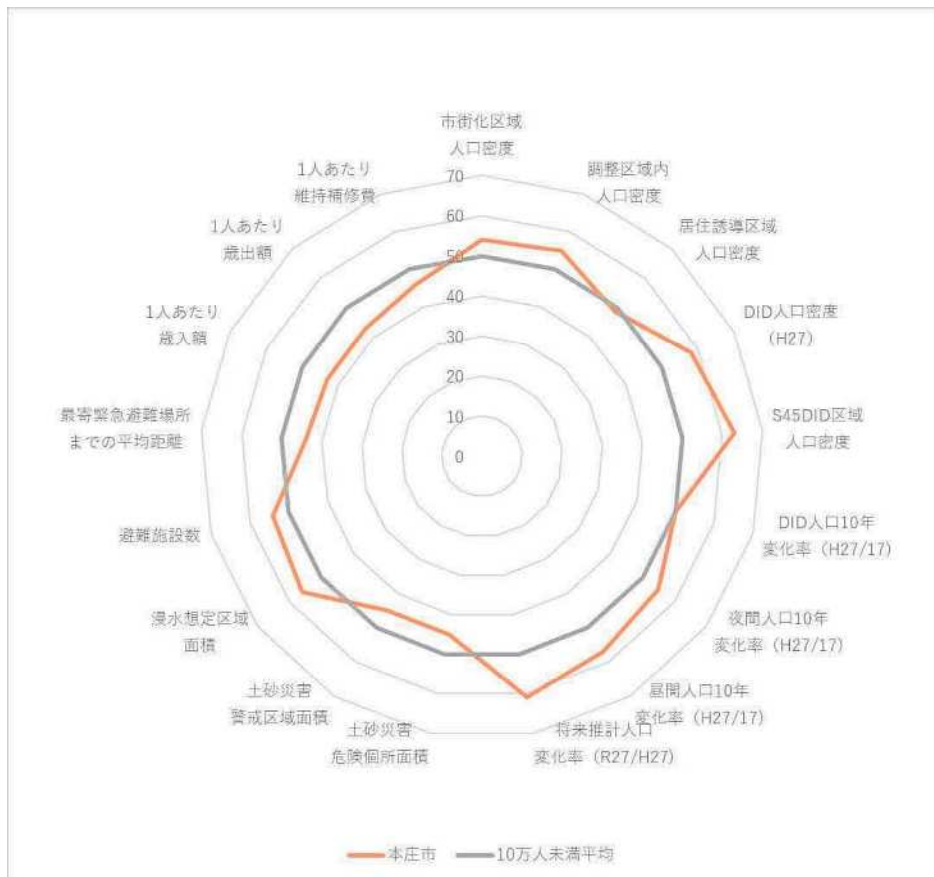
本資料では、都市モニタリングシートの全体表を用いて 10 万人未満の自治体平均を基準とした本庄市の偏差値を分野別に算出し、レーダーチャートを作成した。

あわせて、このレーダーチャートから本庄市の SWOT 分析を行った。SWOT 分析はマーケティングなどで用いられる分析手法であり、SWOT とは Strength (強味) Weakness (弱み)、Opportunity (機会)、Threat (脅威) の頭文字をとったものである。

また、参考として近隣の人口規模が近い都市との比較も行った。



■人口 10 万人未満自治体平均との比較①人口・防災・財政



国土交通省「都市モニタリングシート」から作成

【人口】

- 市街化区域・調整区域ともに平均より人口密度が高い
- H27D1D人口密度・S45D1D区域の現在の人口密度ともに平均より高い
- 夜間人口・昼間人口ともに平均より近年の減少が緩やか
- 将来に向けた人口減少が平均より緩やかであると見通されている

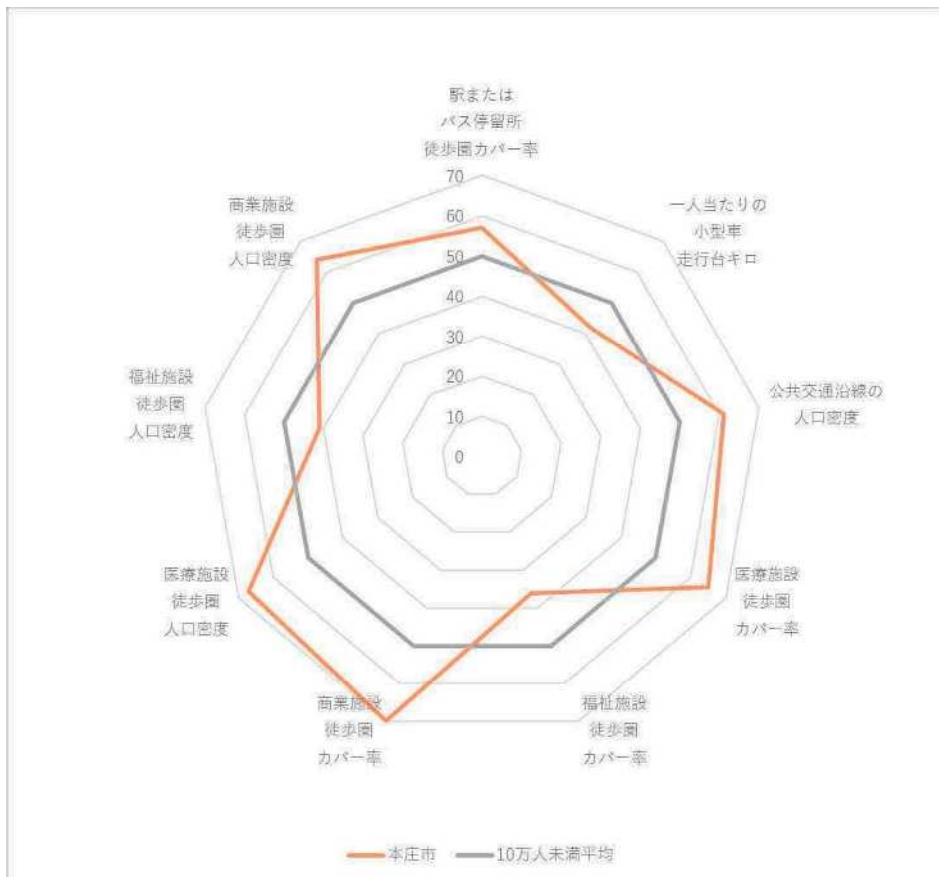
【防災】

- 浸水想定区域の面積は大きいですが緊急避難場所まで距離は短い

【財政】

- 1人当たりの歳入・歳出額、維持補修費は平均より低い

■人口 10 万人未満自治体平均との比較②生活利便性



国土交通省「都市モニタリングシート」から作成

【交通】

- 基幹の公共交通（30本/日以上以上の運行水準）徒歩圏カバー率は平均より高く、利便性が高い。沿線の人口密度も平均より高く持続性は高い。
- 一人当たり小型車走行台キロは平均より少なくマイカー依存度は低い

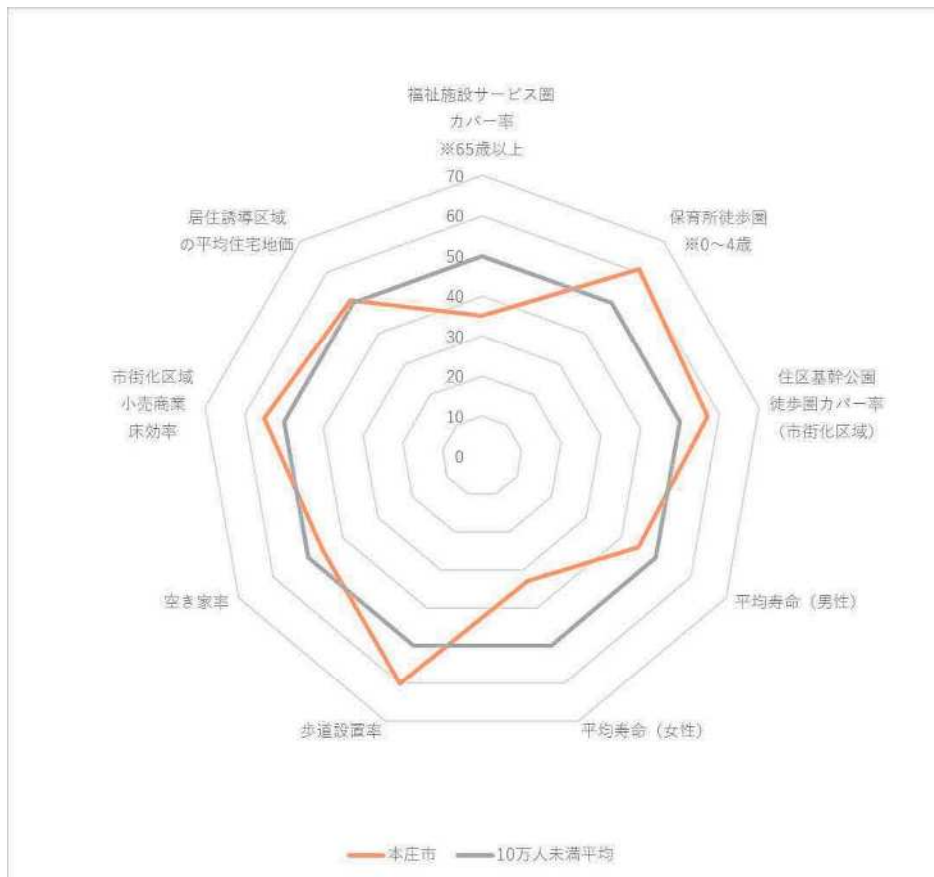
【医療施設・商業施設】

- 徒歩圏カバー率は平均より高く利便性が高い。徒歩圏人口密度も平均より高く持続性は高い。

【福祉施設】

- 徒歩圏カバー率データが0となっており、比較できない

■人口 10 万人未満自治体平均との比較③健康福祉・安全・産業



国土交通省「都市モニタリングシート」から作成

【健康福祉】

- 福祉施設サービス圏カバー率はデータが0であり分析できない
- 保育所徒歩圏 0~4歳人口カバー率は平均より高い
- 平均寿命が短い（特に女性）
- 住区基幹公園の人口カバー率は平均より高い

【安全】

- 歩道設置率は平均より高く歩行者安全性が高い
- 空き家率は平均より低い

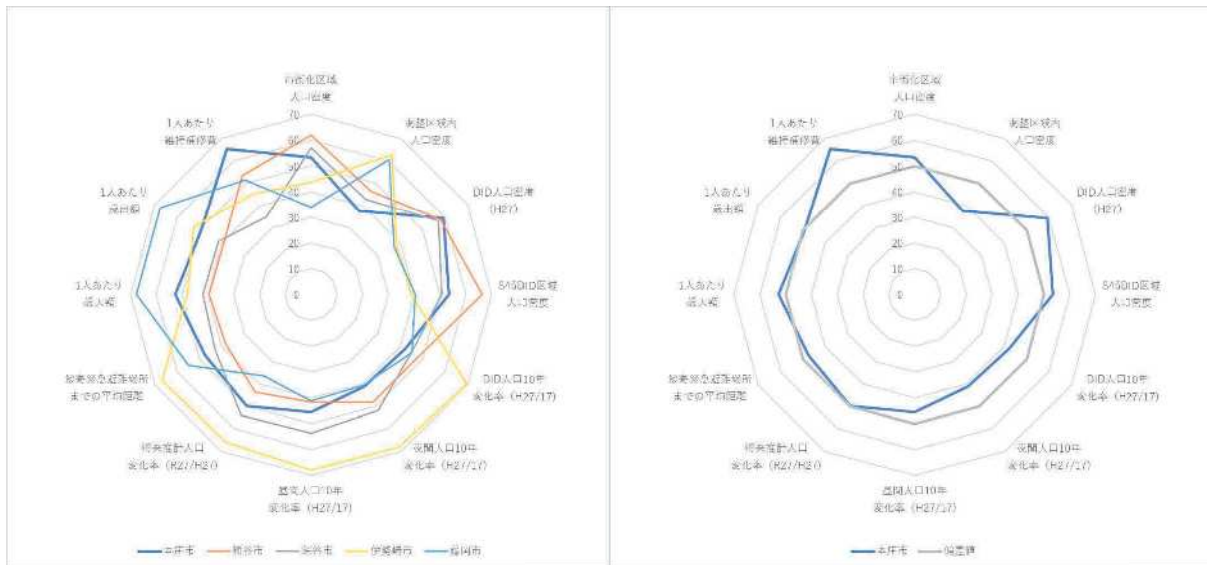
【産業】

- 市街化区域の小売商業床効率は平均より高い

■都市構造評価からみた本庄市のSWOT分析（人口10万人未満自治体平均との比較）

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<p>Strength（強み）</p> <ul style="list-style-type: none"> 土砂災害の危険がある区域は小さい 緊急避難場所が多く到達距離も短い 公共交通徒歩利用圏カバー率が高い 自家用車への依存は低い（走行キロ短い） 医療施設・商業施設徒歩圏カバー率が高い 歩道設置率が高い（交通安全性が高い） 空き家率が低い 	<p>Weakness（弱み）</p> <ul style="list-style-type: none"> 浸水想定区域面積が大きい 居住誘導区域人口密度が低い 調整区域人口密度が高い 市街化区域人口密度は高いが居住誘導区域人口密度は平均を下回る（居住誘導区域の設定が過大）
外部環境	<p>Opportunity（機会）</p> <ul style="list-style-type: none"> 既成市街地の人口密度は維持されている（空洞化は顕著でない） 人口集中地区人口密度が高い 夜間人口・昼間人口共に減少が緩やか 将来人口の減少想定は緩やか 1人あたり歳出額、維持補修費は小さい 市街化区域内の小売商業床効率が高い 医療・商業施設、公共交通沿線の徒歩圏人口密度が高い（集客有利・持続性が高い） 	<p>Threat（脅威）</p> <ul style="list-style-type: none"> 浸水想定区域面積が大きい 1人あたり歳入額が小さい 平均寿命が短い（特に女性）

【参考】近隣同規模都市平均との比較①人口・防災・財政

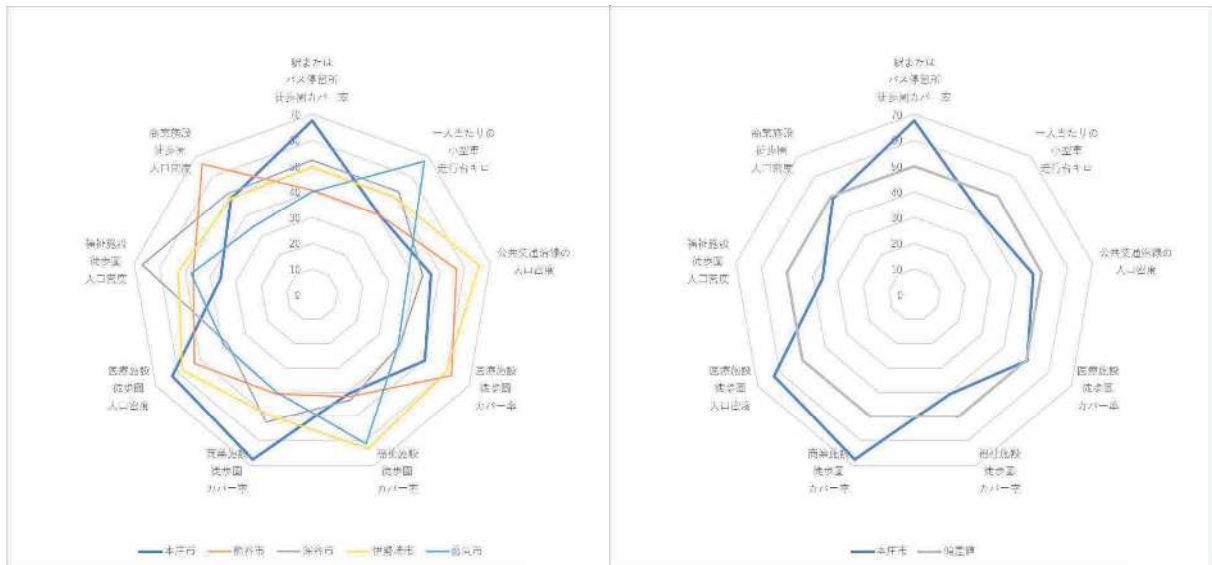


国土交通省「都市モニタリングシート」から作成

人口) 平均より **DD**人口密度は高く、市街化調整区域人口密度は低い。近年の人口動向は平均より低調（比較対象のなかでは伊勢崎市の人口の伸長が目立つ）

財政) 一人当たり維持補修費が平均より大きい（深谷市や熊谷市は一人当たり歳入歳出規模が小さい）

【参考】近隣同規模都市平均との比較②生活利便性



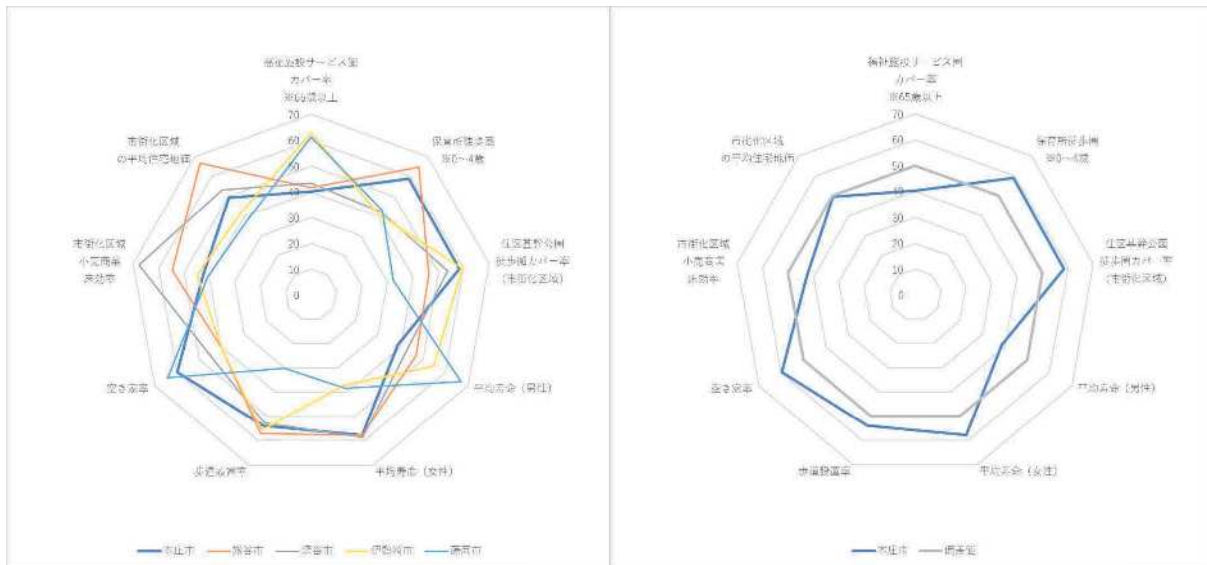
国土交通省「都市モニタリングシート」から作成

交通) 平均より基幹的公共交通 (30 本/日以上の運行水準) 徒歩圏カバー率が高く公共交通利便性が高い。深谷市と比較して一人当たりの小型車走行台キロが短く、マイカー依存度は低い。

医療施設・商業施設) 平均と比べて徒歩圏カバー率が高く利便性が高い。医療施設徒歩圏の人口密度が高く持続可能性が高い。

福祉施設) 本市はカバー率が0となっており分析ができない

【参考】近隣同規模都市平均との比較③健康福祉・安全・産業



国土交通省「都市モニタリングシート」から作成

健康福祉) 熊谷市と並んで保育所の0～4歳カバー率が高い。住区基幹公園カバー率が高く公園利便性が高い。男性の平均寿命が平均より短い。

安全) 空き家率が藤岡市と並んで高い

産業) 市街化区域内の小売商業の床効率が平均より低い

(11) 災害リスク・防災

■リスク評価対象

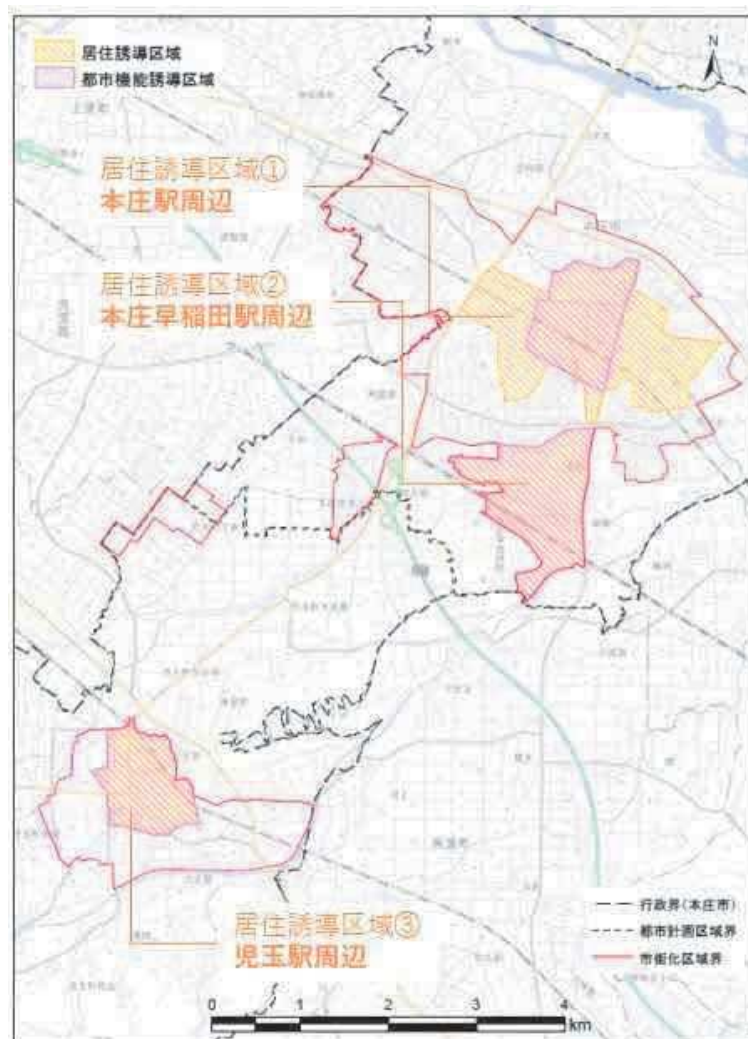
範囲

本市は立地適正化計画策定済み自治体であることから、災害リスクの評価対象範囲は「居住誘導区域」周辺とする

種別

- ① 地震
- ② 水害
- ③ 土砂災害
- ④ 大規模盛土造成
- ⑤ 避難対策

■居住誘導区域の位置と範囲



①地震

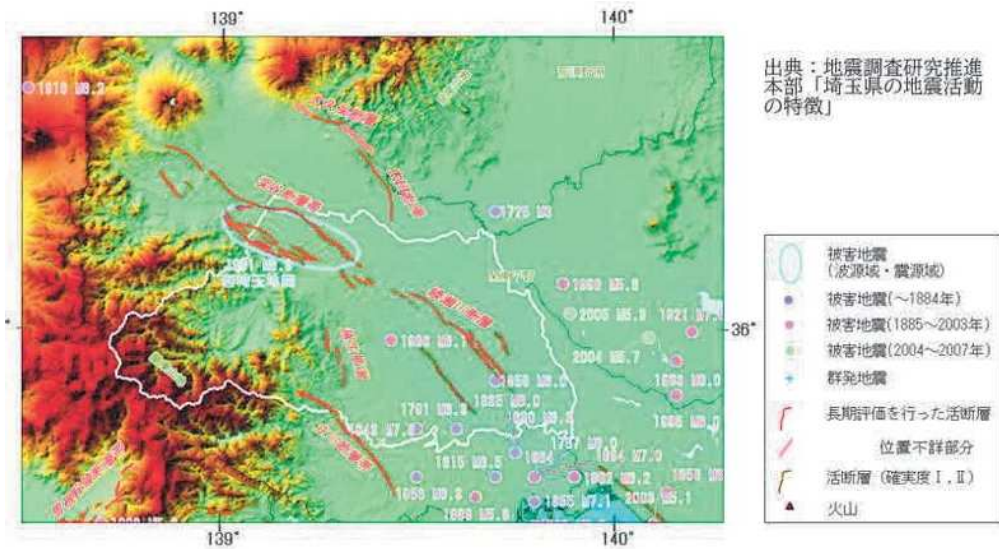
■本市周辺の震災履歴

震災履歴	1923年	関東大震災	} 被災記録なし
	1931年	西埼玉地震	
	2011年	東日本大震災	

【東日本大震災における被災状況】

- 震度5弱
- 灯籠、屋根瓦、外壁、ブロック、墓石の倒壊及び落下等あり（市内計96件）

■本市周辺の地震活動の特徴



本市周辺の主要な断層帯としては西埼玉地震の震源の可能性が指摘されている**深谷断層帯**(関東平野北西縁断層帯)がある。この断層帯と綾瀬川断層帯を一体として、M8.1程度、30年以内の地震発生確率は0%～0.008%と想定されている。

■地震被害の想定

埼玉県「平成24・25年度埼玉県地震被害想定調査報告書」
 (平成26年3月)では本市が関連する最も被害の大きい地震
 として「**関東平野北西縁断層帯地震**」を挙げている。

主な被害想定と市の主な災害対策は表のとおり。

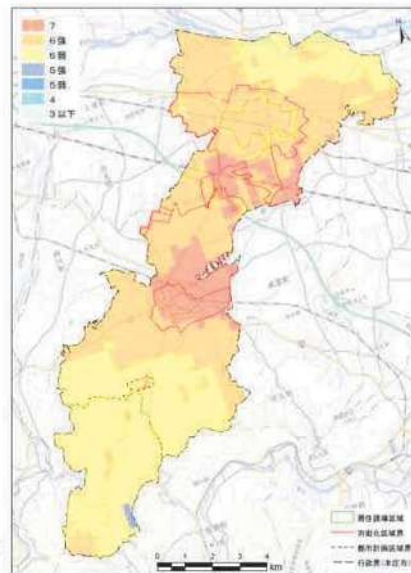
被害想定項目		地震被害	主な災害対策
建物被害 (棟)	全壊	(揺れ) 5,517 棟 (急傾斜地崩壊) 3 棟	▶ 耐震化の推進 ▶ 被災建築物危険度判定体制の整備 ▶ 消火体制の整備 ▶ 土地利用の適正化(土砂災害)
	半壊	(揺れ) 4,882 棟 (急傾斜地崩壊) 6 棟	
	焼失	617 棟	
人的被害 (人)	死者	365 人	▶ 初動医療体制の整備 ▶ 医療救護班の派遣体制の整備 ▶ 後方医療機関への搬送体制の整備
	負傷者	1,622 人	
	うち重傷者	471 人	

出典：埼玉県「平成24・25年度埼玉県地震被害想定調査報告書」(平成26年3月)

■想定震度分布(関東平野北西縁断層帯地震)

右図は埼玉県が想定している
 地表震度分布のパターンの中
 うち、本庄市で最も大きな震度
 が想定されているものを250m
 メッシュで表示したものである。

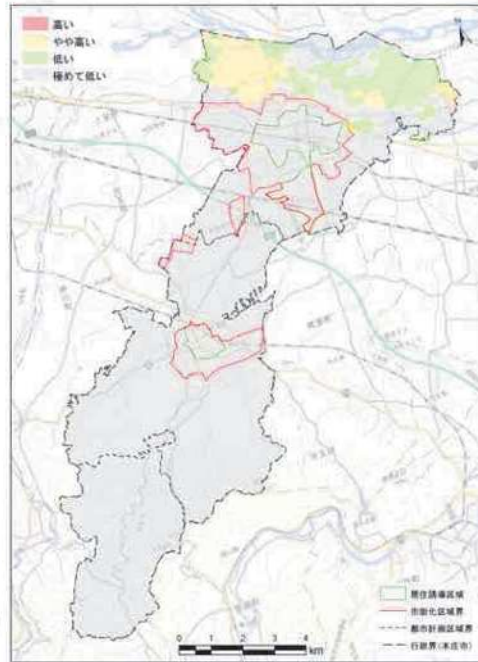
本市の立地適正化計画で定め
 ている居住誘導区域は、児玉
 駅周辺地区がほぼ震度7、本
 庄早稲田駅周辺地区が震度7
 及び6強、本庄駅周辺地区が
 震度6強のエリアとなっている。



埼玉県「平成24・25年度埼玉県地震被害想定調査報告書」
 (平成26年3月) で使用したデータからGISで作図

■液状化可能性分布（関東平野北西縁断層帯地震）

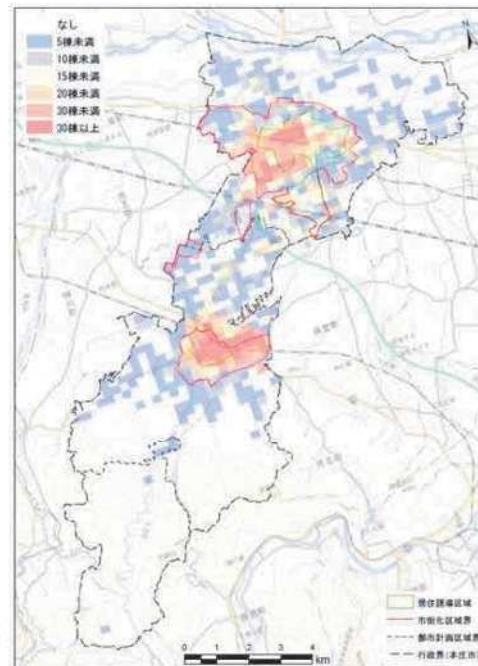
右図は埼玉県が想定している液状化可能性分布である。
市内には液状化の可能性が高い地区は含まれておらず、やや高い・低い地区も利根川沿いの低地に限定されている。



埼玉県「平成24・25年度埼玉県地震被害想定調査報告書」（平成26年3月）で使用了データからGISで作図

■全壊棟数分布（関東平野北西縁断層帯地震）

右図は埼玉県の被害想定における全壊棟数の分布図である。
震度想定が6強を上回り、建物の密度が高い児玉駅周辺地区や本庄駅周辺地区で、250mメッシュあたり20棟以上の全壊が発生されることが想定されている。



埼玉県「平成24・25年度埼玉県地震被害想定調査報告書」（平成26年3月）で使用了データからGISで作図

②水害

■本市周辺の水害履歴

水害履歴 1947年9月 カスリーン台風

【被災状況】

- ・ 浸水約1,100戸
- ・ 死傷者13名

以降、内水氾濫を除き大規模な洪水は発生していない

■浸水想定

本市を流れる利根川及び小山川は、洪水予報河川となっていることから、国により洪水浸水想定区域図が作成されている。本市ではこれに加えて、埼玉県・群馬県が作成した洪水浸水想定区域図とあわせて平成30年3月に「本庄市洪水ハザードマップ」を作成し、水害リスクの周知に努めている。（最新版は令和3年3月）

想定している大雨の規模

利根川	利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量491mm
烏川	烏川流域の72時間総雨量579mm
神流川	烏川流域の72時間総雨量579mm
広瀬川	広瀬川流域の24時間総雨量589mm
小山川流域	小山川流域の24時間総雨量636mm
女堀川	小山川流域の24時間総雨量636mm
御陣場川流域	御陣場川流域の24時間総雨量690mm
内水氾濫	時間最大57mm

出典：本庄市「洪水・内水氾濫ハザードマップ」
(令和3年3月)

■各河川のリスク該当状況

国・県が作成している浸水想定区域図、水害リスク情報図から確認した各河川の該当状況は下表のとおり。

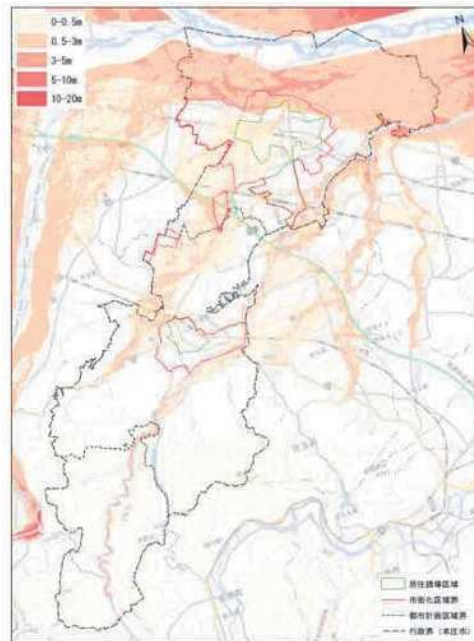
		浸水想定区域 (L2)			浸水想定区域 (L1)			家屋倒壊等の危険想定区域 (河川沿)			家屋倒壊等の危険想定区域 (河岸側)			公表 年月日	
		居住誘導区域			居住誘導区域			居住誘導区域			居住誘導区域				
		① 本 庄 駅 周 辺	② 本 庄 早 稲 田 駅 周 辺	③ 元 玉 駅 周 辺	① 本 庄 駅 周 辺	② 本 庄 早 稲 田 駅 周 辺	③ 元 玉 駅 周 辺	① 本 庄 駅 周 辺	② 本 庄 早 稲 田 駅 周 辺	③ 元 玉 駅 周 辺	① 本 庄 駅 周 辺	② 本 庄 早 稲 田 駅 周 辺	③ 元 玉 駅 周 辺		
国管理	利根川	●	●	×	×	●	●	×	×	●	×	×	×	×	H29.7.20
	小山川	●	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	#
	舟川	●	●	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	H28.8.2
	神流川	●	●	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	#
埼玉県管理	小山川	●	●	●	×	●	×	×	×	×	×	×	●	×	R2.5.26
	女堀川	●	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	●	●	#
	御降馬川流域	●	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	#
	神流川	●	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	#

●含む ×含まない -資料なし

■浸水想定区域（全河川合成・L2）

右図は本市が関連する全河川の浸水想定（L2）を合成し、最大の浸水深を図示した浸水想定区域図である。

居住誘導区域内には0.5m以上の浸水想定区域はほとんど存在しない。本庄駅周辺地区の西側に一団の0.5m未満の浸水想定区域があり、床下浸水が発生する可能性があることについて平時から周知が必要である。



本庄市「本庄市洪水・内水氾濫ハザードマップ」（令和3年3月）で使用したデータからGISで作図

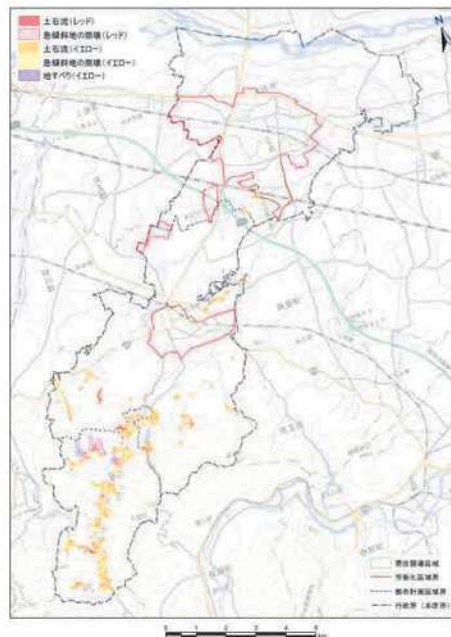
③土砂災害

■土砂災害警戒区域

本市の土砂災害危険箇所は都市計画区域外の谷沿いに集中している。

居住誘導区域内にはレッドゾーン（特別警戒区域）・イエローゾーン（警戒区域）に該当する土砂災害危険箇所は含まれていない。

資料：本市「土砂災害ハザードマップ」(H31)



④大規模盛土造成地

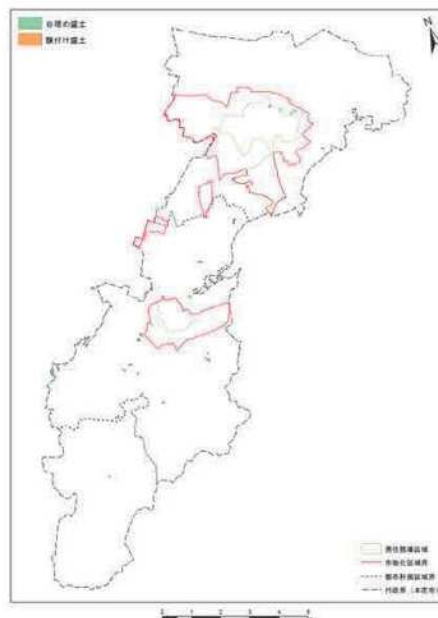
■大規模盛土造成地

昨年発生した熱海市伊豆山土石流災害の原因の一つと見られている大規模盛土造成地は右図のとおりである。

市内には大規模盛土造成地が26か所存在し、内22か所が谷埋め盛土、4か所が腹付け盛土となっている。

居住誘導区域には2か所の谷埋め盛土が確認できる。

埼玉県「大規模盛土造成マップ」より作図



⑤避難対策

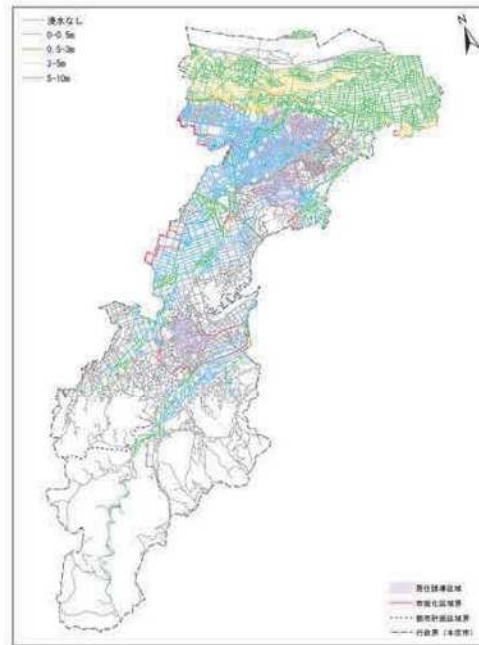
■道路途絶可能性箇所（L2 浸水想定に基づく）

右図は道路網図※と浸水想定区域図を重ね合わせて、最大規模降雨時に洪水が発生した場合の道路浸水状況を想定したものである。

居住誘導区域のうち、本庄駅周辺地区の西部と南部で0.5m未満の浸水深となる道路がみられることから、車両でしか避難できない人には早期の避難を促すことが必要となる。

※国土地理院のベクトル地図から作成。庭園路除く。

国土地理院ベクトル地図、本庄市「本庄市洪水・内水氾濫ハザードマップ」（令和3年3月）で使用したデータからGISで作図



■徒歩避難距離圏（全河川合成・L2）

右図は本市の指定緊急避難場所の分布状況と、同避難場所まで徒歩で避難した場合の距離圏図である。

一般に徒歩による避難限界距離は2kmと言われており、赤色までが徒歩避難可能区域となる。

居住誘導区域は3地区とも概ね1kmの範囲内に収まっている。

「本庄市地域防災計画（資料編）」から指定緊急避難場所分布図を作成し、GISにより徒歩到達距離圏を算出

